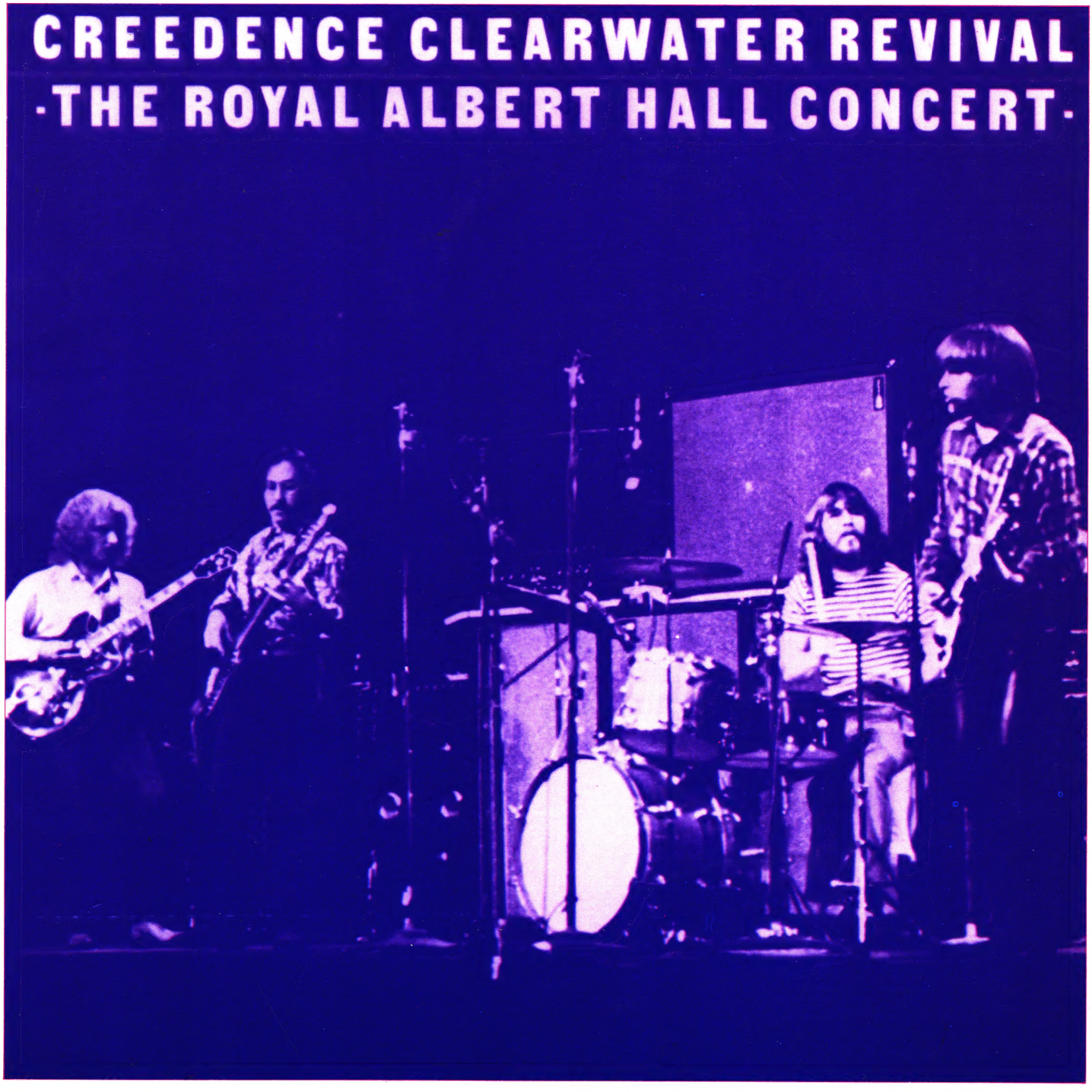
ROCK GUITAR BEST COLLECTION

CREEDENCE CLEARWATER REVIVAL

C.C.R.ライヴ

アルバム「C.C.R.ライヴ・イン・ロンドン'70」より

ギター&ベースタブ譜付!

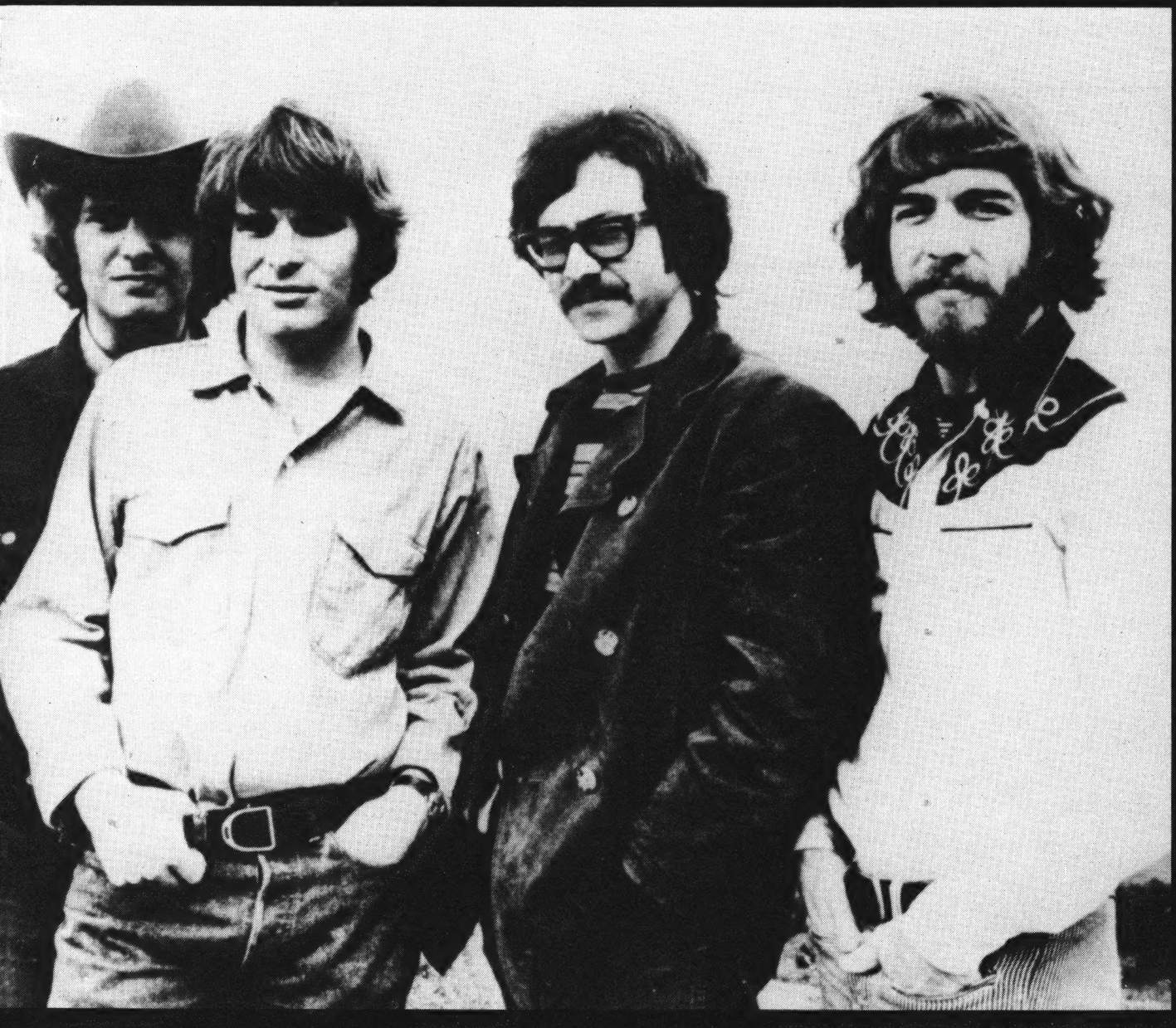


TOSHIBA EMI MUSIC

ROCK GUITAR BEST COLLECTION

C.C.R.ライヴ

LP「C.C.R. ライヴ・イン・ロンドン '70」より



CONTENTS

BORN ON THE BAYOU ····· 4
ボーン・オン・ザ・バイヨー

GREEN RIVER ····· 14
グリーン・リバー

TOMBSTONE SHADOW ····· 20
墓石の影

WHO'LL STOP THE RAIN ····· 26
フール・ストップ・ザ・レイン

TRAVELIN' BAND ····· 30
トラベリン・バンド

BAD MOON RISING ····· 35
バッド・ムーン・ライジング

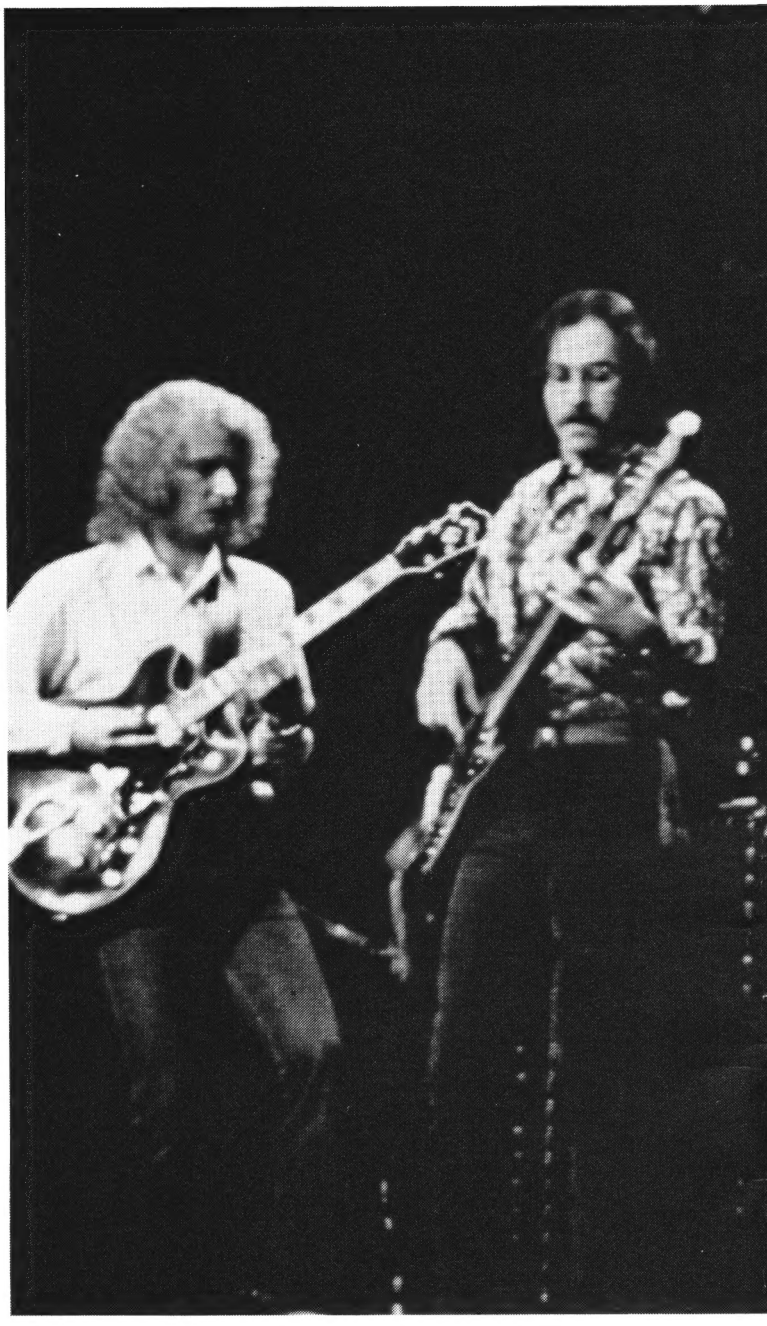
PROUD MARY ····· 40
プラウド・メアリー

COMMOTION ····· 45
コモーション

THE MIDNIGHT SPECIAL ····· 54
ミッドナイト・スペシャル

DOWN ON THE CORNER ····· 60
ダウン・オン・ザ・コーナー

KEEP ON CHOOGLIN' ····· 68
キープ・オン・チューグリン



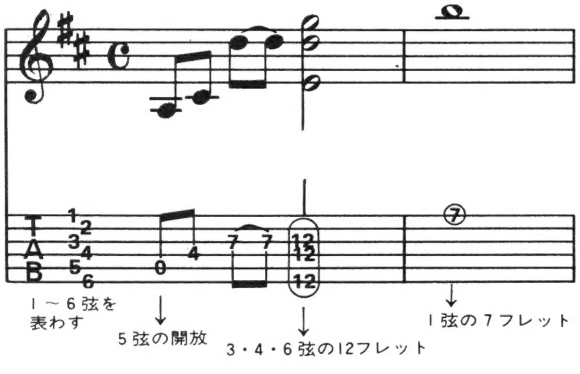
本書使用上の注意

本書では、ヴォーカル、ギター(タブ譜付)、リズム・ギター(リズム譜)、ベースの4パート構成で掲載してあります。ただし、「キープ・オン・チューグリン」は、紙面の都合上、ギター譜とヴォーカル譜のみ掲載し、途中のハーモニカ、ギター・ソロの部分を省略してあります。

なお、ヴォーカル・パートに関して、1・2・3…番で歌いまわしの微妙に違う部分があり、それについてはできるだけ採譜し、原則的には符尾の向き(上向き・下向き)や、小玉で区別してあります。

また、ドラム・パターンは解説中に示してあるので参照して下さい。

タブラチュアの見方



分数記号の見方

$\frac{7}{2}$ ←フレット数 ←弦数 } この場合は、2弦の7フレットとなる。

BORN ON THE BAYOU

ボーン・オン・ザ・バイヨー

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

イントロの部分のプレイは、$\frac{7}{5}$・$\frac{6}{4}$・$\frac{7}{3}$・$\frac{5}{2}$に左手をセットして、そのままのフィンガー・フォームで音を切らずに弾き、シンコペーションの部分にアクセントをつける感じでプレイしよう。

Aからのコード・バッキングにおける記譜上の注意としては、和音が他のインストルメンツ群に解け込んでしまって判別しにくい部分があるのだが、**最も妥当と思われるものを記しておいた**※。

シンコペーションが多いので、クイの部分が突っ込みすぎないように注意してプレイしよう。

※：×印となっている部分は、左手でミュートしているために和音が鮮明には聞きとれないのだが、後のコード・バッキングのフレージングの前後関係から見て、タブ譜にはポジションを記してある。なお、この部分は左手でミュートし、右手はオルタネイト・ピッキングでカッティングする。和音が記してある部分はオープン（ノン・ミュート）で弾く。

■BASS

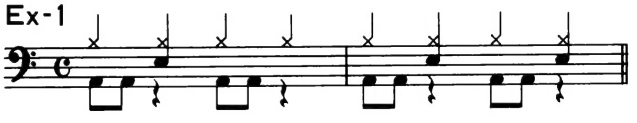
ミディアム・テンポの8ビートのナンバーで、2小節のパターンから構成されている。2小節パターンの、1小節目の4拍目のウラ（8分）のシンコペーションは、ベース、ドラムス、あるいはリズム・ギターなどと一緒になっている。

このテンポは、日本人としては非常にノリにくく、終始1コードの曲なので、1拍・1拍を十分に理解し、大きく乗れるように心掛けたい。8ビートの曲ではあるが、実際には、2ビートが基本になっていることを頭に入れてプレイしてほしい。

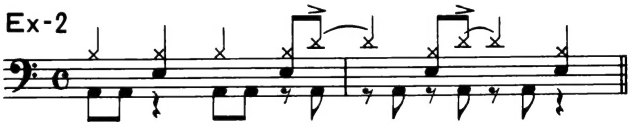
■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

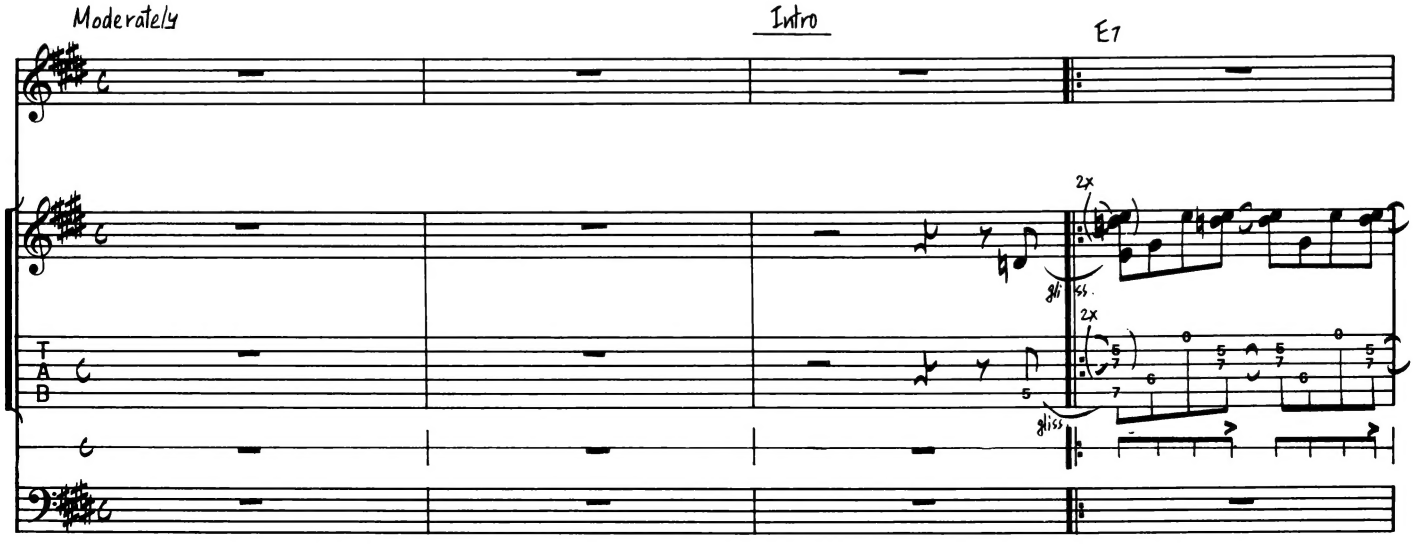
ハイハットは4ビートで刻んでいる(Ex-1)。Ex-2は、メロディーに合わせたシンコペーションで、パターンではない。リズム・ギターは終始単調なアップ・ダウンで進行している。

Ex-1

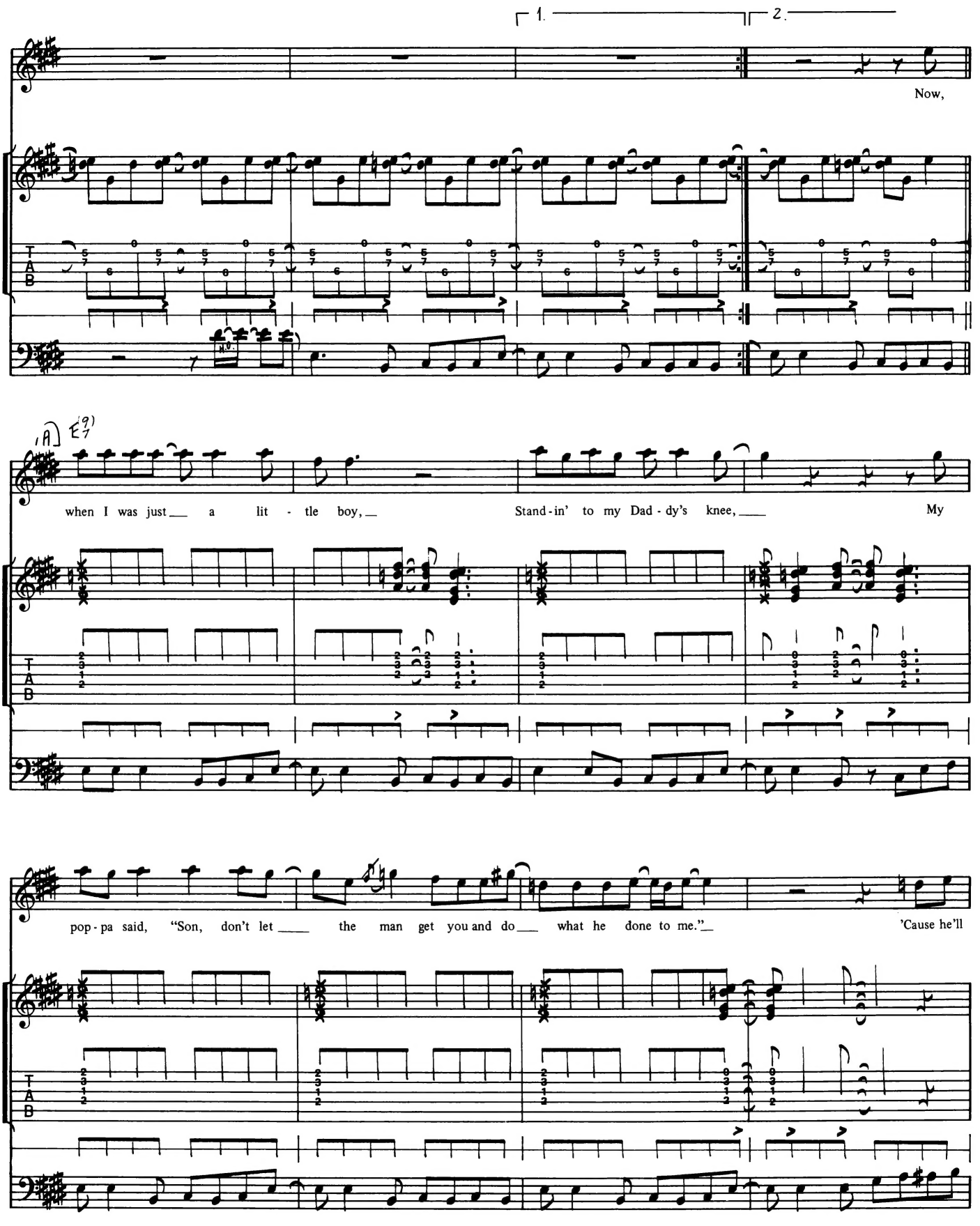


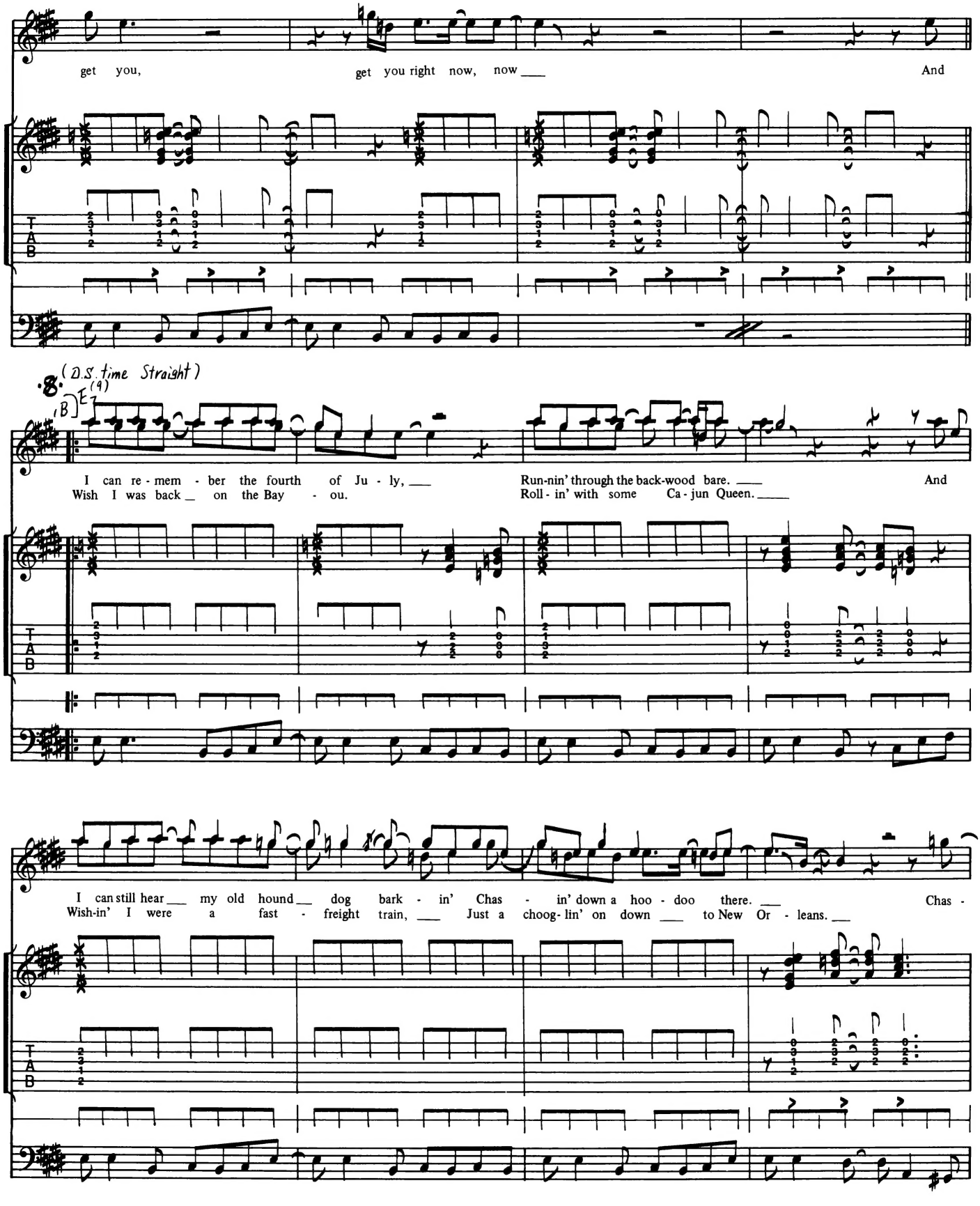
Ex-2

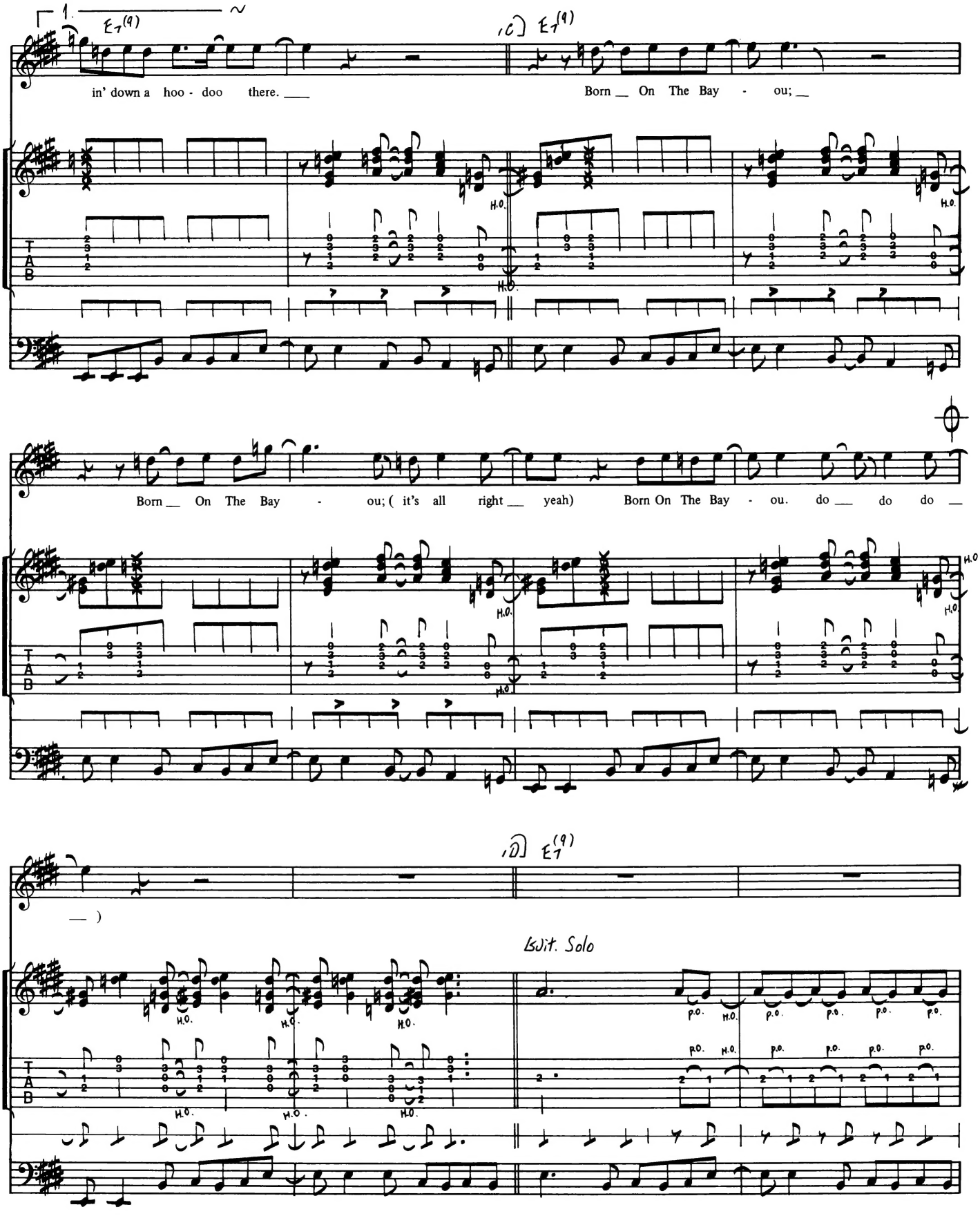


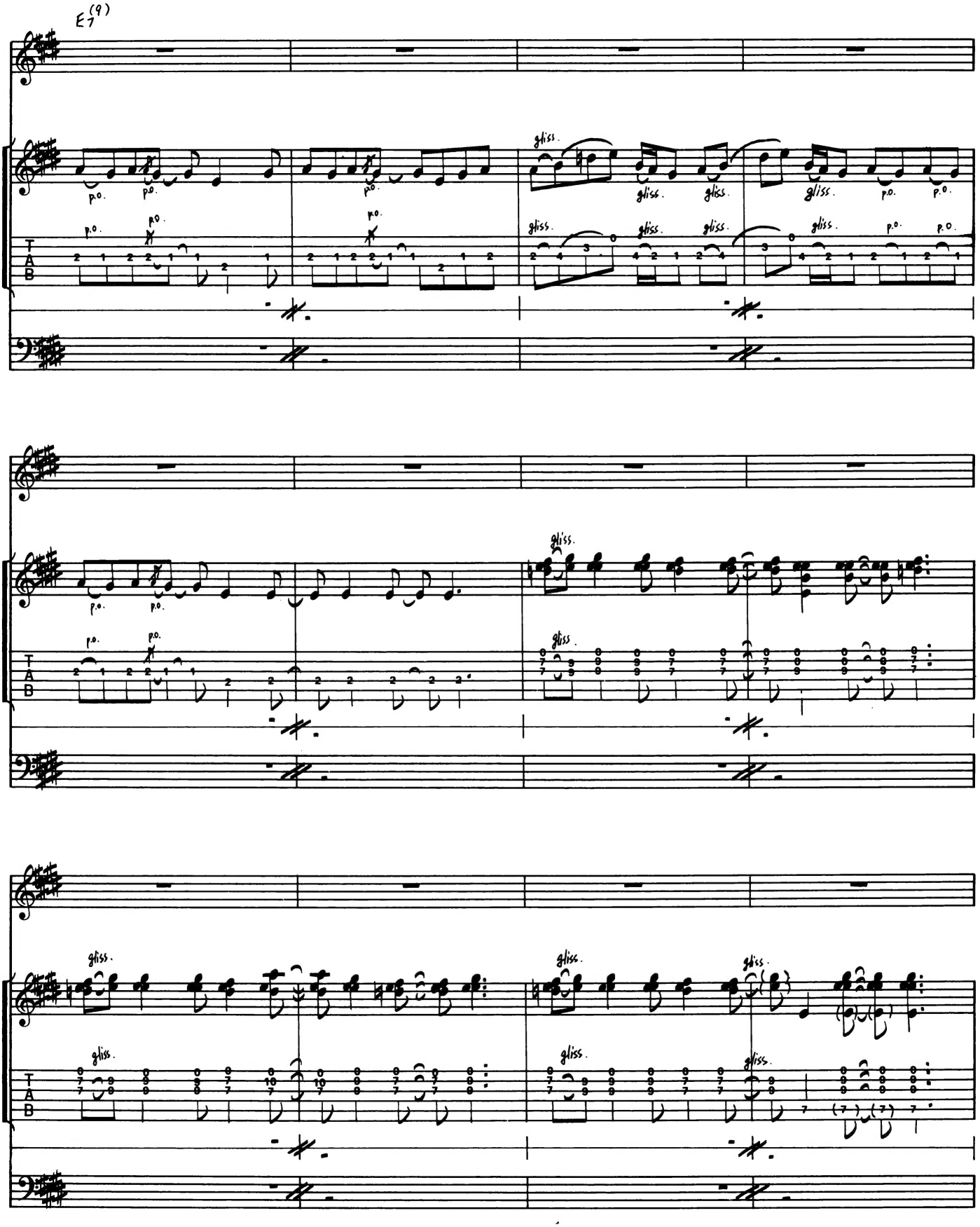


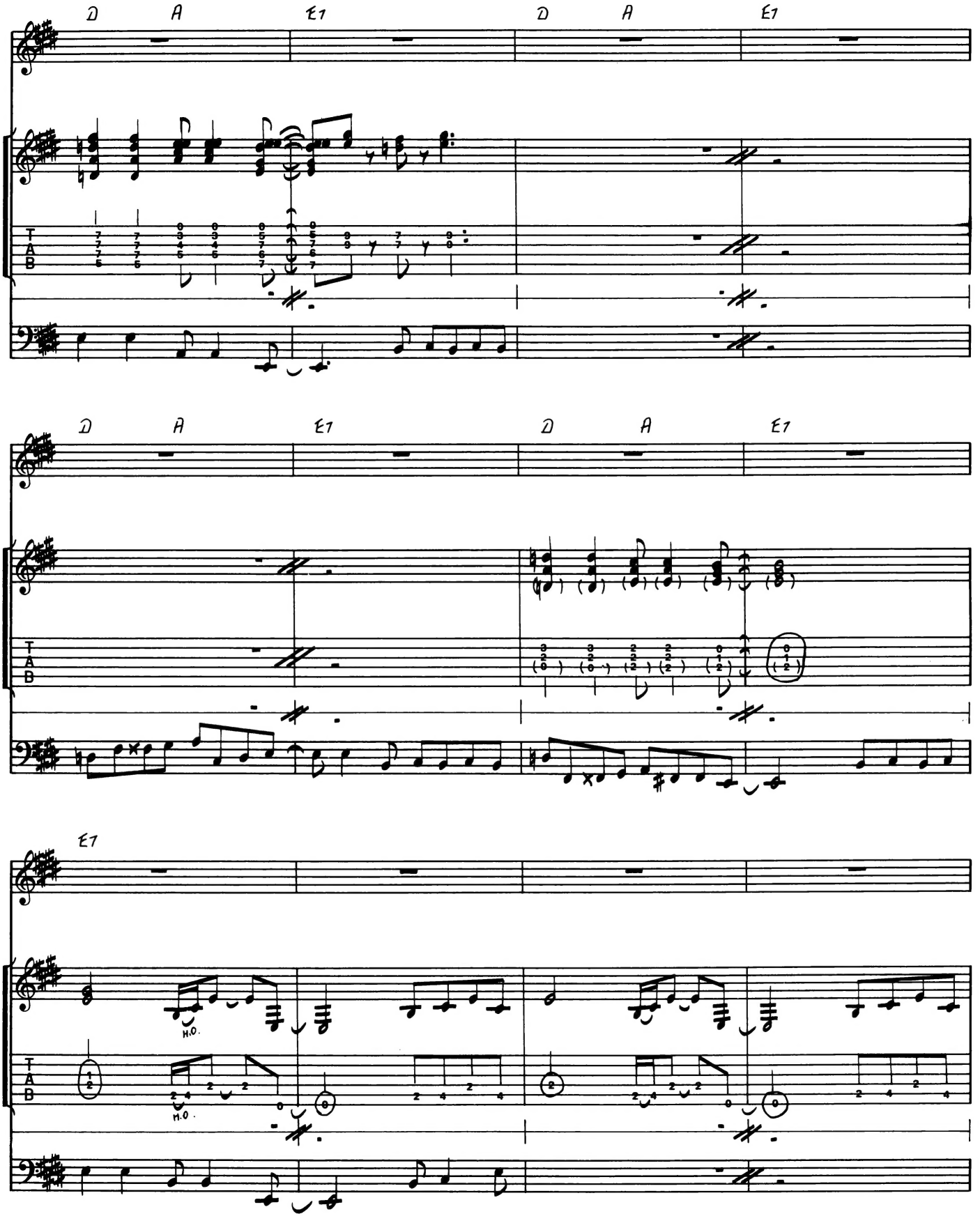
Copyright.©1968, 1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

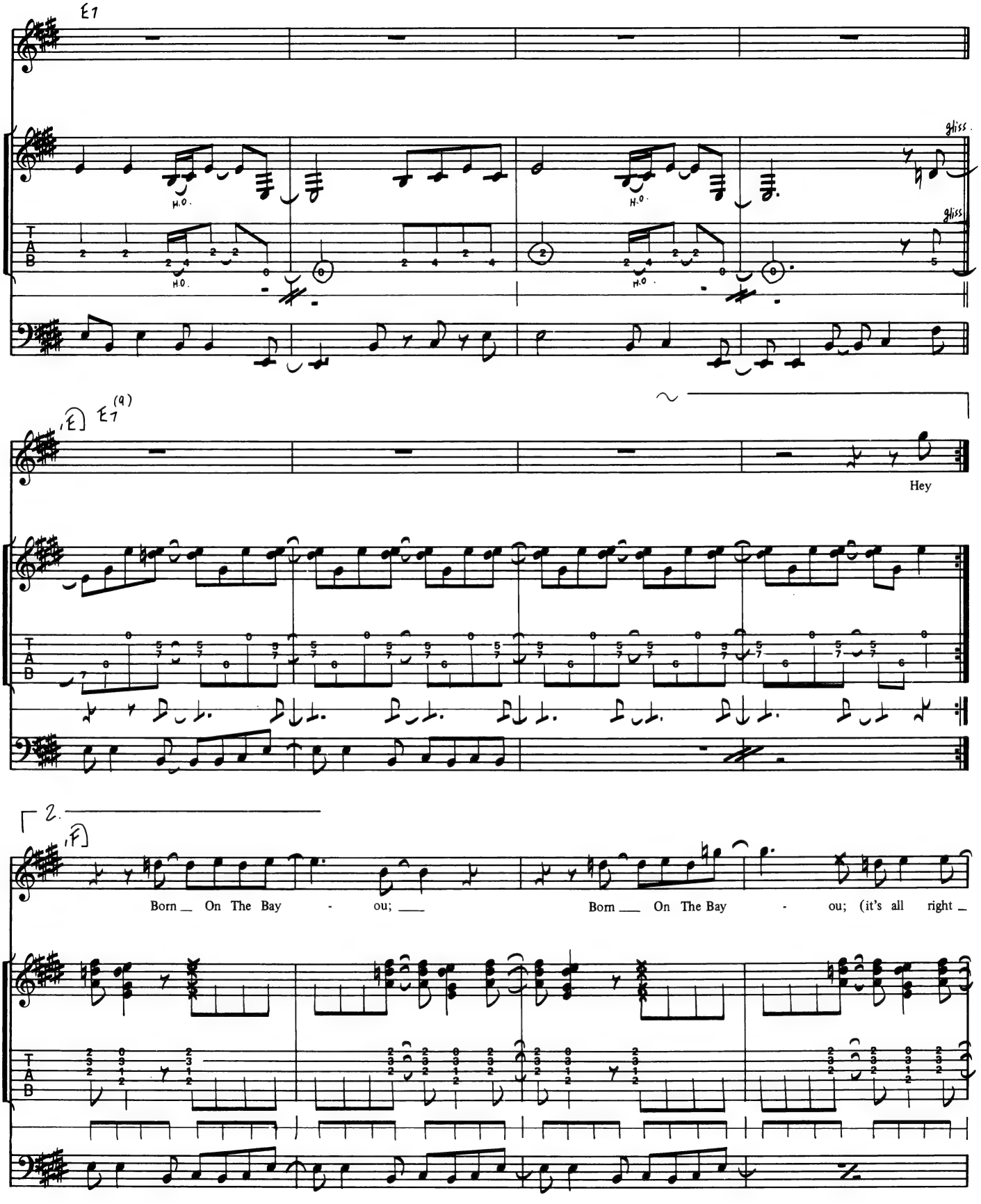

1.
2.
Now,
[A]
when I was just a lit - tle boy,
Stand-in' to my Dad-dy's knee,
My
pop-pa said, "Son, don't let the man get you and do what he done to me."
'Cause he'll

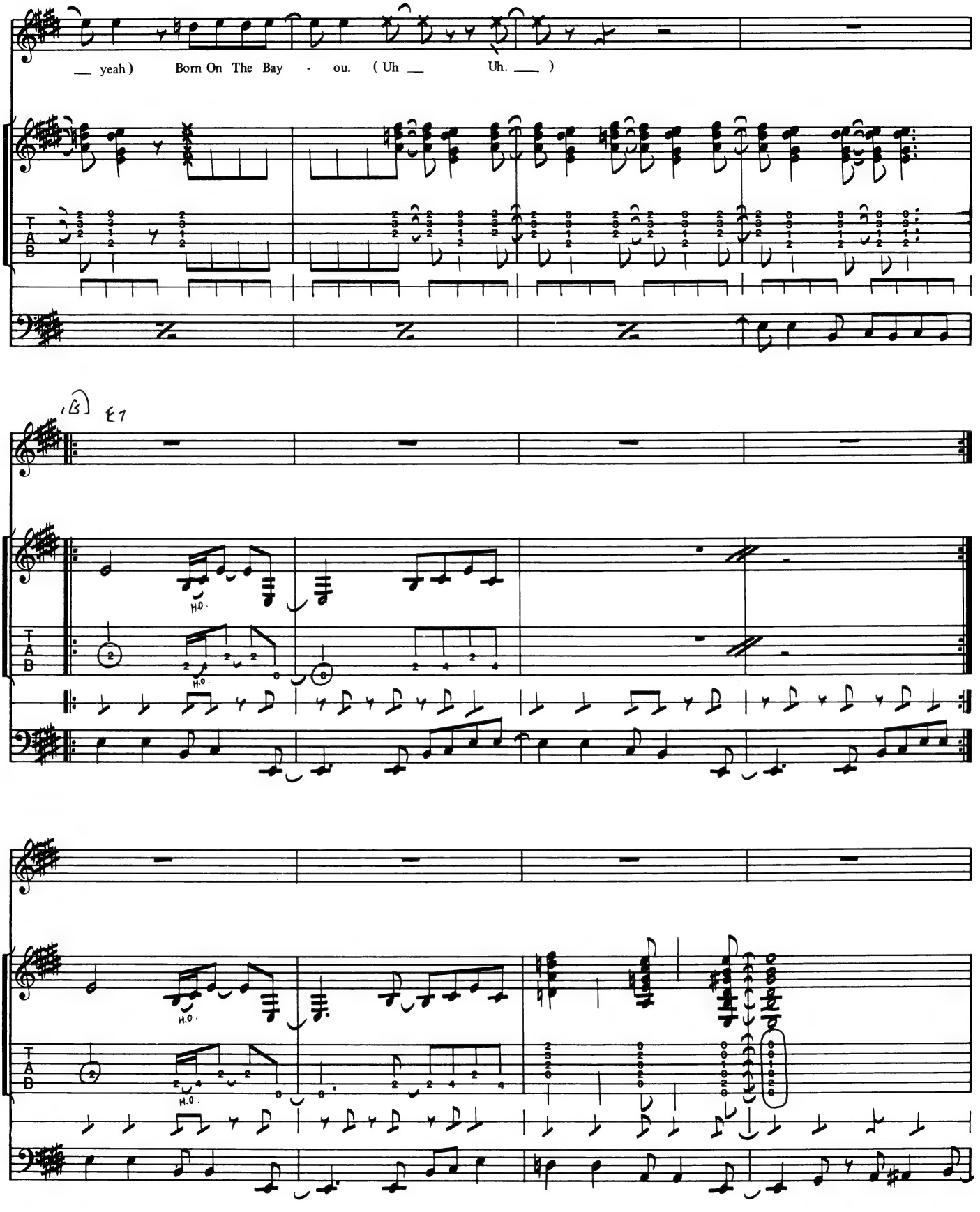

get you,
get you right now, now ___
And
(D.S. time Straight)
(B) E7 (9)
I can re - mem - ber the fourth of Ju - ly, ___
Wish I was back _ on the Bay - ou.
Run-nin' through the back-wood bare. ___
Roll - in' with some Ca - jun Queen. ___
And
I can still hear ___ my old hound ___ dog bark - in' Chas - in' down a hoo - doo there. ___
Wish-in' I were a fast - freight train, ___ Just a choog - lin' on down ___ to New Or - leans. ___
Chas -

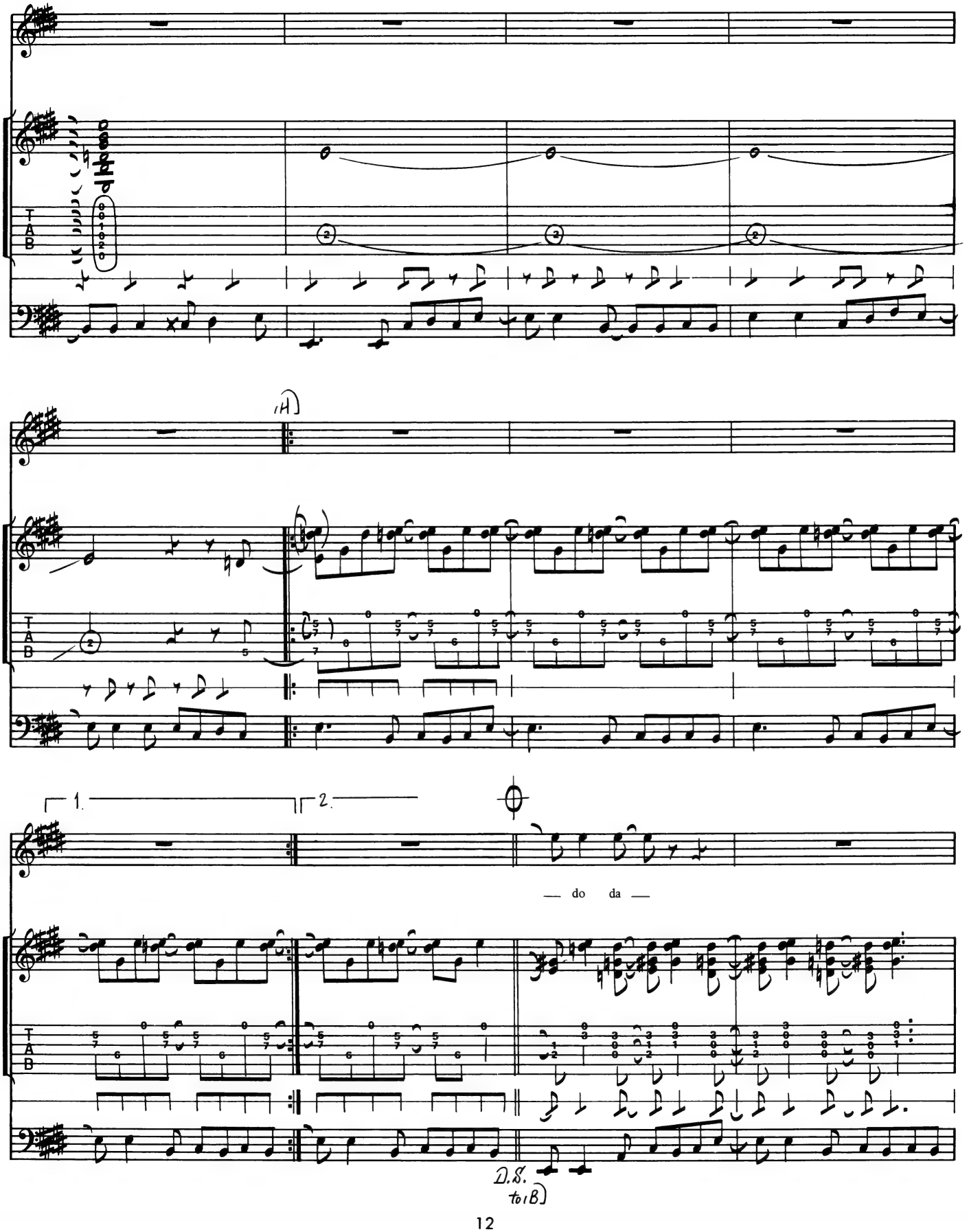

1.
E7(9)
in' down a hoo - doo there.
C
E7(9)
Born On The Bay - ou;
H.O.
Born On The Bay - ou; (it's all right yeah) Born On The Bay - ou. do do do
D
E7(9)
Guit. Solo
P.O.
H.O.
T
A
B

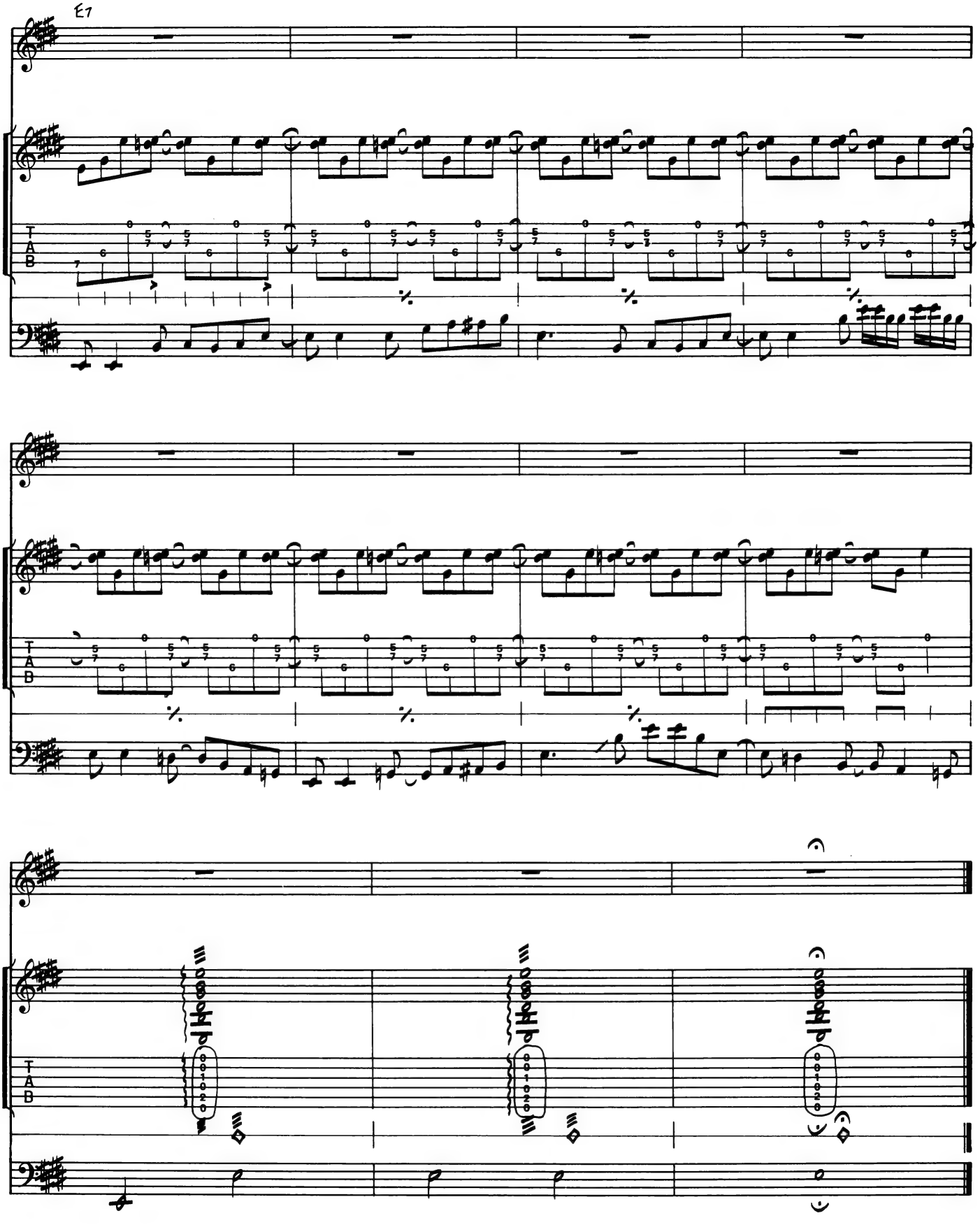

E7(9)
gliss.
p.o.
T
A
B


D
A
E7
D
A
E7
T
A
B
D
A
E7
D
A
E7
T
A
B
E7
H.O.
H.O.
T
A
B


E7
gliss.
gliss
H.O.
(E) E7 (9)
Hey
2.
(F)
Born On The Bay - ou;
Born On The Bay - ou; (it's all right


__ yeah) Born On The Bay - ou. (Uh __ Uh. __)
TAB
H.O.


(A)
1.
2.
— do da —
D.S.
to (B)


E7

GREEN RIVER

グリーン・リバー

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

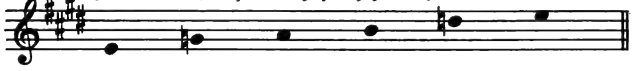
■GUITAR I

2ビートの軽やかなリズムに乗った、カントリー色豊かなこの曲は、ゆったりとプレイしよう。イントロのリフはさほど難しいものではないのだが、シンコペーションの部分をよく理解し、リズムにムラのないよう心掛けよう。

Aのヴォーカルの合い間のフィル・インのリフは、2X・3Xを記譜の都合上省略してあるので、レコードで判断してほしい。

Cの2小節目からのギター・ソロは、最初の7小節はEのブルー・ノート・ペンタトニック・スケール(Ex-1)で、次の4小節はC_7・Aそれぞれのコード分解のフレージングとなっている。各フレーズのニュアンスやタイミングなどをレコードで判断し、タブ譜を見てプレイしてもらえば充分に理解できると思う。

Ex-1 ●Eブルー・ノート・ペンタトニック・スケール



コーダからのソロはワン・コードでプレイされているが、Cの項にも述べたように、フレーズのニュアンス、タイミングなどを理解してプレイしよう。

■BASS

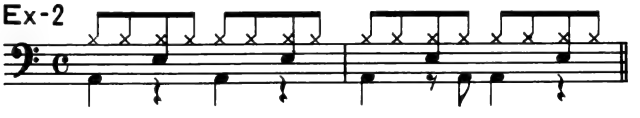
イントロの8小節で、始めの4小節はTACET(休み)で、5小節目からプレイに入る。C.C.R.独特のカントリーを基本とした2ビートで、2小節で1パターンの構成を用いている。

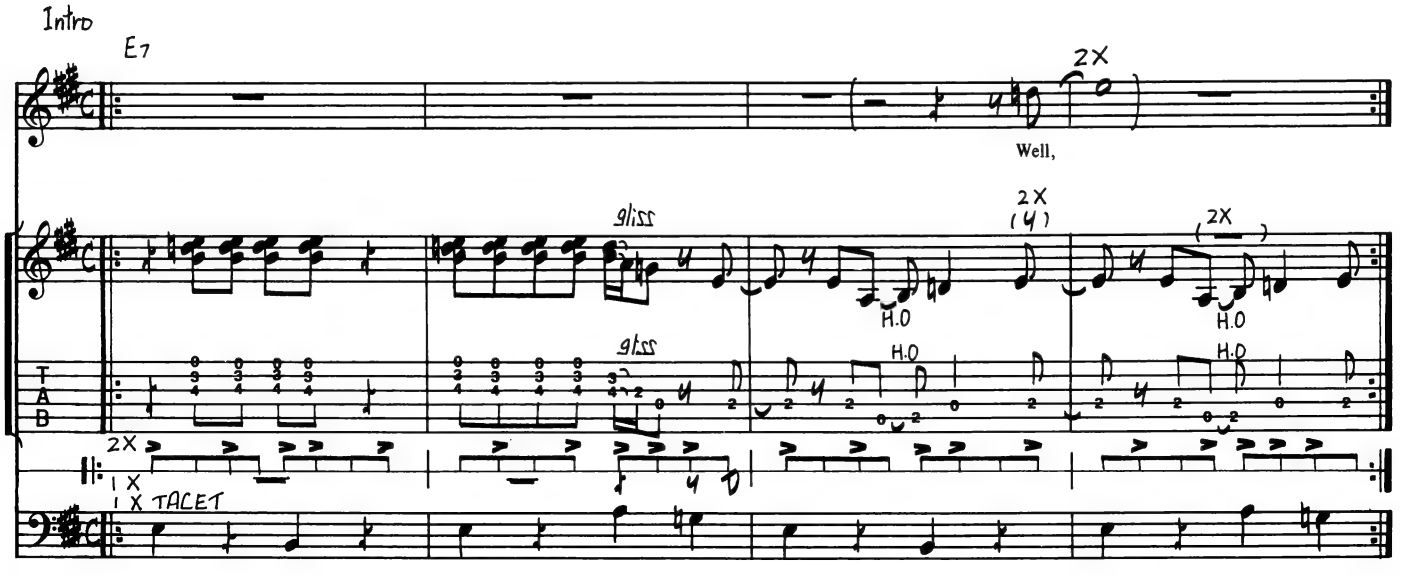
このような曲の場合、他の一般のロックなど(特に現代の音楽)と違って、きわめて音の数も少なく、あくまでも、リズム楽器としての機能を考えた上でプレイされたい。根本的には|♩𝅘𝅥𝅯♩𝅘𝅥𝅯|というように、1拍目の音を完全に2拍目の頭でミュートするようにする。

■DRUMS & GUITAR II

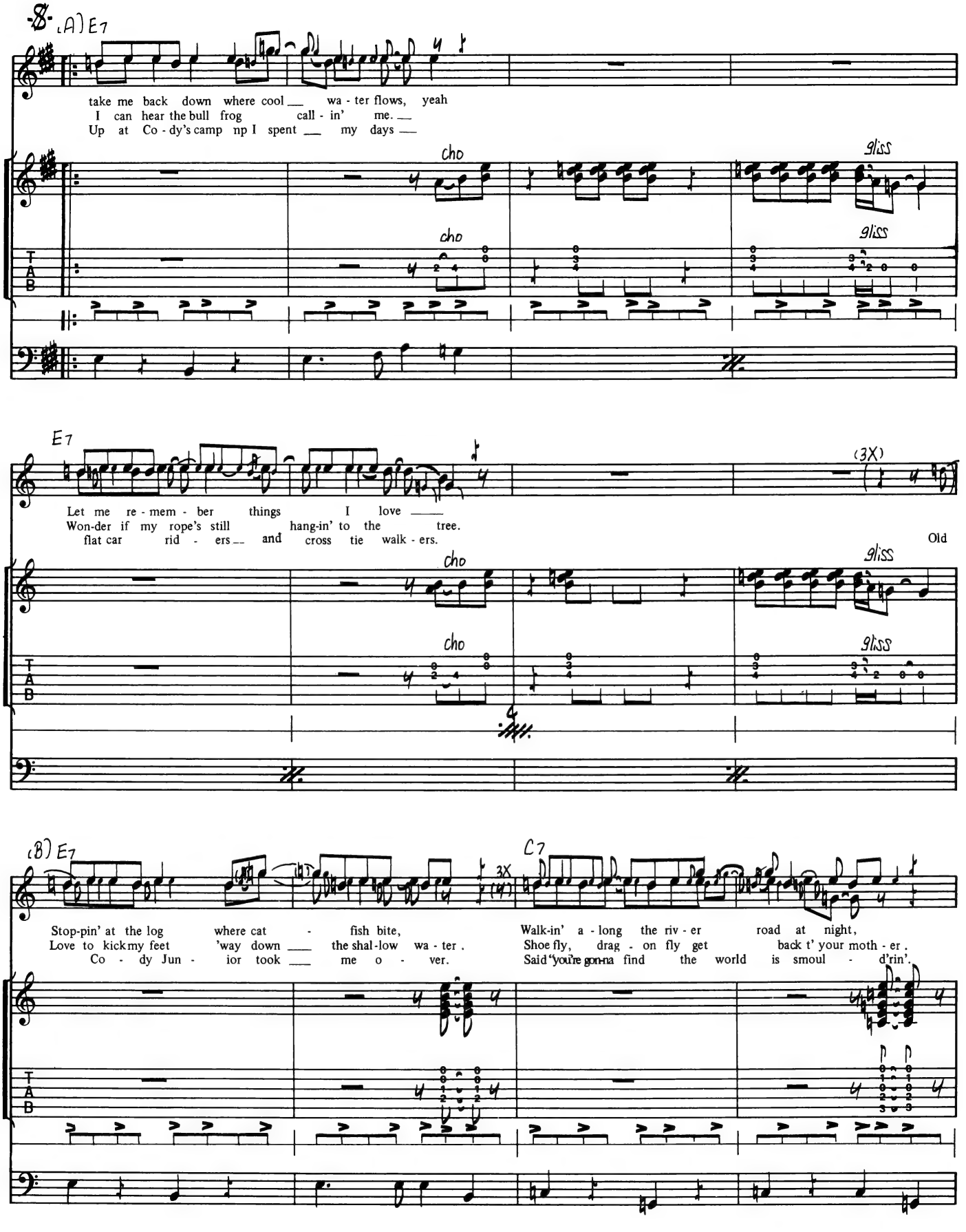
リズム・ギターのカッティングが、この曲のイメージとなっている。ハイハットは8分刻みになっているが、実際には2ビートのノリとなっている(Ex-2)。

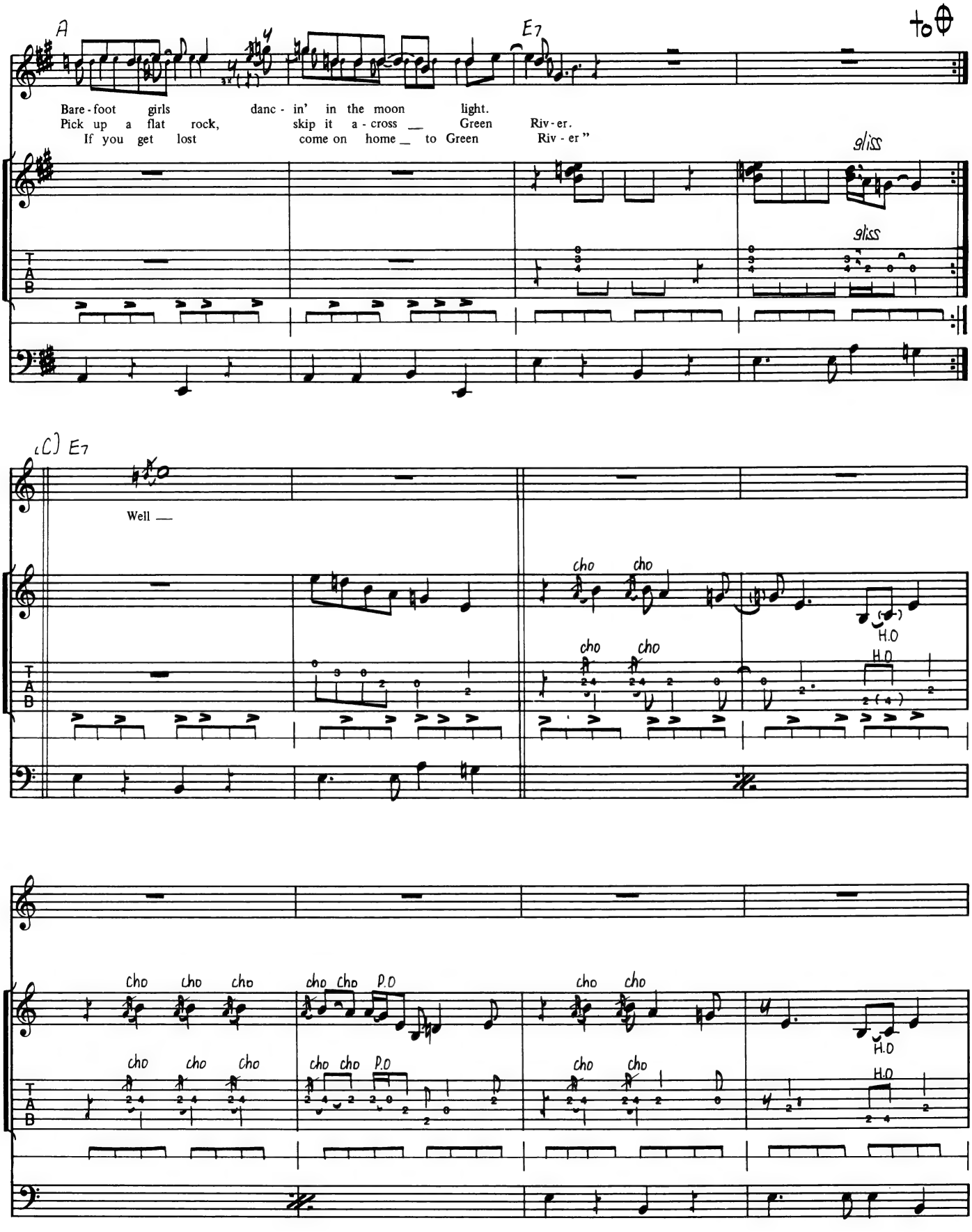
Ex-2

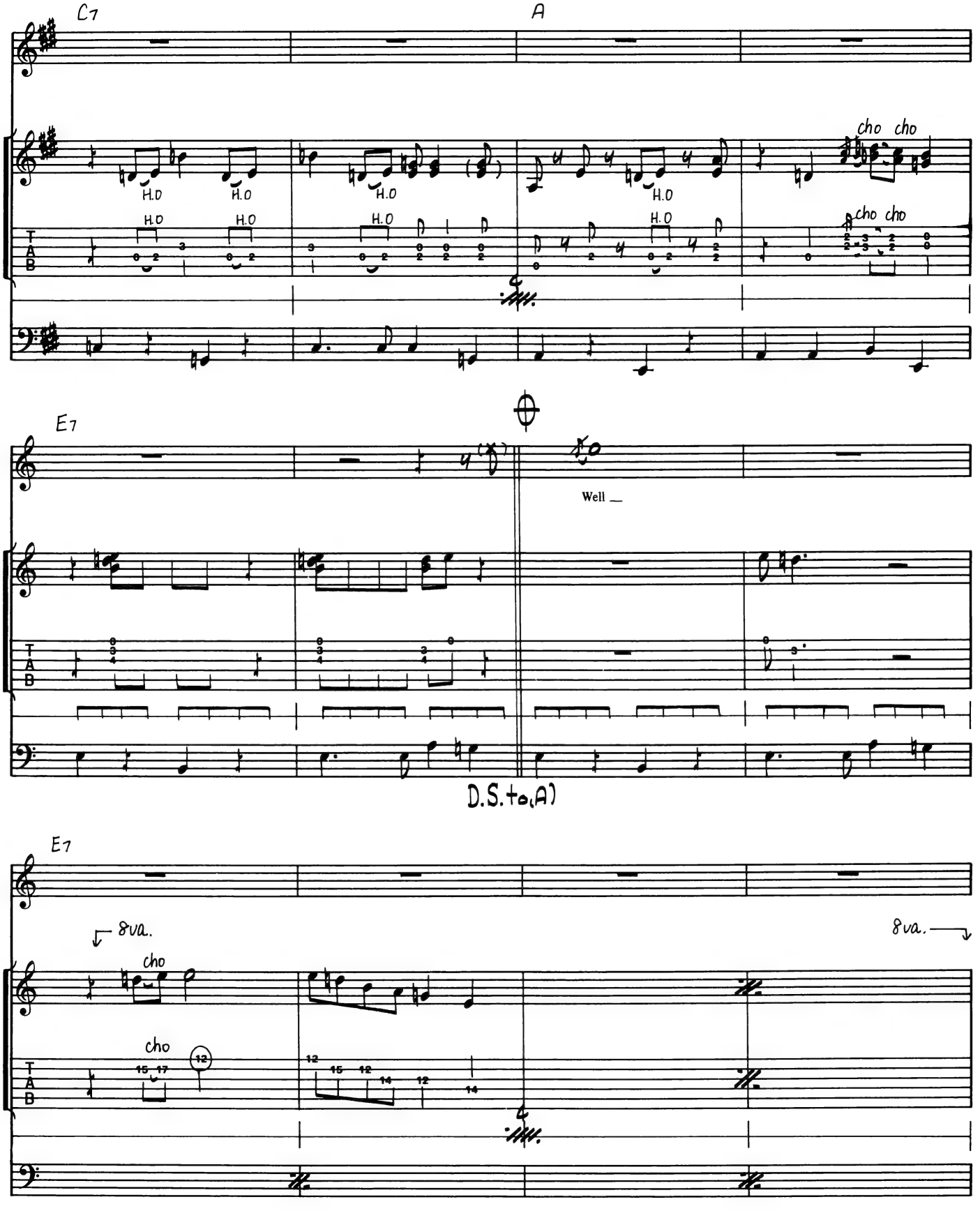


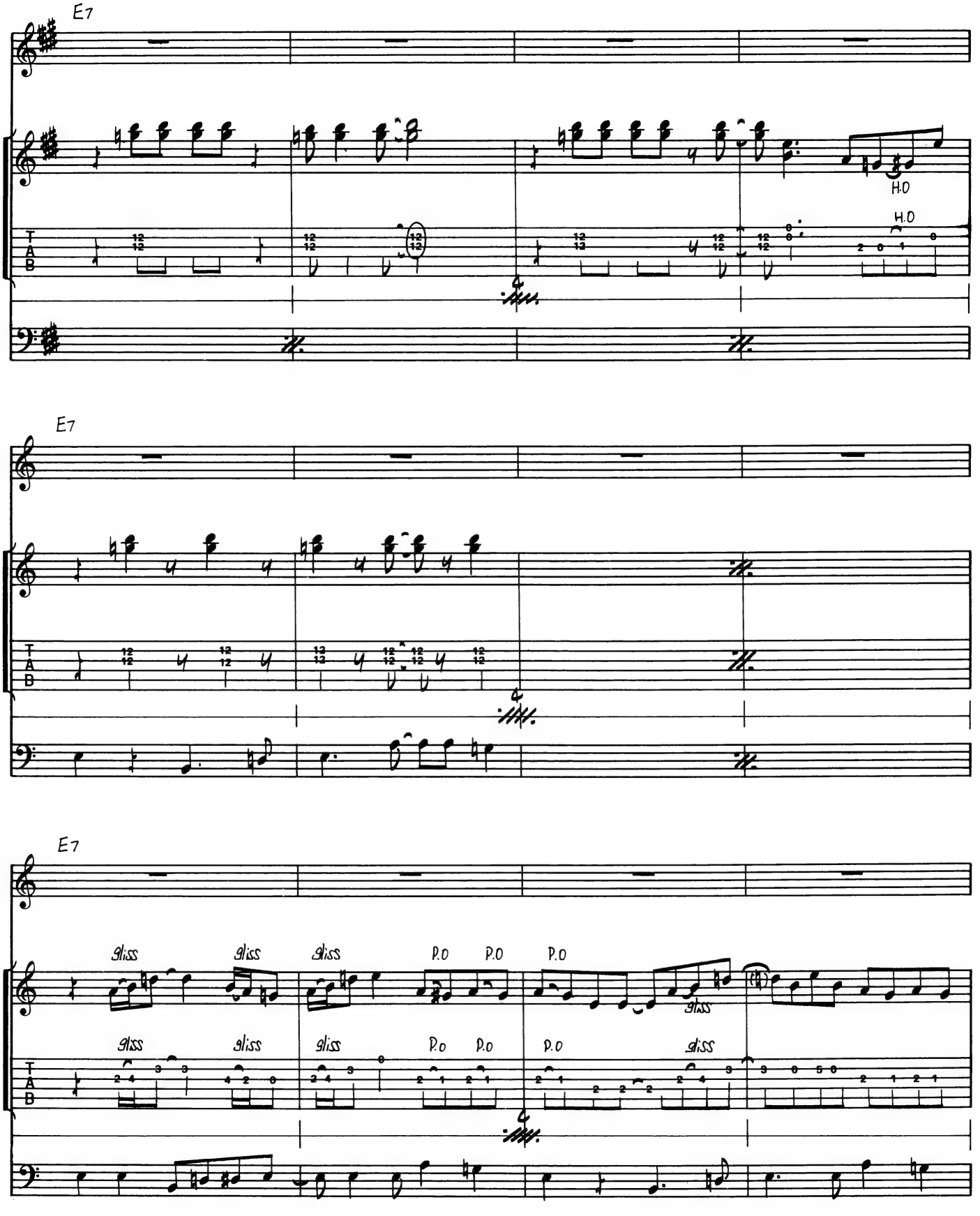


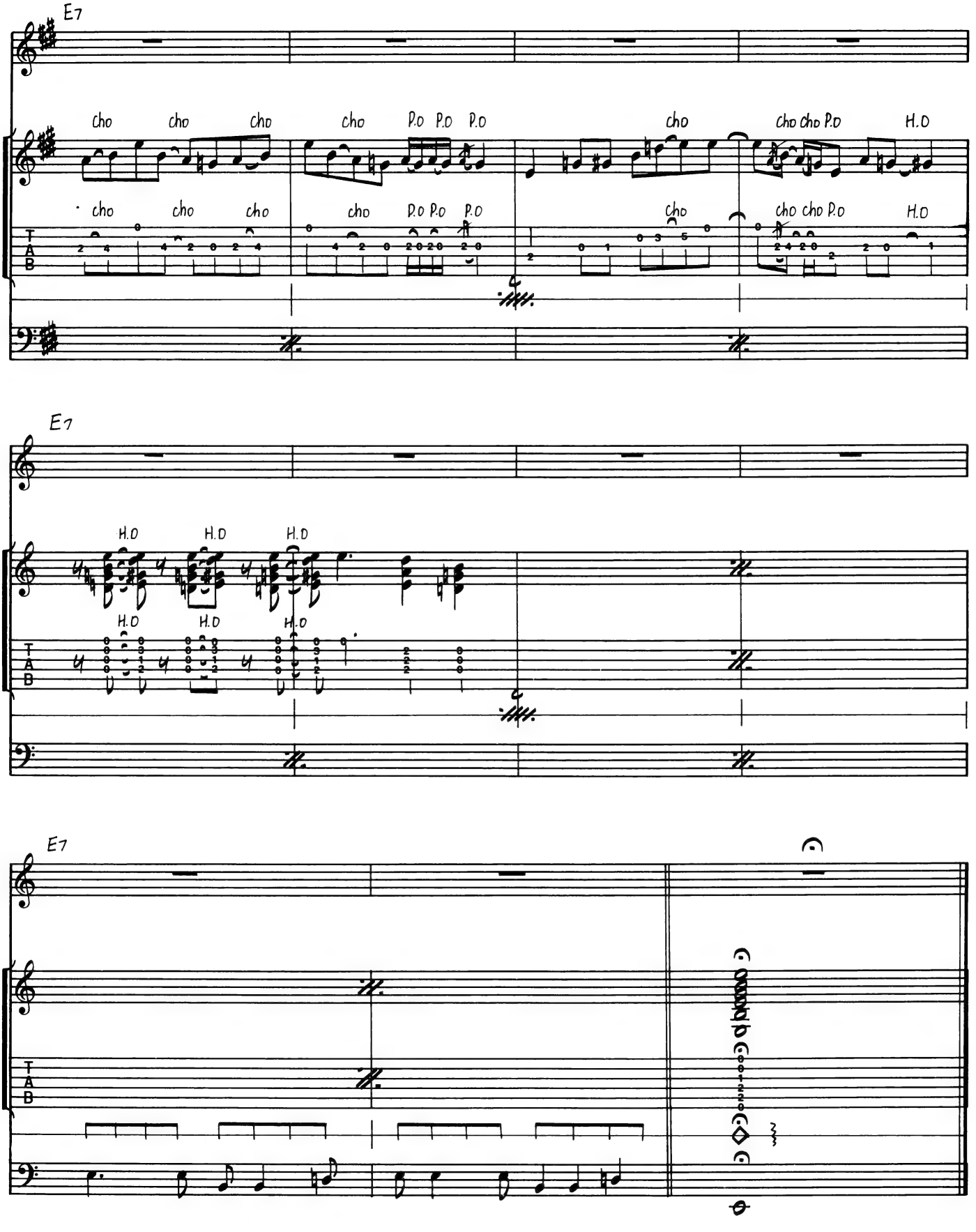
Copyright © 1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.


(A) E7
take me back down where cool wa - ter flows, yeah
I can hear the bull frog call - in' me.
Up at Co - dy's camp np I spent my days
cho
gliss
E7
(3X)
Let me re - mem - ber things I love
Won-der if my rope's still hang-in' to the tree.
flat car rid - ers and cross tie walk - ers.
Old
(B) E7
3X
C7
Stop-pin' at the log where cat - fish bite,
Love to kick my feet 'way down the shal-low wa - ter.
Co - dy Jun - ior took me o - ver.
Walk-in' a - long the riv - er road at night,
Shoe fly, drag - on fly get back t' your moth - er.
Said "you're gon-na find the world is smoul - d'rin'.
T
A
B


A
E7
to ⊕
Bare - foot girls danc - in' in the moon light.
Pick up a flat rock, skip it a - cross _ Green Riv - er.
If you get lost come on home _ to Green Riv - er"
gliss
gliss
T
A
B
(C) E7
Well —
cho cho
cho cho
H.O
H.O
cho cho cho
cho cho P.O
cho cho
H.O
cho cho cho
cho cho P.O
cho cho
H.O


C7
A
H.O
cho cho
E7
Well _
D.S. to (A)
E7
8va.
cho
8va.


E7
H.O
H.O
E7
E7
gliss
gliss
gliss
P.O
P.O
P.O
gliss
gliss
gliss
gliss
P.O
P.O
P.O
gliss


E7
cho cho cho cho P.O P.O P.O cho cho cho P.O H.O
cho cho cho cho P.O P.O P.O cho cho cho P.O H.O
T A B
E7
H.O H.O H.O
H.O H.O H.O
T A B
E7
T A B

TOMBSTONE SHADOW

墓石の影

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

ミディアム・テンポのロックン・ロール・ナンバーである。ジョン・フォガティーのソロ・プレイは、2ヴォイスあるいは3ヴォイスの和音をアタッキーに、そしてリズミックにプレイすることが多いのだが、この曲においてはそれが見られず、シンプルでメロディアスなフレージング構成となっている。

イントロで注意することは、チョーキングのタイミングと音程（1音のチョーキングと半音のチョーキングが出てくる）をよく見きわめてプレイすることだ。

A・Cにおけるヴォーカルの合い間をぬってのフィル・イン・プレイは、ヴォーカルとからみ合うような気持ちでプレイすることがポイントである。

なお、この曲において(全般に言えることだが)、繰り返しの部分で、記譜の都合上載せきれない部分は省略されているので、各自レコードにより判断してほしい。

Bとコーダのギター・ソロはイントロの項に述べたような部分に注意して、ゆったりとプレイしよう。

■BASS

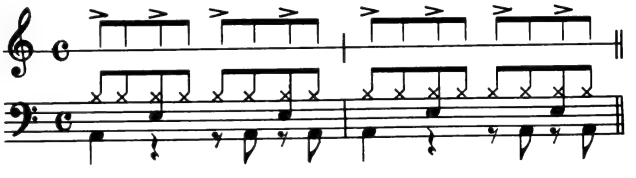
オーソドックスなブルース・コードから成っている。すべてのコードが7thで、ベース・パターンも、そのまま7th音を経過して、7thを強調している。

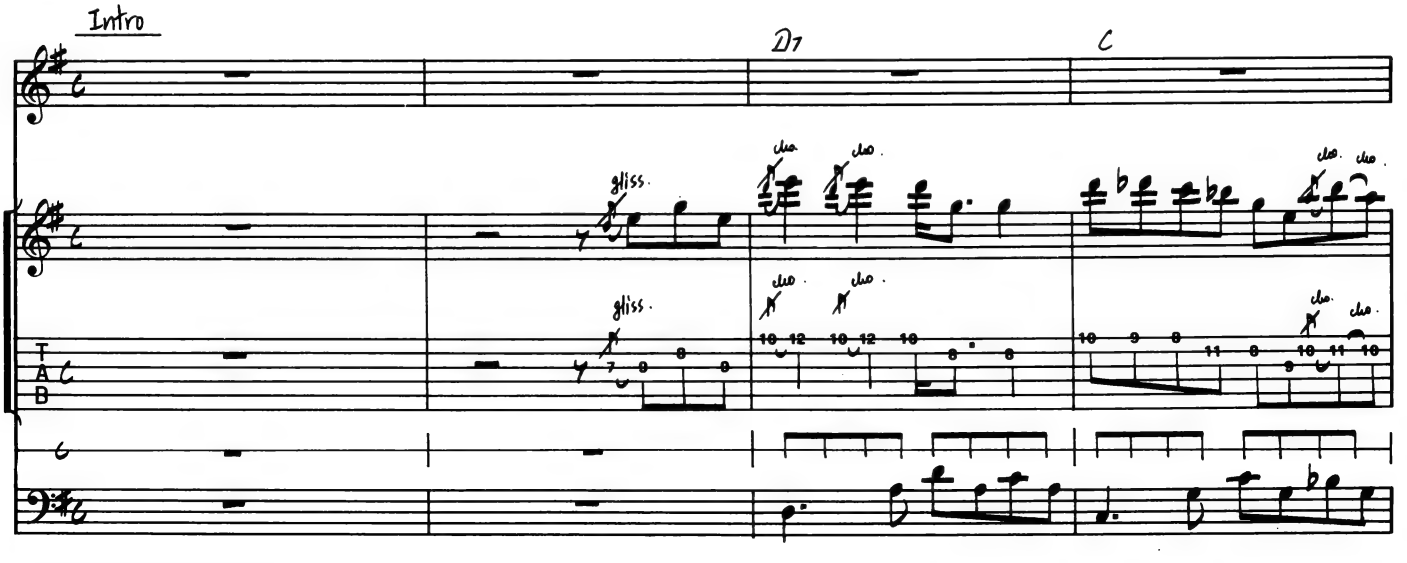
パターンとしては、リハーサル記号Aのように、シンコペーションを含んだものと、Bに出てくるようなそうでないものの2パターンで成立している。単純なフレーズの繰り返しだが、1拍目のアクセントを明確にし、スムーズにコード移動ができるように心掛けたい。

■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

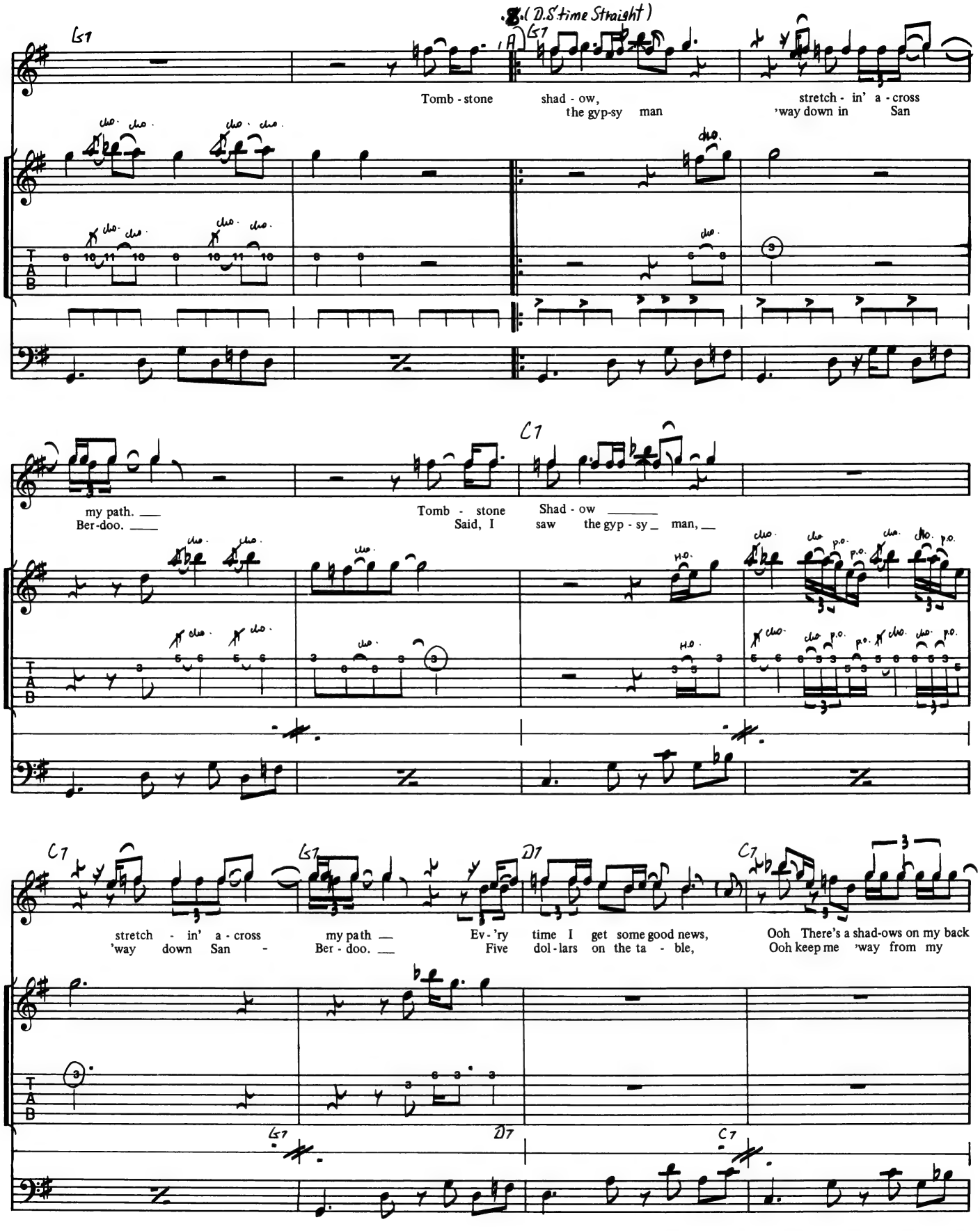
Ex-1は、イントロ、及び間奏の部分である。ヴォーカルの部分では、リズム・ギターはアクセントをつけずに弾いている。

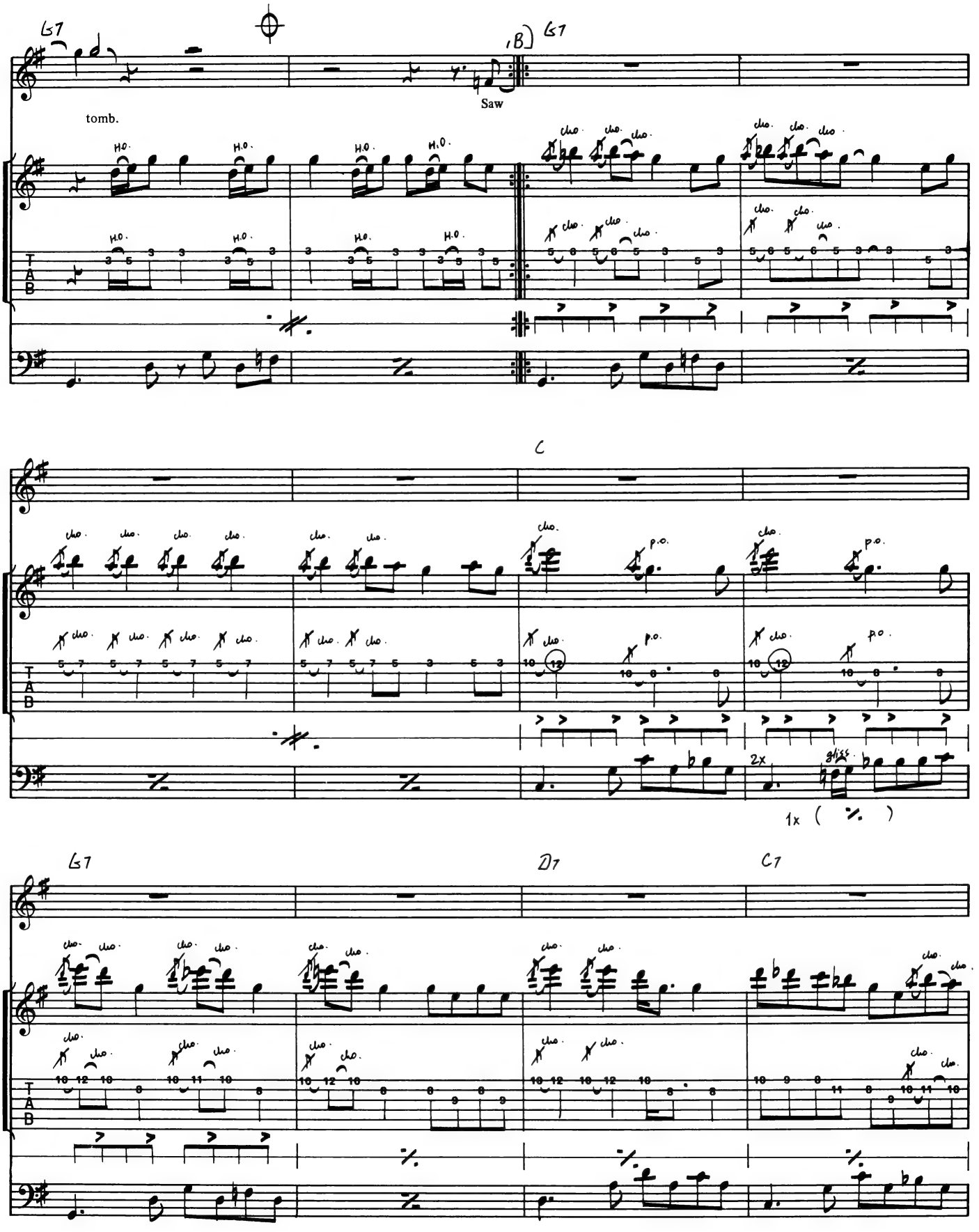
Ex-1

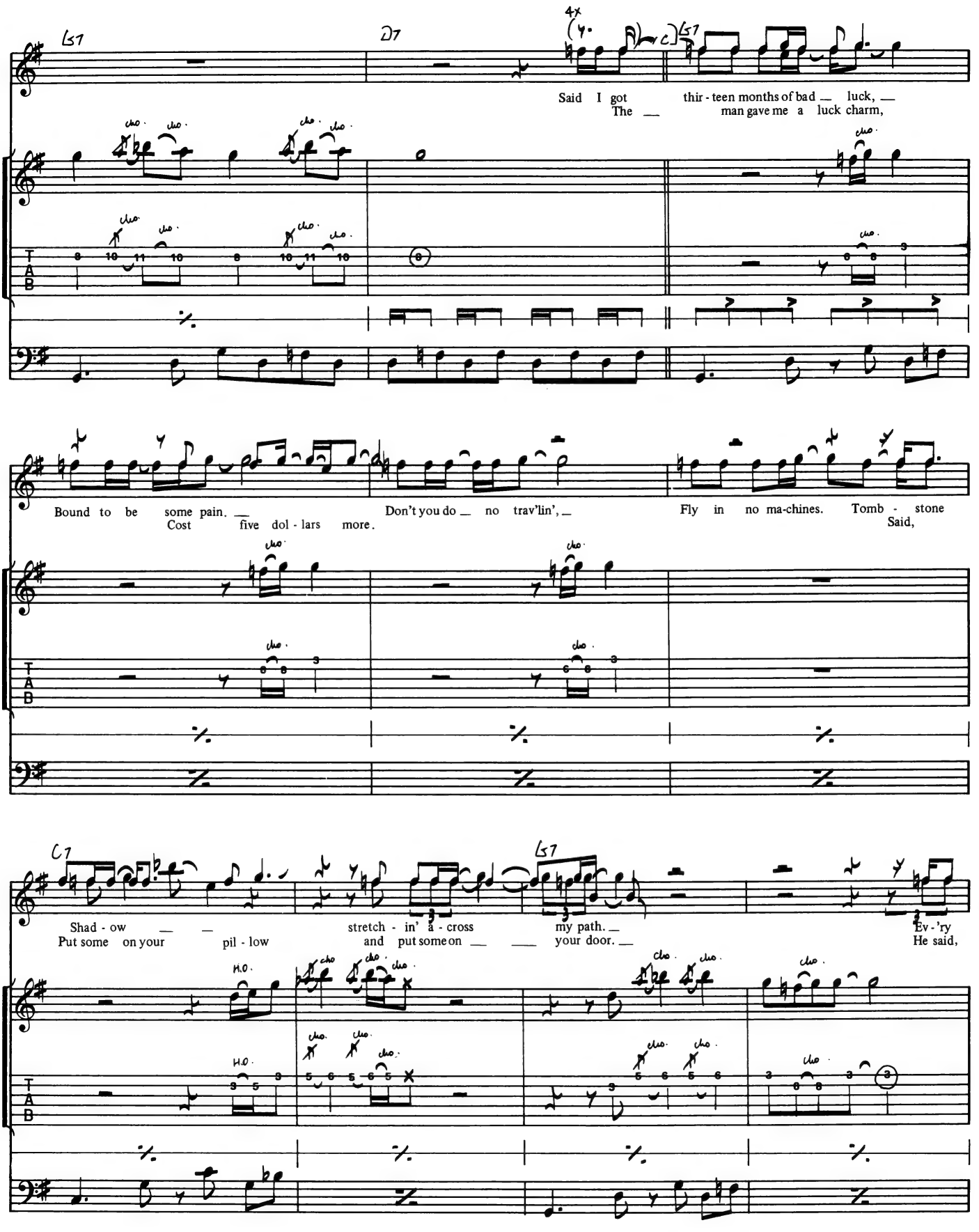


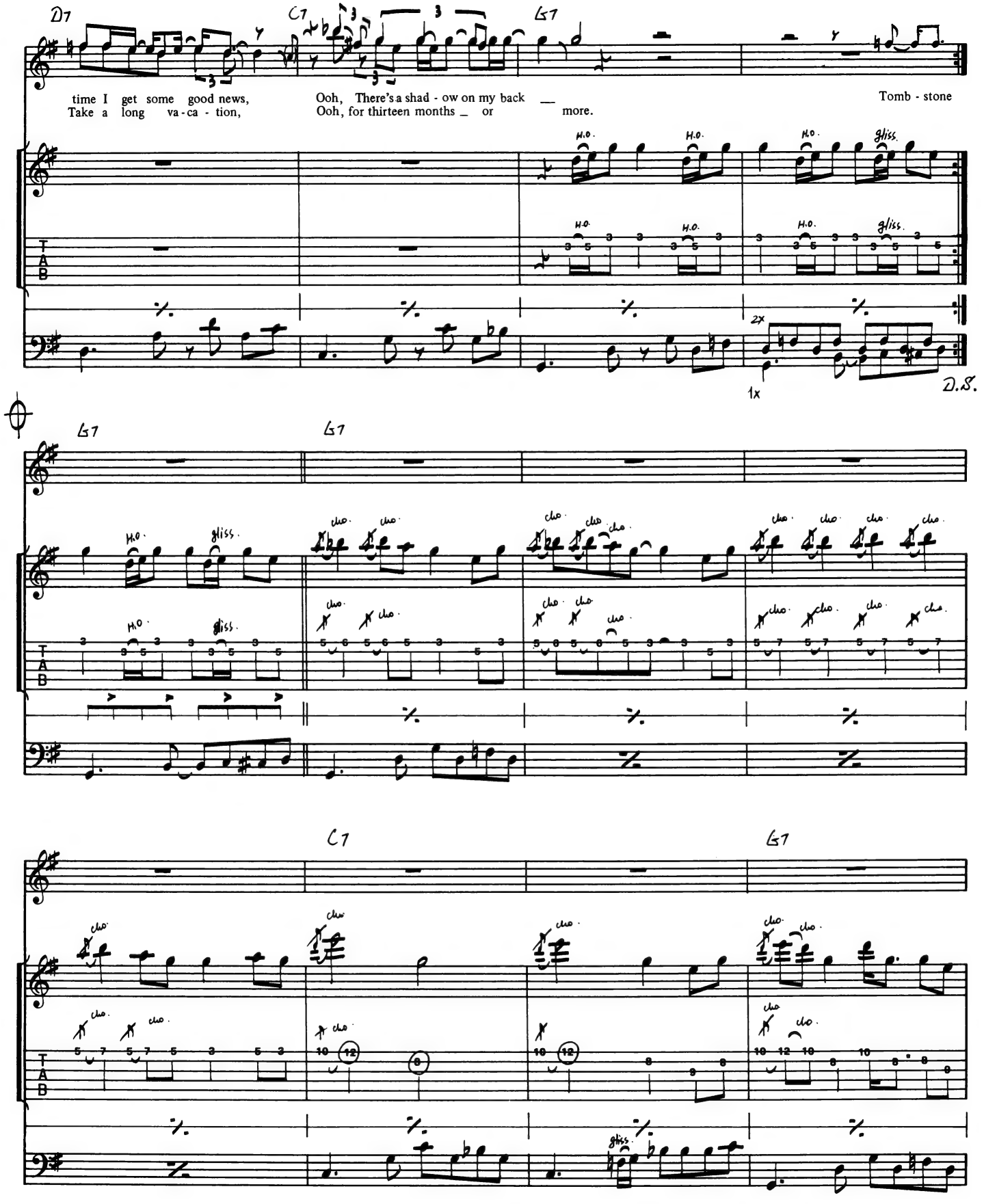


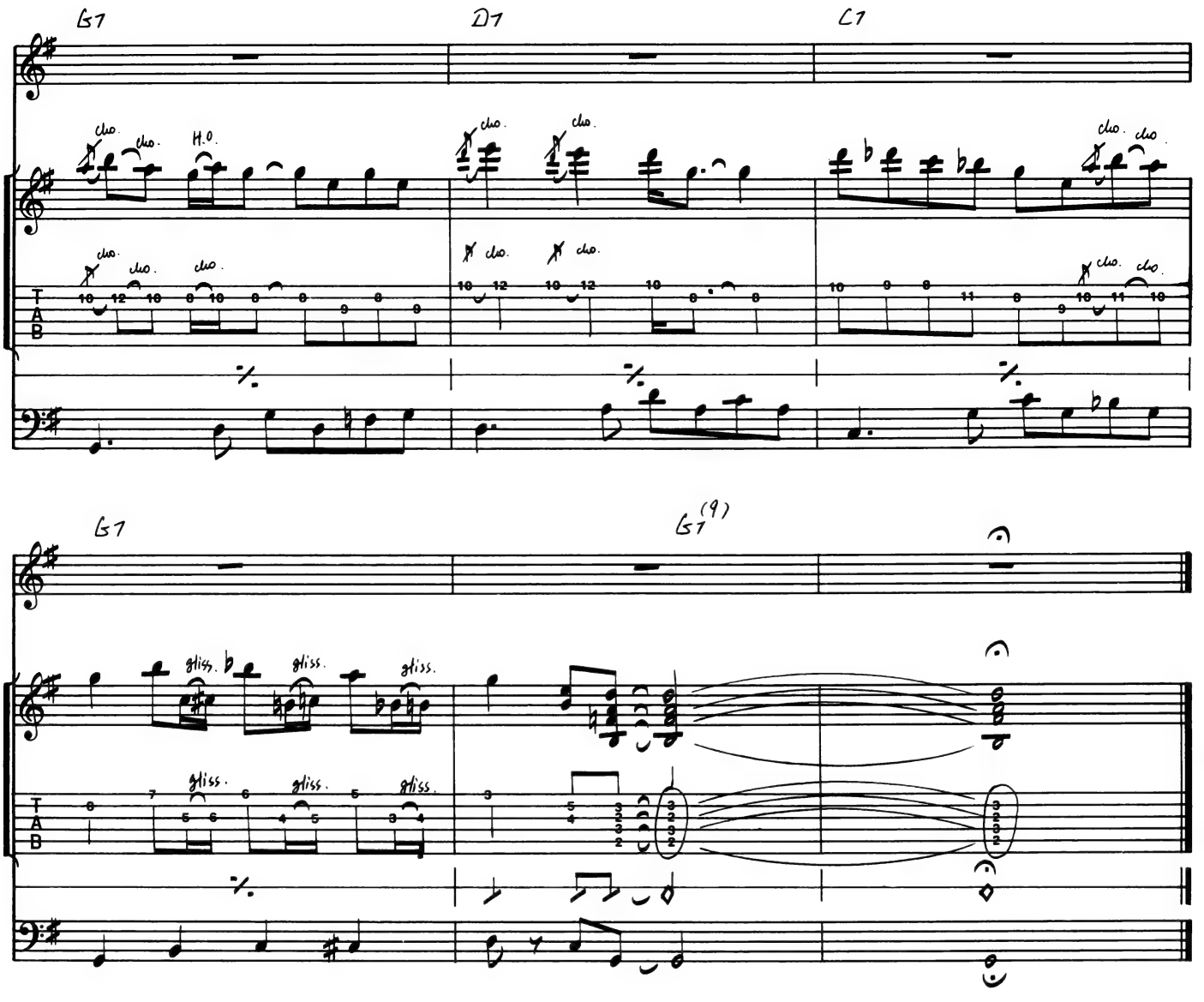
Copyright ©1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.


(D.S. time Straight)
G7
A
Tomb - stone shad - ow, stretch - in' a - cross
the gyp-sy man 'way down in San
my path.
Ber-doo.
C7
Tomb - stone Shad - ow
Said, I saw the gyp - sy man,
C7
G7
D7
C7
stretch - in' a - cross my path Ev - 'ry time I get some good news, Ooh There's a shad-ows on my back
'way down San - Ber - doo. Five dol - lars on the ta - ble, Ooh keep me 'way from my
G7
D7
C7


G7
B
G7
Saw
tomb.
H.O.
cho.
C
p.o.
2x
glis.
1x
G7
D7
C7


G7
D7
4x
G7
Said I got thir - teen months of bad luck,
The man gave me a luck charm,
Bound to be some pain.
Cost five dol - lars more.
Don't you do no trav'lin',
Fly in no ma-chines. Tomb - stone Said,
C7
G7
Shad - ow
Put some on your pil - low
stretch - in' a - cross
and put some on your door.
my path.
Ev - 'ry
He said,
H.O.
H.O.
T
A
B


D7
C7
G7
time I get some good news,
Take a long va-ca-tion,
Ooh, There's a shad-ow on my back
Ooh, for thirteen months or more.
Tomb-stone
H.O.
gliss.
2x
1x
D.S.
G7
G7
cho
C7
G7
gliss.


G7
D7
C7
cho.
H.O.
T
A
B

G7
G7(9)
gliss.
T
A
B

WHO'LL STOP THE RAIN

フール・ストップ・ザ・レイン

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

ミディアム・スローの美しいメロディー・ラインを持ったこの曲は、ヴォーカルとコーラス（Bの5小節目からの4小節）を中心としたトータル・サウンドを目指したい。ジョン・フォガティーはアコースティック・ギターでプレイしていて、アドリブ・ソロなどもなく、全体的にフォーク調のサウンド構成になっている。

イントロのギターは、アコースティック・ギターの美しい響きをうまく使ったサウンド構成で、ジョン・フォガティーは1フレーズを繰り返し、ベース・ラインを変化させてコード・チェンジをしている。Aからのギターは、オルタネイト・ピッキングによるカッティングでプレイしよう。**アクセント記号は便宜上のもの**※なので、譜面にとらわれることなく自由に弾いてもよいだろう。

※：8分音符を連続して記してあるのは、右手が常に交互に上下運動されていることを表わすものであり、Aの最初の2小節などは｜♪♪♫♫♪♪｜♪♪♪♫♪♪｜という雰囲気になればよい。

■BASS

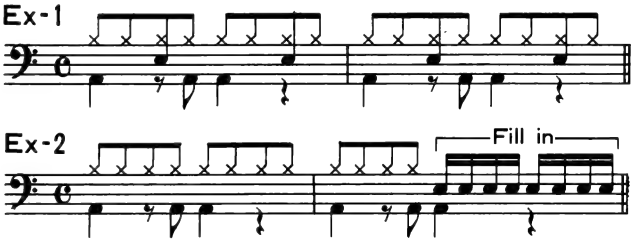
ミディアム・スローの8ビートの曲であるが、基本はやはり2ビートである。Aの6小節目では、1回目のみ前の小節と同じ「G」であるが、繰り返しの時は「Bm」に変わっている。譜面上では上段がリピート・タイム、ダル・セーニョ・タイムになっている。

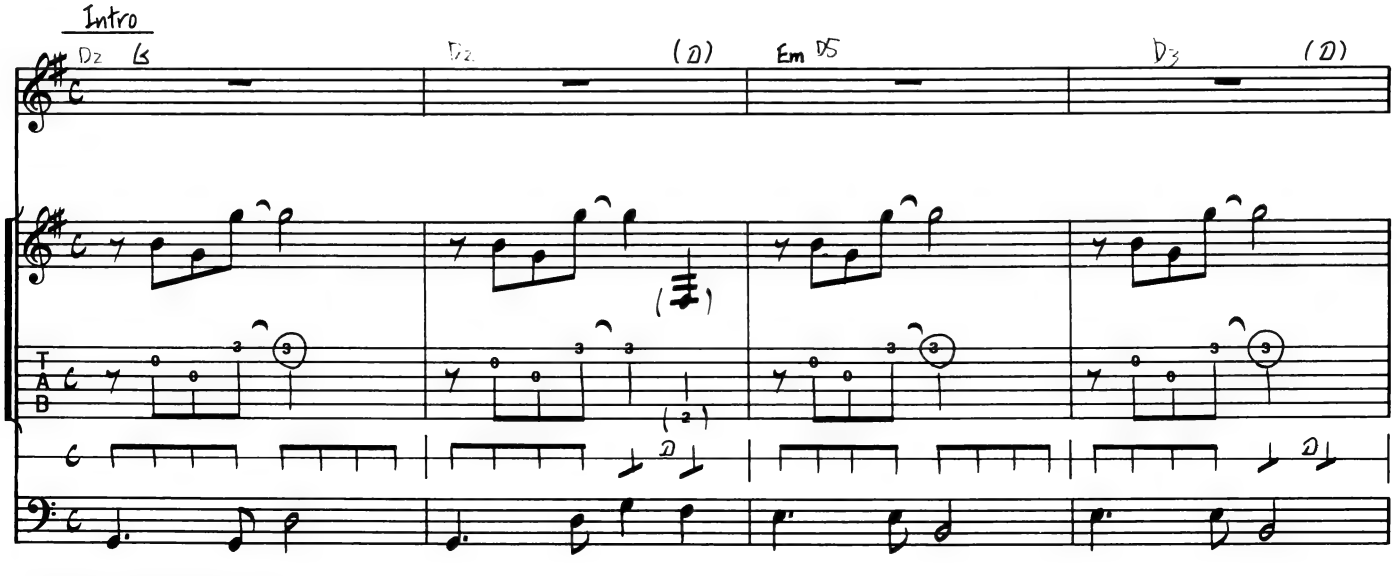
パターンとしては、本来のベーシックな1度→1度、あるいは、1度→5度というもので構成されている単純なフレージングの繰り返しだが、これはベースとしての最も基本的なことなので、プレイヤーは十分研究してほしい。

■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

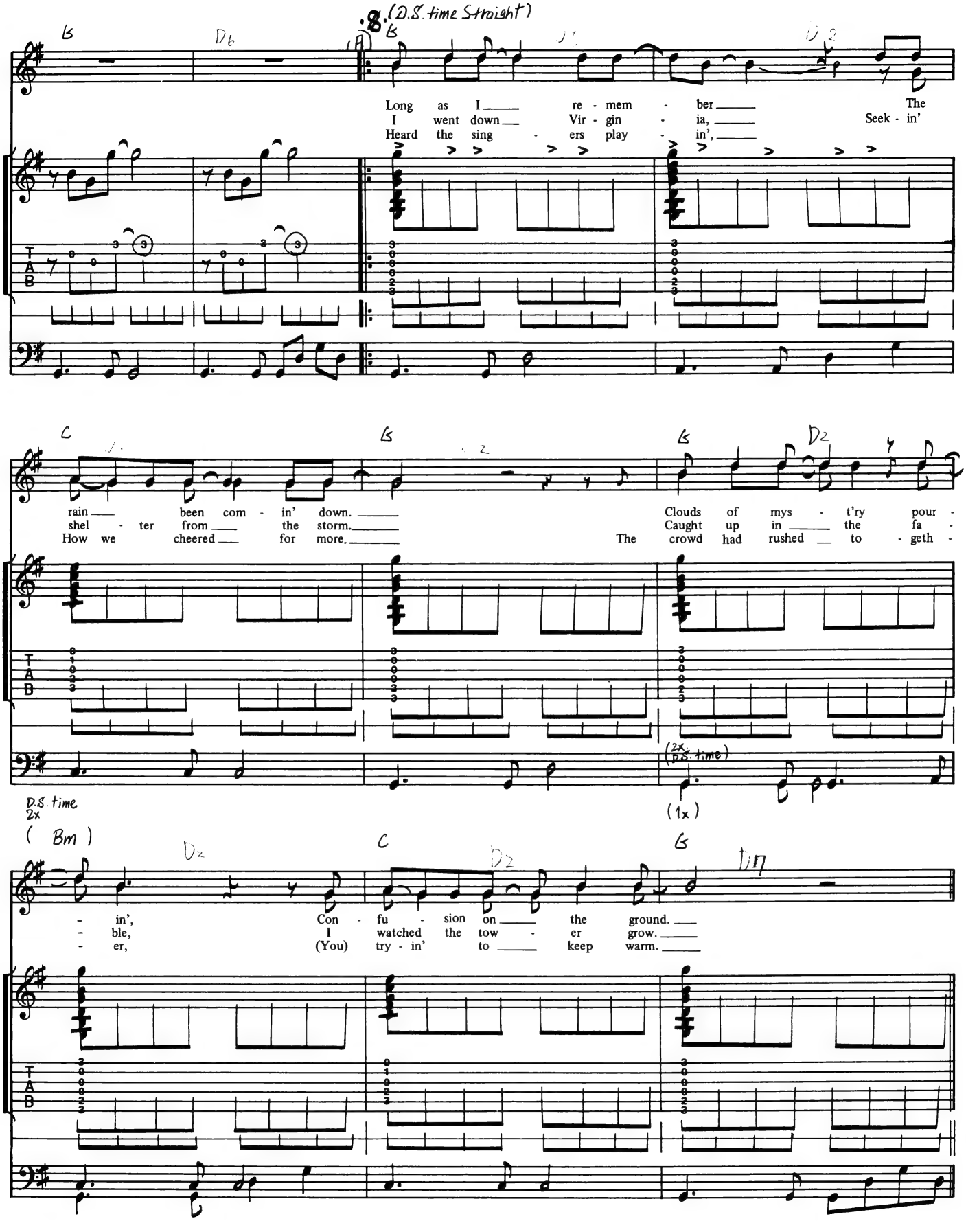
ミディアム・テンポの8ビートで、リズム・ギターは、すべて単調なアップ・ダウンの繰り返しである。

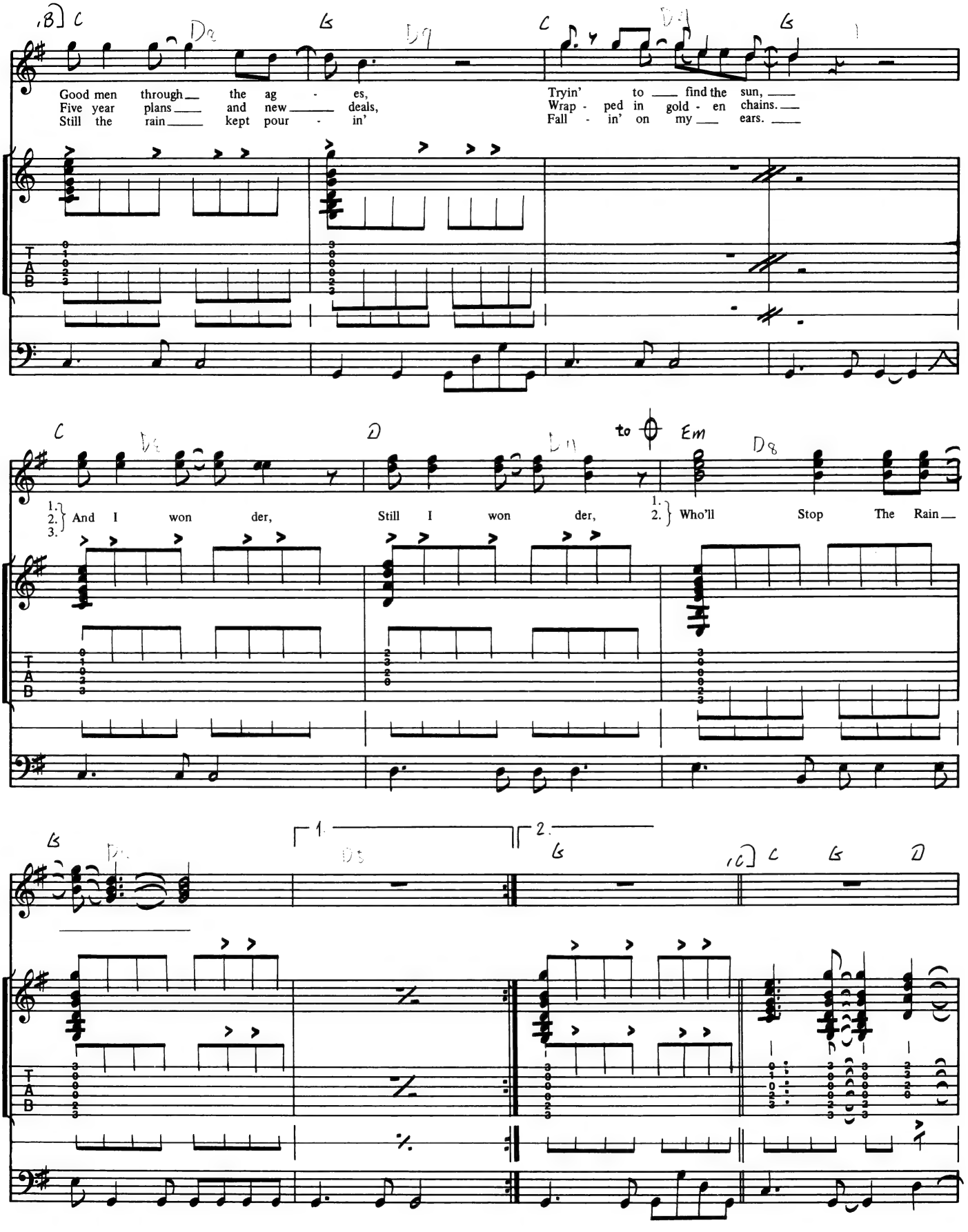
ドラムスも基本的な8ビートで(Ex-1)、フィル・インなどもシンプルなものになっている(Ex-2)。

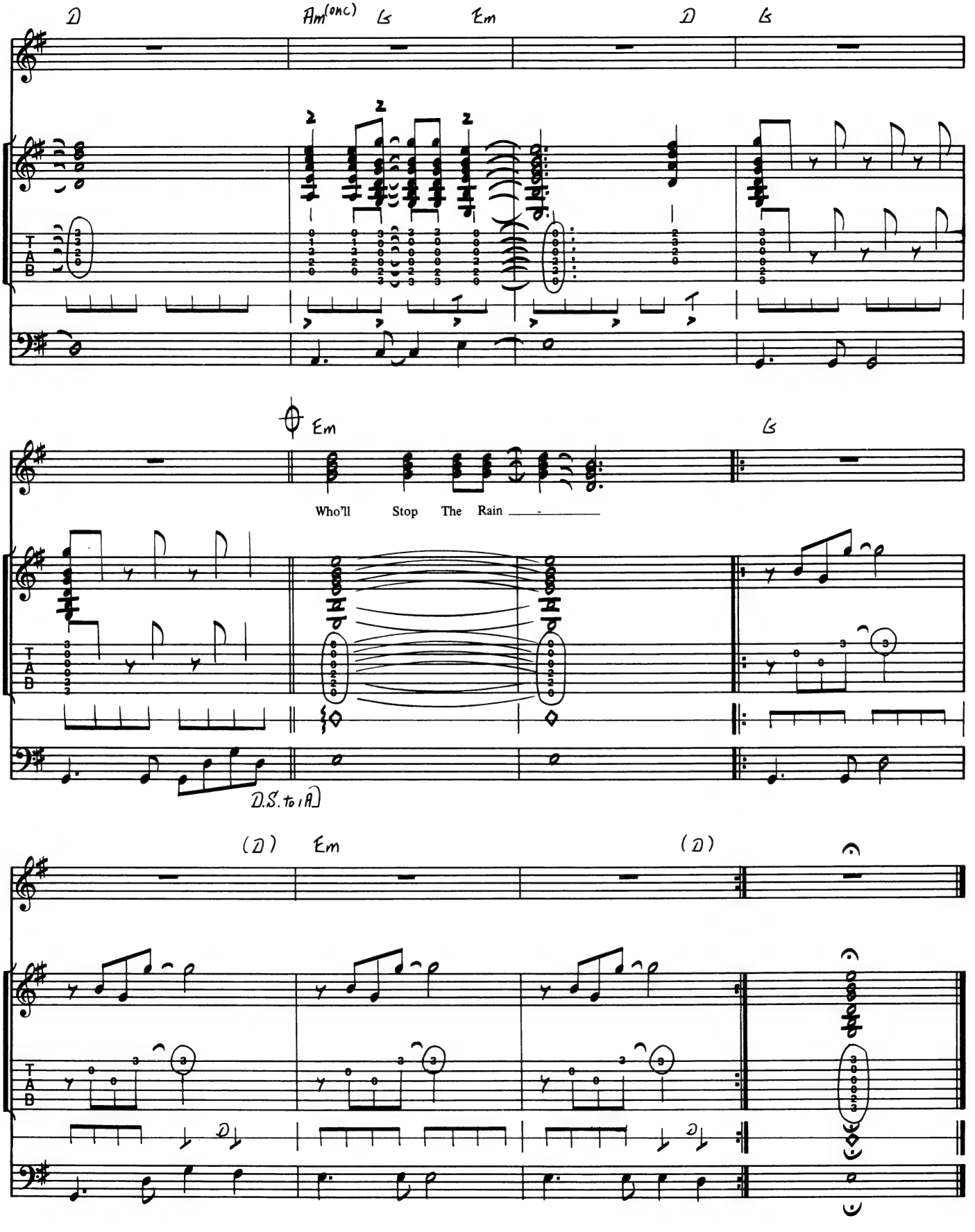




Copyright ©1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHIGN CO., LTD.


8. (D.S. time Straight)
Long as I re - mem - ber The
I went down Vir - gin - ia, Seek - in'
Heard the sing - ers play - in',
rain been com - in' down.
shel - ter from the storm.
How we cheered for more.
Clouds of mys - t'ry pour -
Caught up in the fa -
The crowd had rushed to - geth -
(2x D.S. time)
D.S. time 2x
(1x)
(Bm)
- in', Con - fu - sion on the ground.
- ble, I watched the tow - er grow.
- er, (You) try - in' to keep warm.


Good men through the ag - es,
Five year plans and new deals,
Still the rain kept pour - in'
Tryin' to find the sun,
Wrap - ped in gold - en chains.
Fall - in' on my ears.
1.
2.
3. And I won der,
Still I won der,
1.
2. Who'll Stop The Rain
to Em
1.
2.
T
A
B


D
Am(onc)
G
Em
D
G
Em
G
Who'll Stop The Rain
D.S. to A
(D)
Em
(D)

TRAVELIN' BAND

トラベリン・バンド

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

速いテンポのロックン・ロール・ナンバーであるこの曲は、スピード感たっぷりにノリまくろう。

イントロは、ロックン・ロールによく使われるリフのパターンで、ここではダウン・ピッキングによるカッティングがされている。アクセント記号はリズムに表情をつけるもので、極端なものではなく、また、譜面にこだわることなく、アクセントの表情を自分なりに工夫してみてプレイしても面白いだろう。

Cからのソロは、2Xの方が表情が派手でスピード感があると思われるので、2Xの方を記譜し1Xを省略したので了解されたい。フレーズそのものは難しくないが、テンポが速いので、ノリ遅れないように、スラスラ弾けるようにレッスンすることが必要だろう。

構成がシンプルなので、個々のフレーズに表情やビート感がないと曲全体が平たくなってしまうので、その点に注意してレッスンしよう。

■BASS

C.C.R.としてはめずらしい、12小節ブルース・サイズのロックン・ロール・ナンバーである。

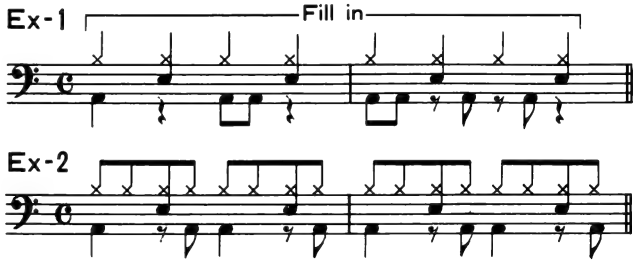
A・Bの各4小節では、1回目は1拍目でブレイク、リピート・タイムではテヌートになっている。

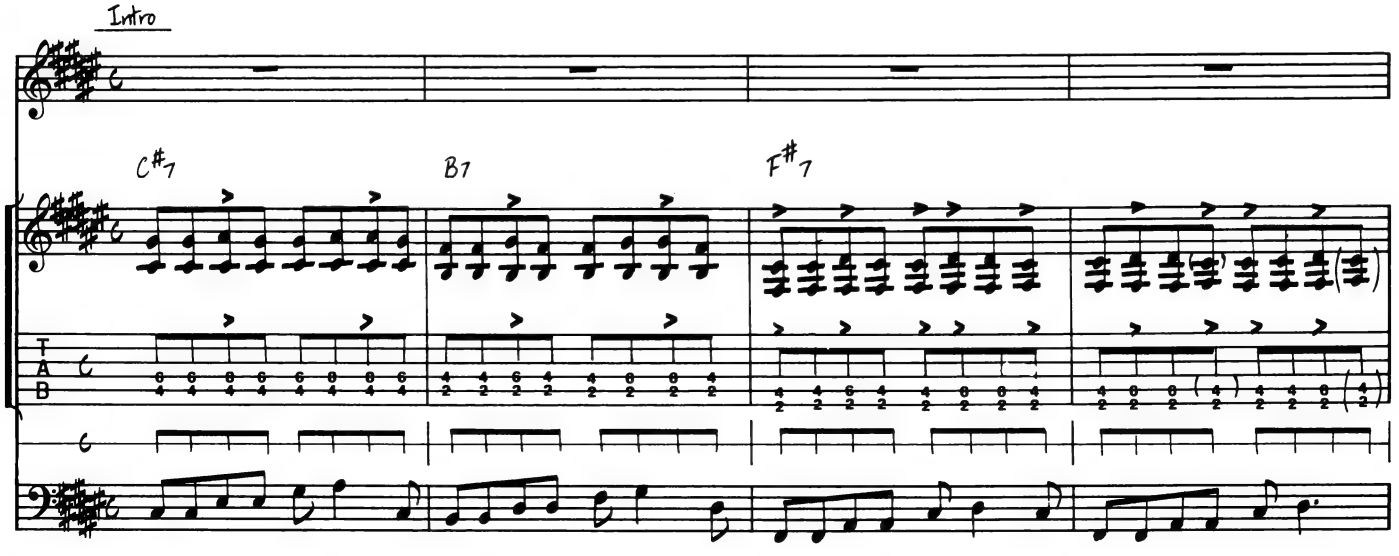
ピッキングであるが、ピックを使用する時は、やはり、オール・ダウン・ピッキングが基本になる。フィンガー・ピッキングの時は、中指・人差し指と交互に使うのが普通である。どうしても、人差し指の方が敏感なので、連続して使ってしまいがちだが、よく注意しよう。

■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

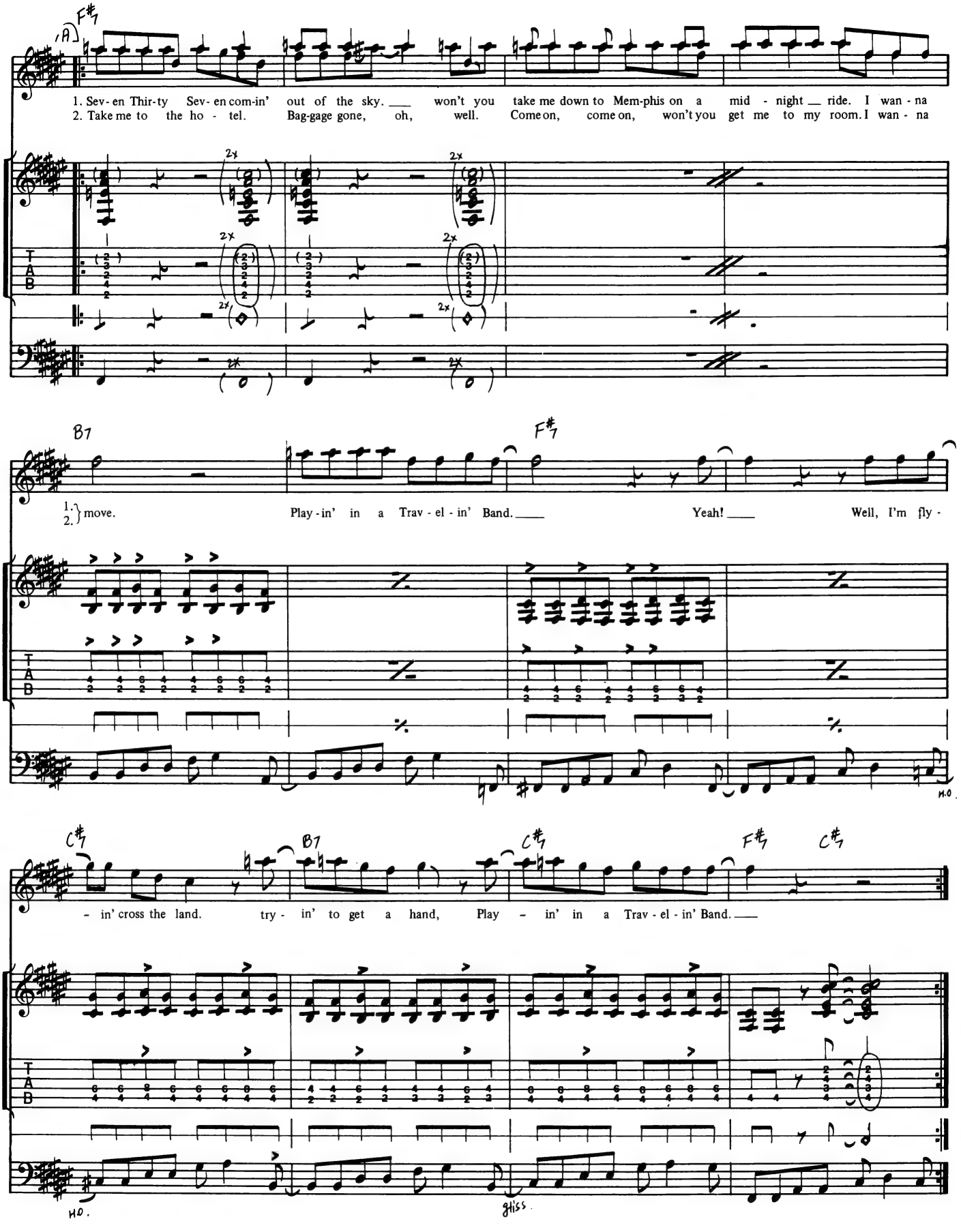
12小節のブルース・パターンである。Ex-1は、各コーラスの頭（4小節）におけるドラム・ソロの基本パターンだが、各自ヴァリエイションを考え、パワフルに盛り上げよう。その後のパターン（Ex-2）からは、ハイハットを開け気味にする。

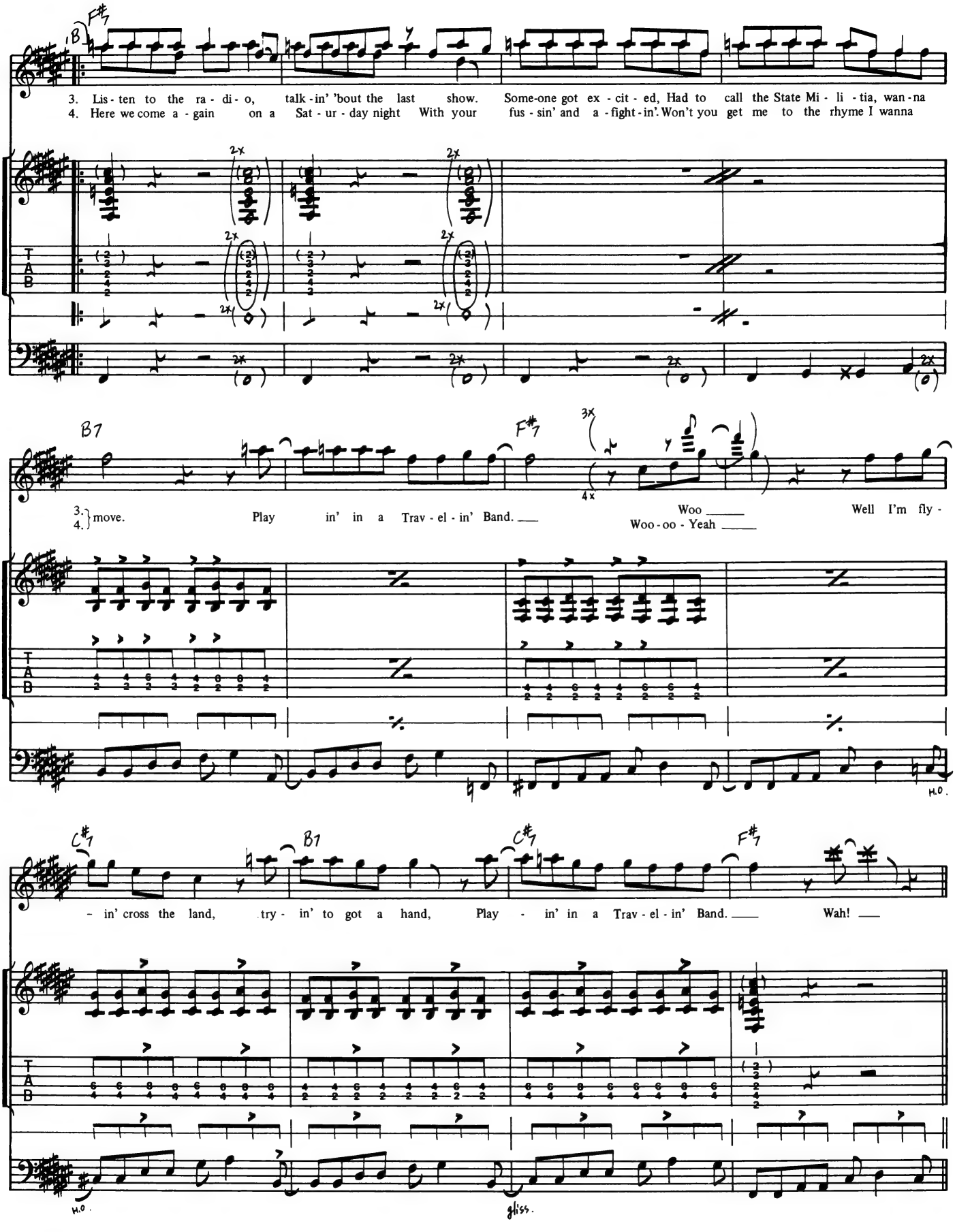
リズム・ギターは、ロックン・ロールのリフである。

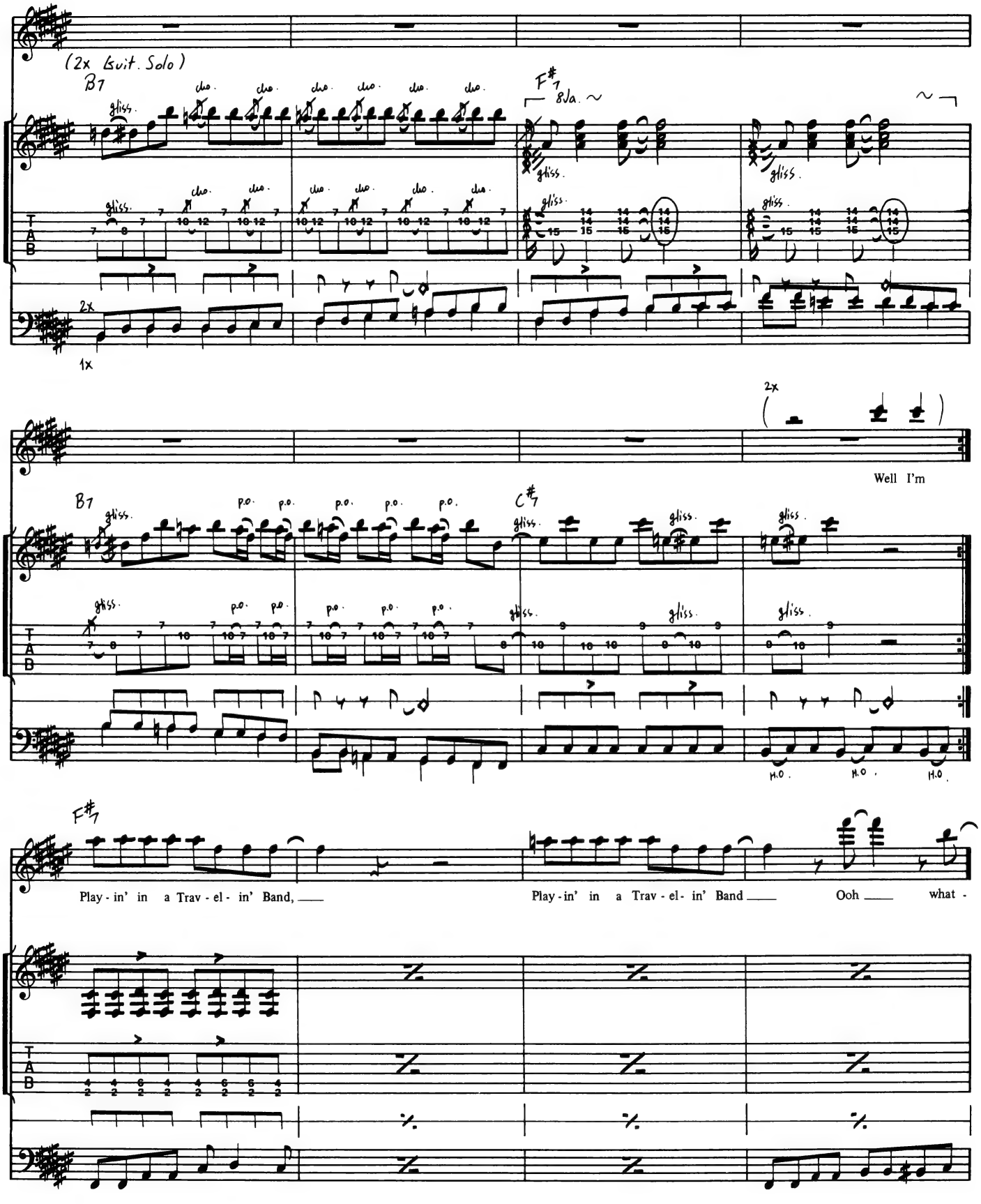


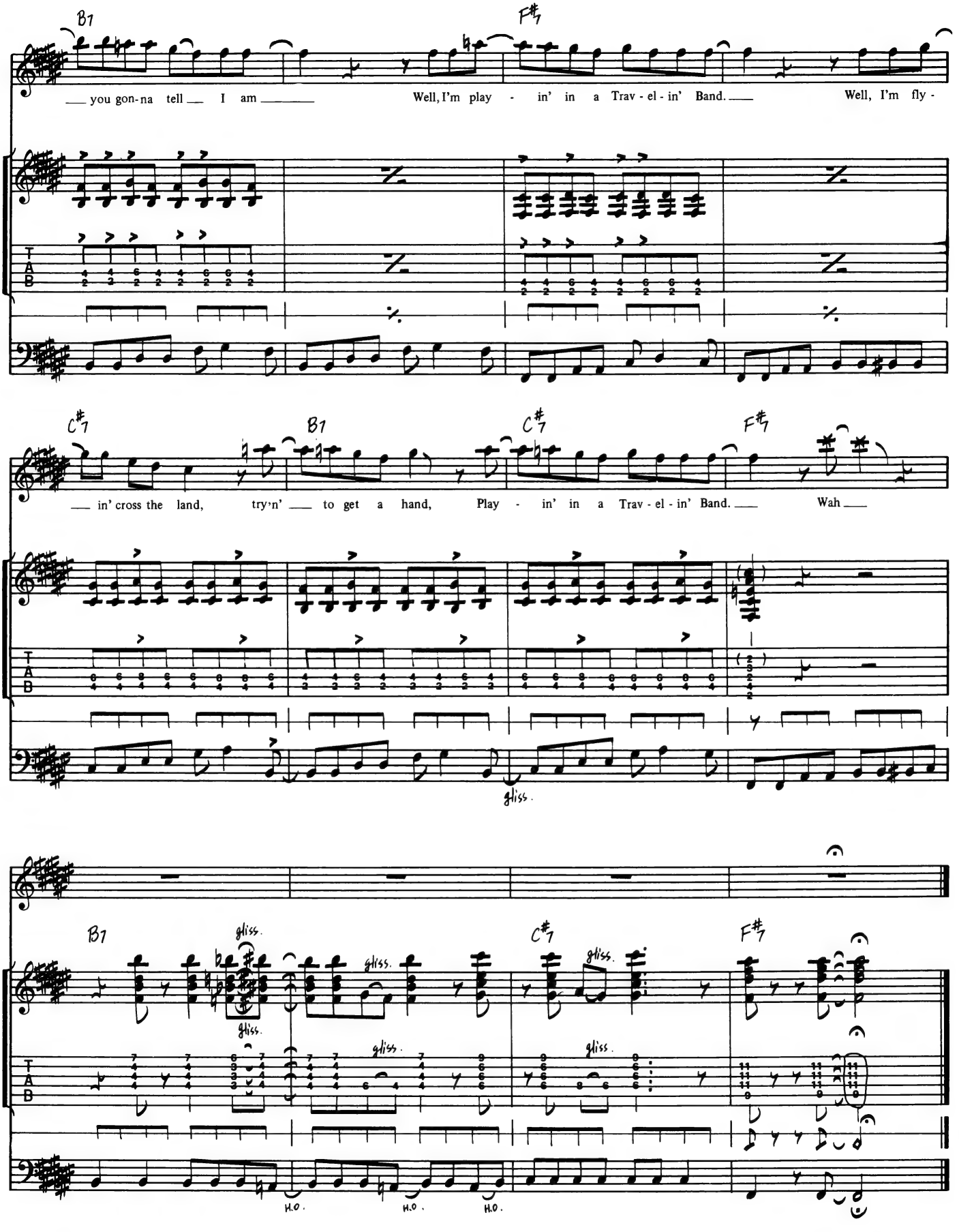


Copyright ©1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.


(A)
F#7
1. Sev- en Thir-ty Sev- en com-in' out of the sky. ___ won't you take me down to Mem-phis on a mid - night ___ ride. I wan - na
2. Take me to the ho - tel. Bag-gage gone, oh, well. Come on, come on, won't you get me to my room. I wan - na
2x
B7
F#7
1.
2.
move.
Play - in' in a Trav - el - in' Band. ___
Yeah! ___
Well, I'm fly -
H.O.
C#7
B7
C#7
F#7
C#7
- in' cross the land.
try - in' to get a hand,
Play - in' in a Trav - el - in' Band. ___
H.O.
gliss.


F#7
3. Lis - ten to the ra - di - o, talk - in' 'bout the last show. Some-one got ex - cit - ed, Had to call the State Mi - li - tia, wan - na
4. Here we come a - gain on a Sat - ur - day night With your fus - sin' and a - fight - in'. Won't you get me to the rhyme I wanna
2x
B7
F#7
3x
4x
3. move. Play in' in a Trav - el - in' Band. Woo
4. Woo - oo - Yeah
Well I'm fly -
H.O.
C#7
B7
C#7
F#7
- in' cross the land, try - in' to got a hand, Play - in' in a Trav - el - in' Band. Wah!
H.O.
gliss.


(2x Guit. Solo)
B7
F#7
8va
2x
1x
2x
Well I'm
B7
C#7
F#7
Play - in' in a Trav - el - in' Band,
Play - in' in a Trav - el - in' Band
Ooh
what -


B7
F#7
you gon-na tell I am
Well, I'm play - in' in a Trav - el - in' Band.
Well, I'm fly -
C#7
B7
C#7
F#7
in' cross the land, try'n' to get a hand, Play - in' in a Trav - el - in' Band.
Wah
gliss.
B7
C#7
F#7
H.O.
H.O.
H.O.
T
A
B

BAD MOON RISING

バッド・ムーン・ライジング

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

2ビートのリズムに乗った軽快な曲である。イントロのギターは歯切れの良いカッティングをするよう心掛けよう。

Aからのバッキングは、2拍目と4拍目にアクセントをおくようにすれば自由にプレイしてよいだろう。3小節目～4小節にわたってフィル・インがある。1X・2X・3Xとそれぞれ変わっているが、それらのフレーズを対比させて弾き分けると面白いのではないだろうか(2X・3Xは省略してあるのだが)。

Cからのソロは、リズミックに、そしてアタッキーにプレイしてほしい。ジョン・フォガティーはこのソロにも見られるように和音を使ったソロが多く、その辺のところが他のロック・ギタリストと一風違った特徴となっているようである。ジョン・フォガティーらしいギターを身につけたい人には、この曲のソロをマスターすることをおすすめしたい。

■BASS

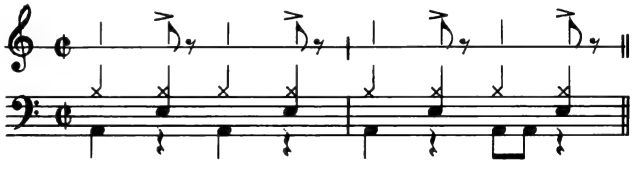
前半では、ほとんどがルート音のみになっているが、後半では、1度→5度のように経過音を含んでいる。このような2ビートの曲の場合、気をつけなければならないのは、音を切る時のタイミングである。

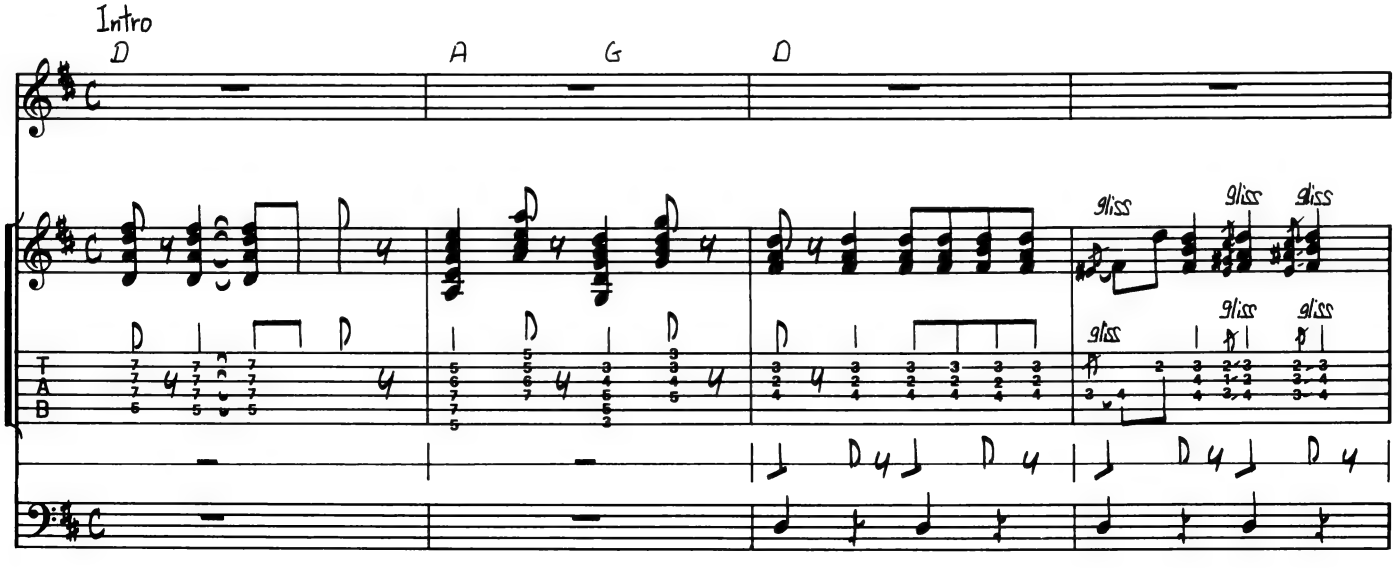
1小節の中に音符が2つしかないので、♩にも♩ㄱとも♩♪ともとれるが、やはり、♩♪という風に、ジャスト1拍を一杯に伸ばして、押弦した指を素早く離すのがベストだ。このタイミングを、メトロノームを使って、スロー・テンポから練習してほしい。

■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

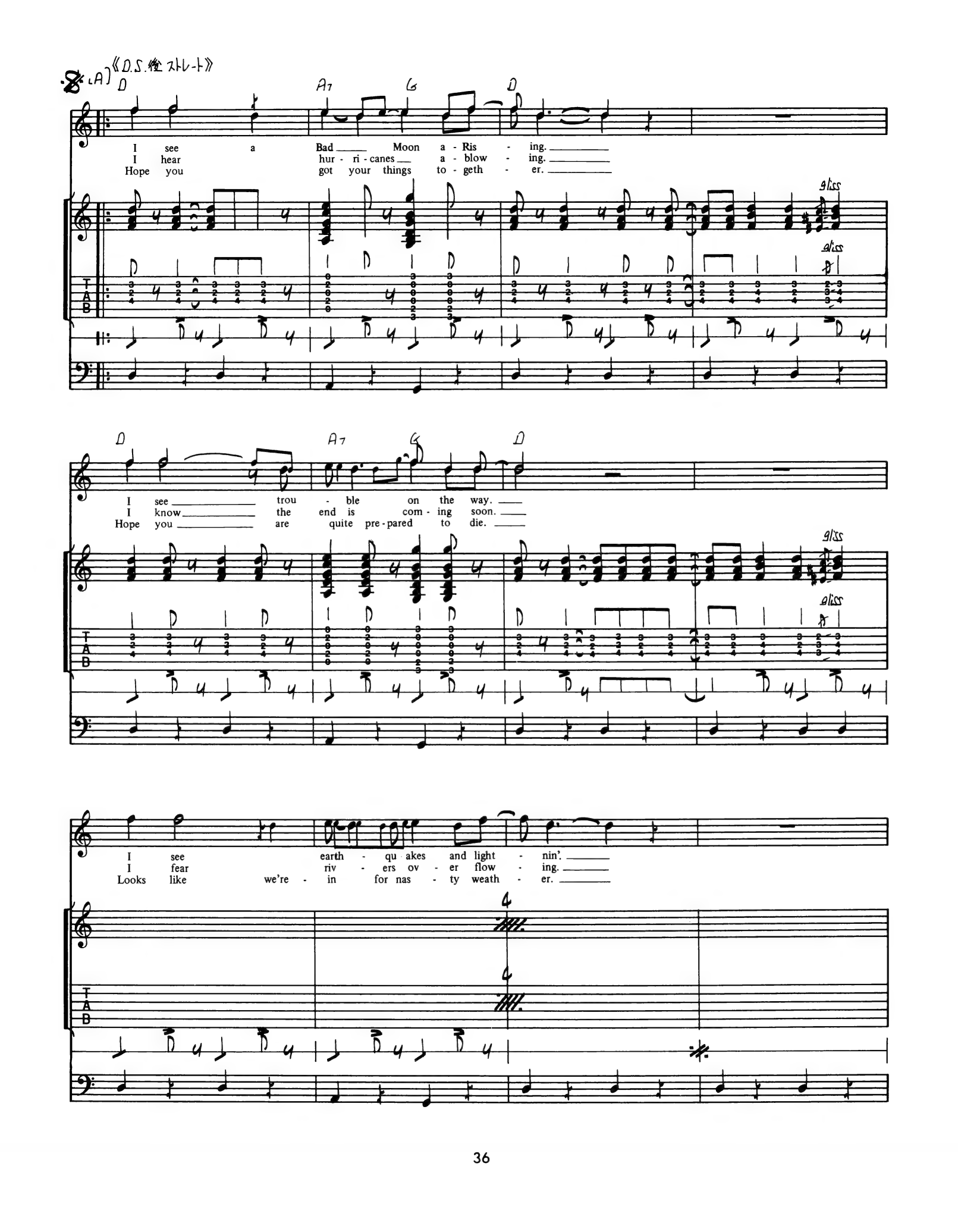
カントリー・ウエスタンを基調とした2ビートで、リズム・ギターは、オール・ダウン・ピッキング(1・3拍がテヌート、2・4拍がスタカート)で、ここでもカントリーの奏法を用いている。

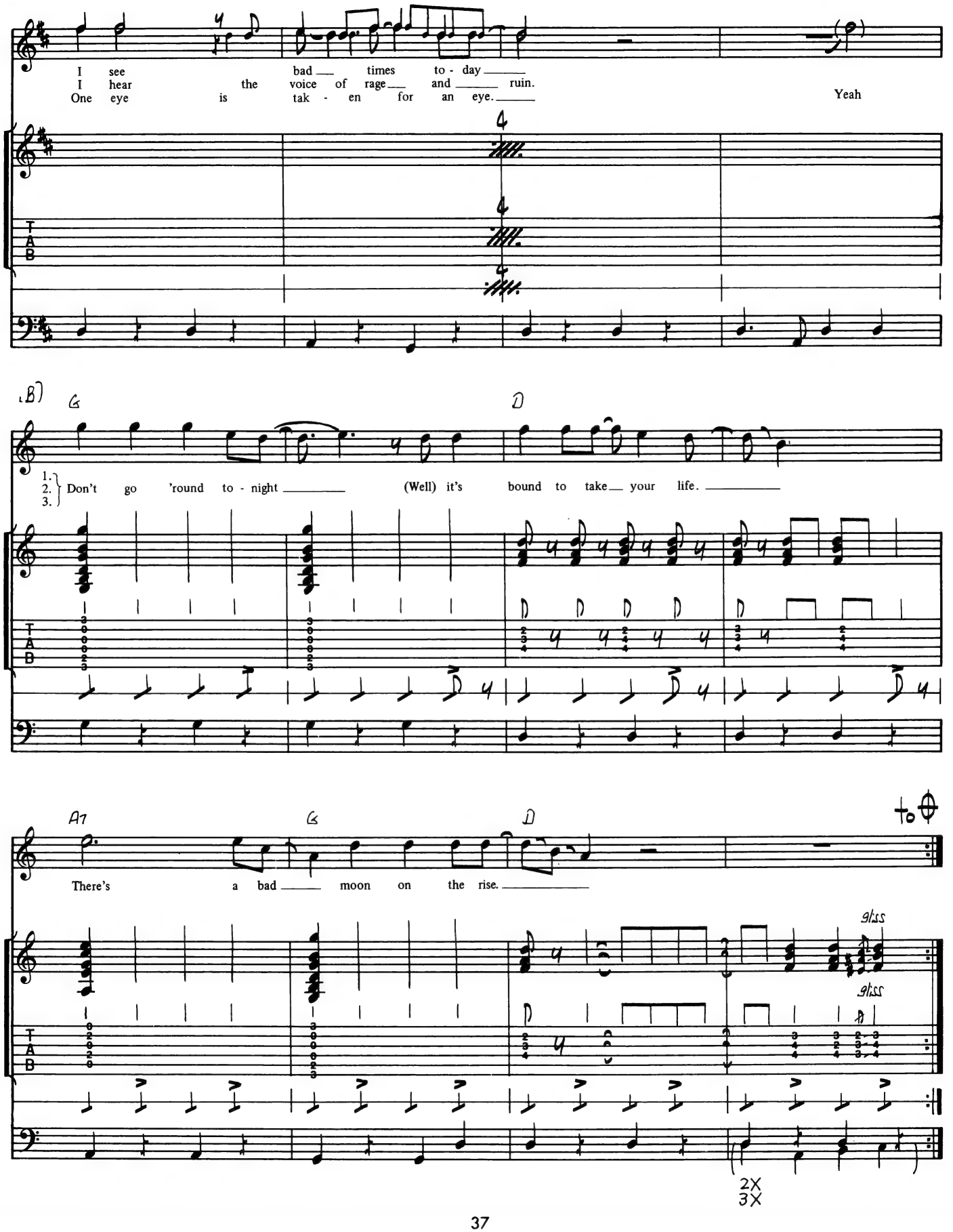
Ex-1

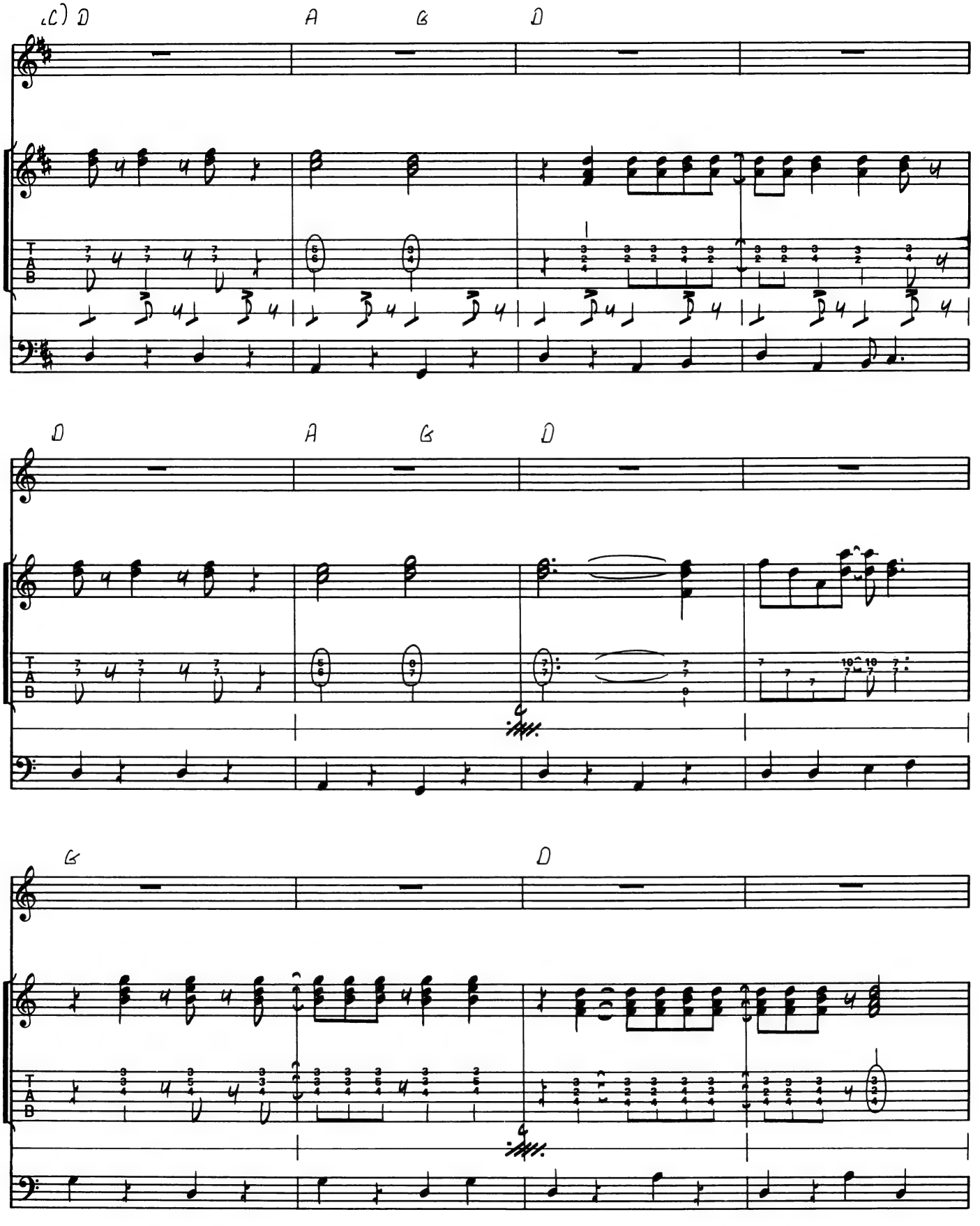


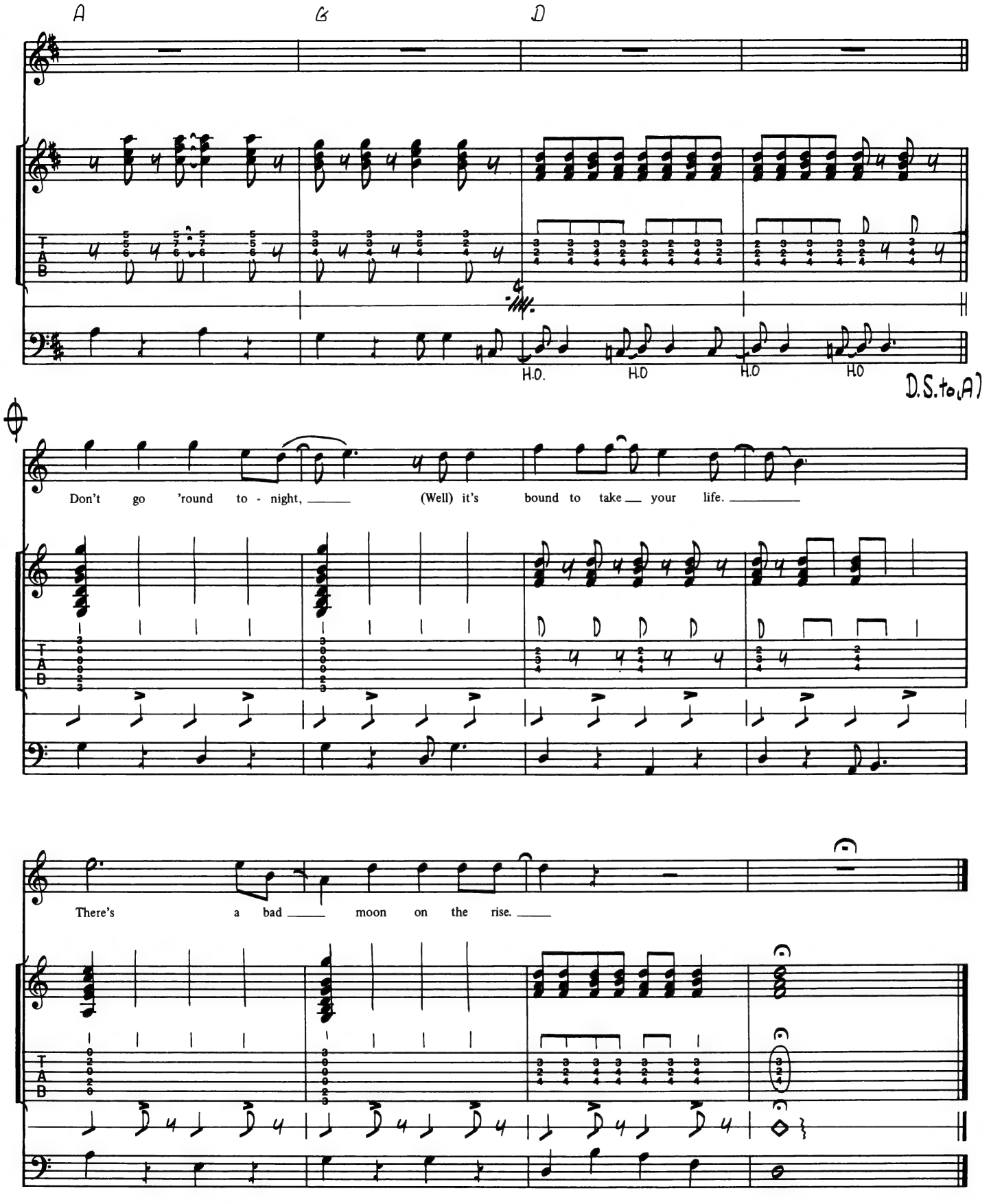


Copyright ©1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.


8 [A] 《D.S.後ストレート》
D A7 G D
I see a Bad Moon a - Ris - ing.
I hear hur - ri - canes a - blow - ing.
Hope you got your things to - geth - er.
gliss
I see trou - ble on the way.
I know the end is com - ing soon.
Hope you are quite pre - pared to die.
I see earth - qu akes and light - nin'.
I fear riv - ers ov - er flow - ing.
Looks like we're - in for nas - ty weath - er.


I see bad times to - day
I hear the voice of rage and ruin.
One eye is tak - en for an eye.
Yeah
(B)
G
D
1.
2.
3.
Don't go 'round to - night
(Well) it's bound to take your life.
A7
G
D
to
There's a bad moon on the rise.
2X
3X


(C) D
A
G
D
D
A
G
D
G
D


A
G
D
H.O.
H.O
H.O
H.O
D.S. to (A)
Don't go 'round to - night, (Well) it's bound to take your life.
There's a bad moon on the rise.

PROUD MARY

プラウド・メアリー

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

軽快な8ビートに乗った名曲である。

イントロのリフは素晴らしく良い出来になっている。弾き方のポイントとしては、コード・チェンジをスムーズに行うことと、シンコペーションの部分を的確な長さに伸ばすこと、そしてロー・コードのカッティングはリズムが不鮮明になりやすいので、歯切れの良いカッティングを行うことなどを注意してほしい。なお、ピッキングはオルタネイトで行い、シンコペーションの部分にアクセントをおくような気持ちでプレイするとよいだろう。

Dのソロの部分は、開放弦の音をきちんとミュートしてプレイしよう。4小節目のフレーズはモタらないようにすること。7～8小節に、ウラ打ちのフレーズに装飾音符がついたものがあるが、あまり意識せずに、的確なリズムにポイントをおく方がよいだろう。

Eの部分の×印をつけた音は、完全に押弦して弾くと大分ニュアンスが変わってしまうので注意が必要だ。

■BASS

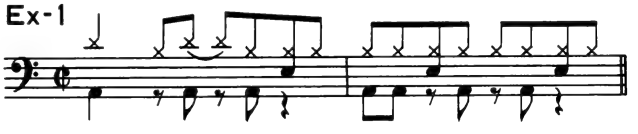
Aで1コードが8小節続き、Bに移る時のシンコペーションでは、1拍・1拍のウラを確実にマスターしよう。それによって1拍の頭を感じさせることが大事である。

Bの4～7小節、Eの4～7小節、また、コーダ内では、ヴォーカルに合わせてシンコペーションしているが、前後の音が途切れてしまわないよう注意してほしい。

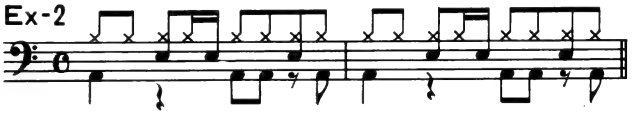
■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

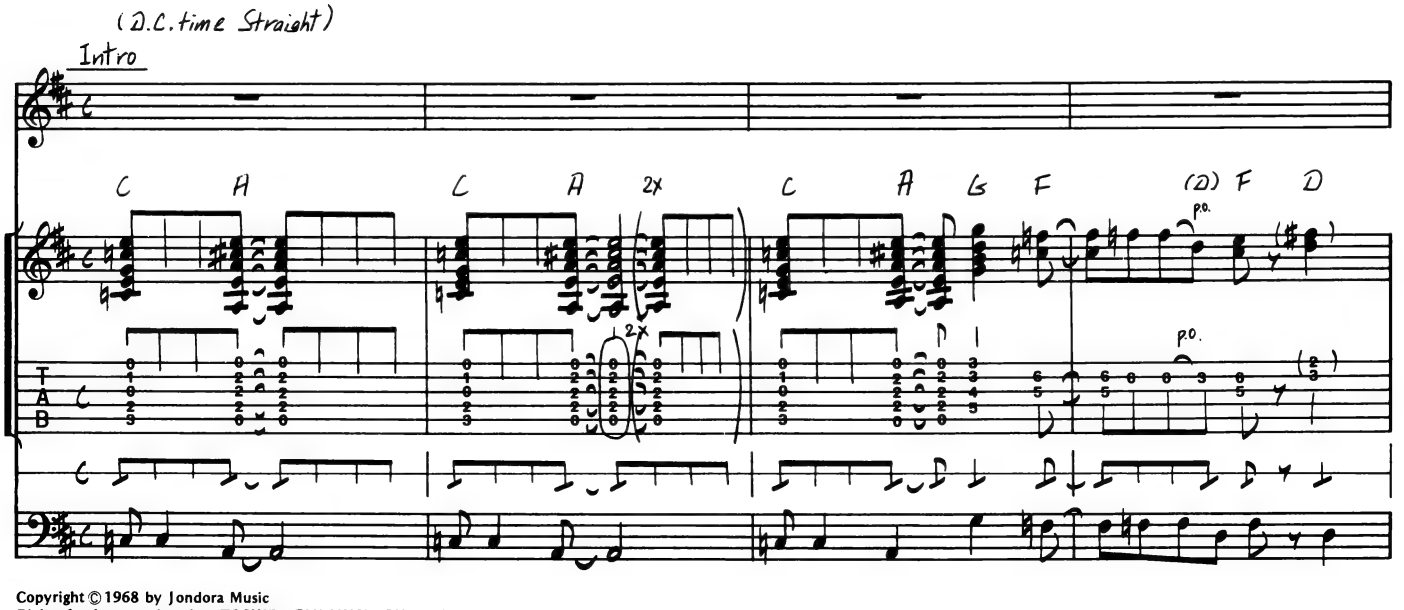
Ex-1はイントロのパターンだが、2拍目のウラから3拍目のシンコペーションは全員ユニゾンである。Ex-2のドラム・パターンの2拍目に装飾音があるが、アフター・ビートは明確に出す。

Ex-1

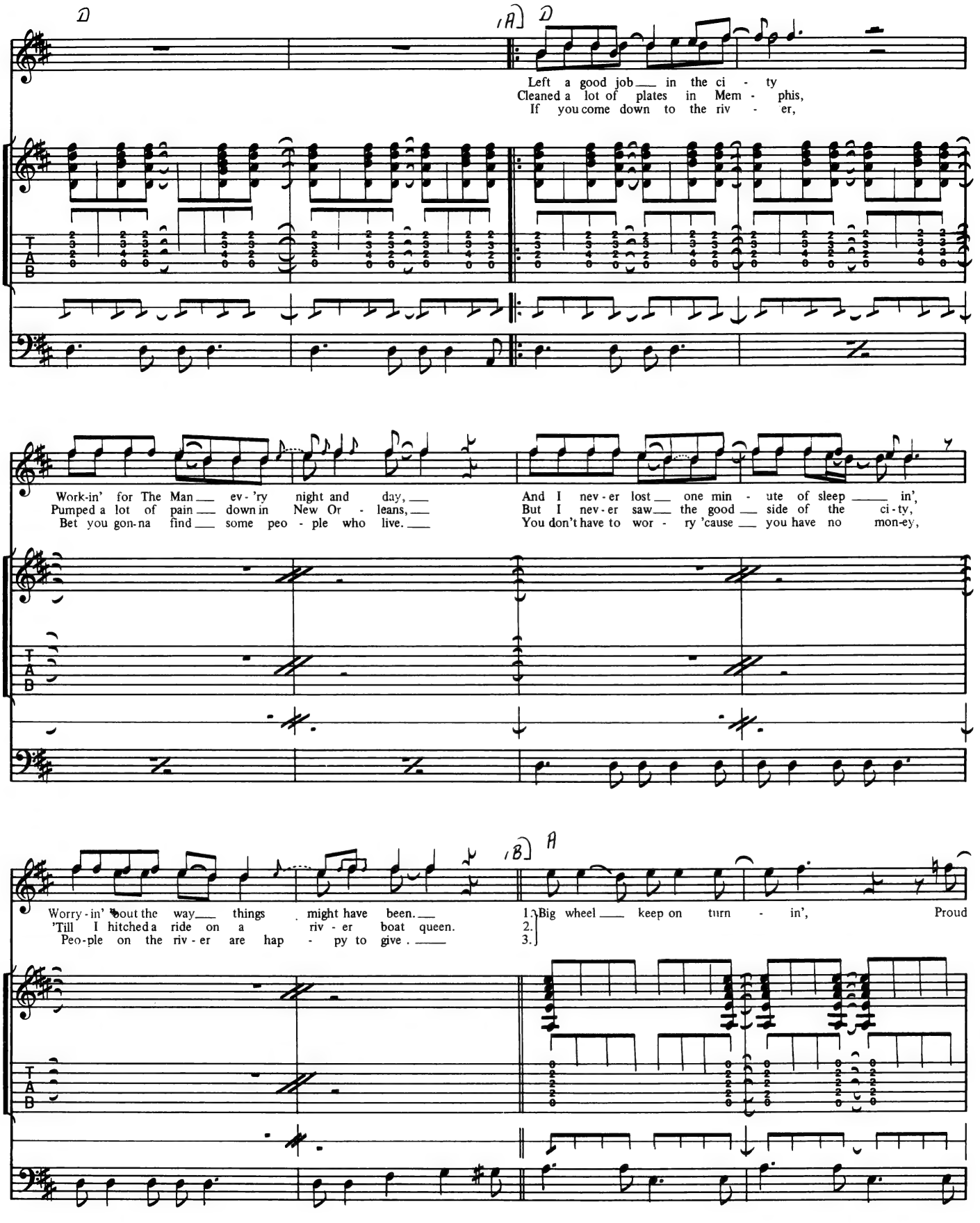


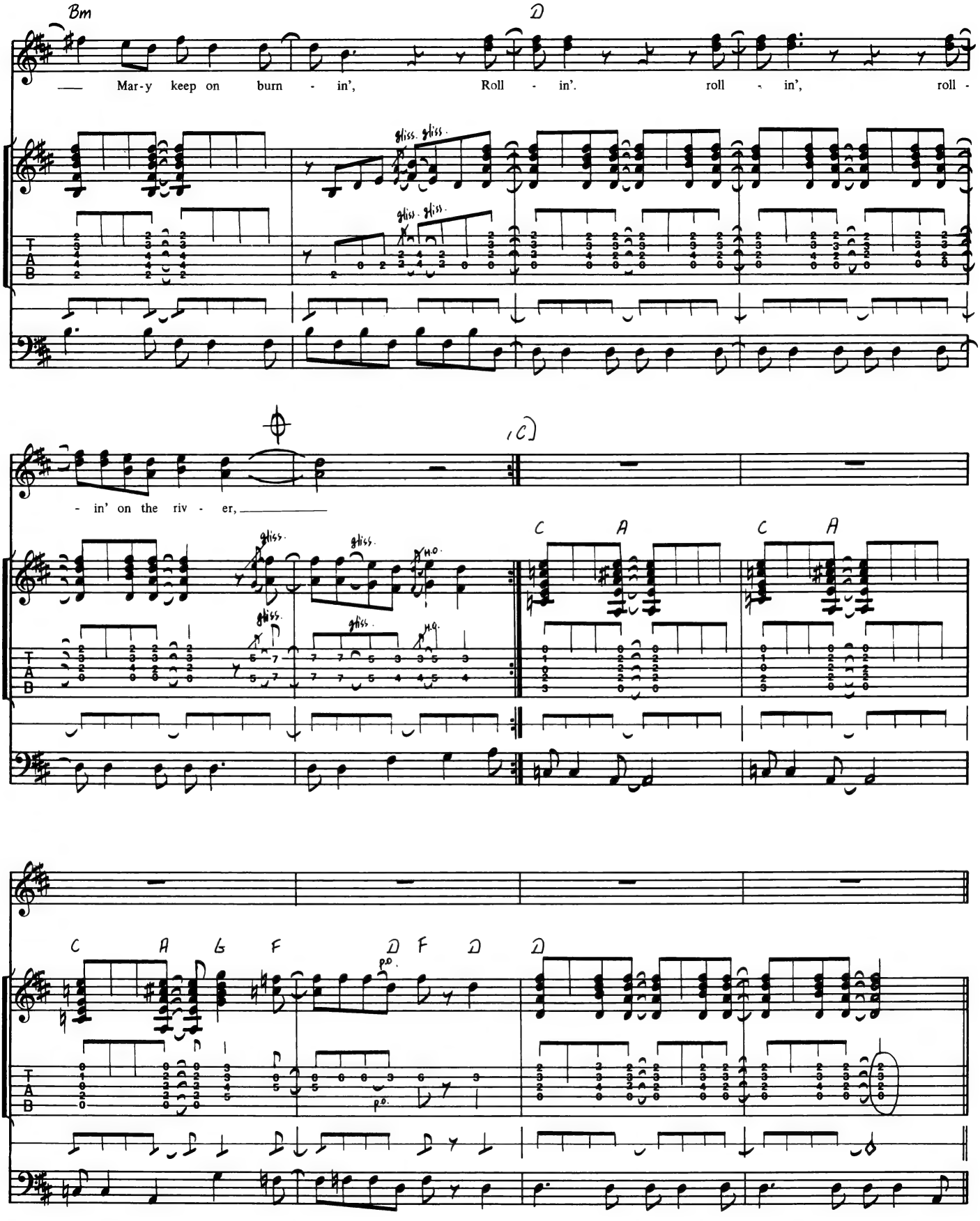
Ex-2

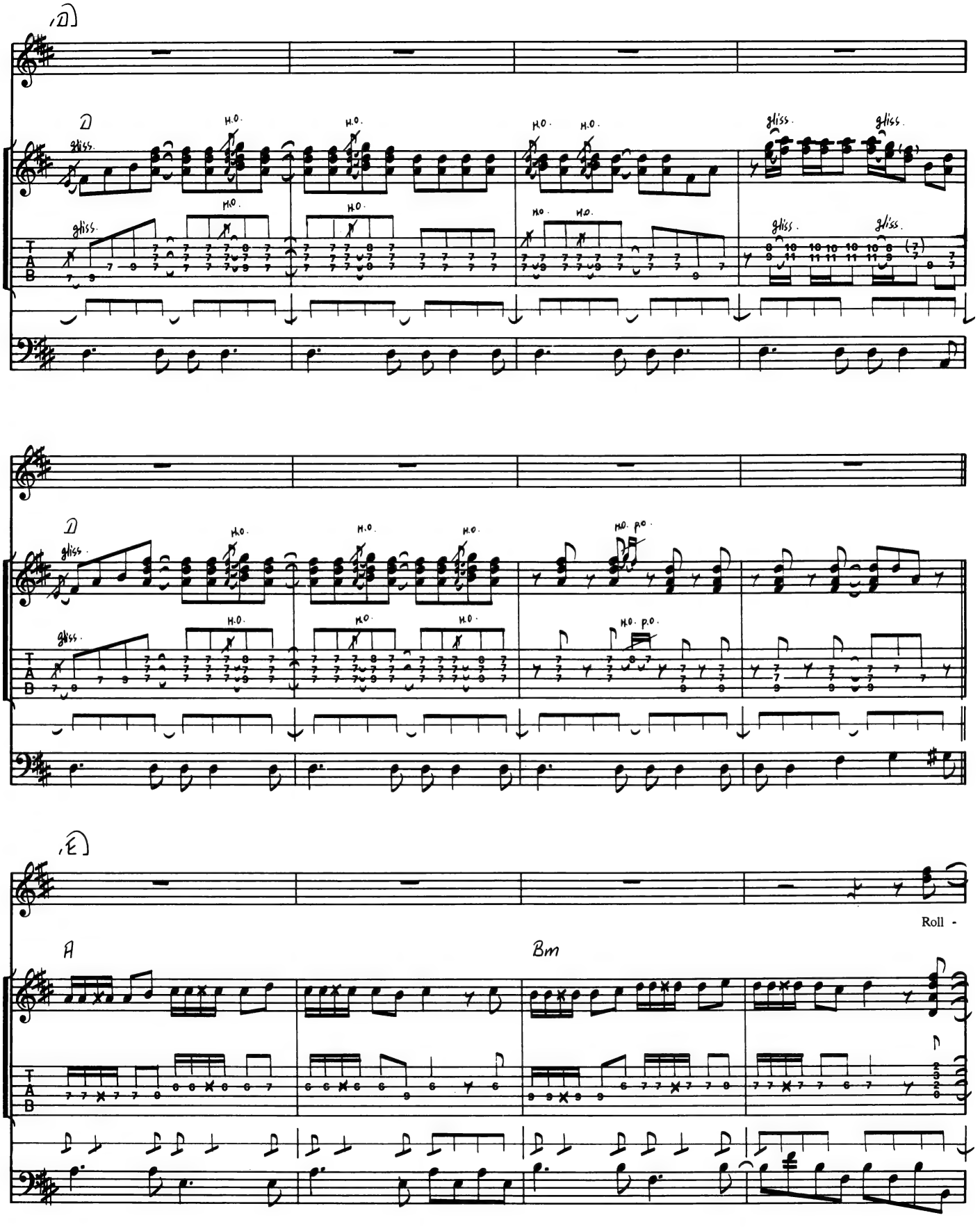


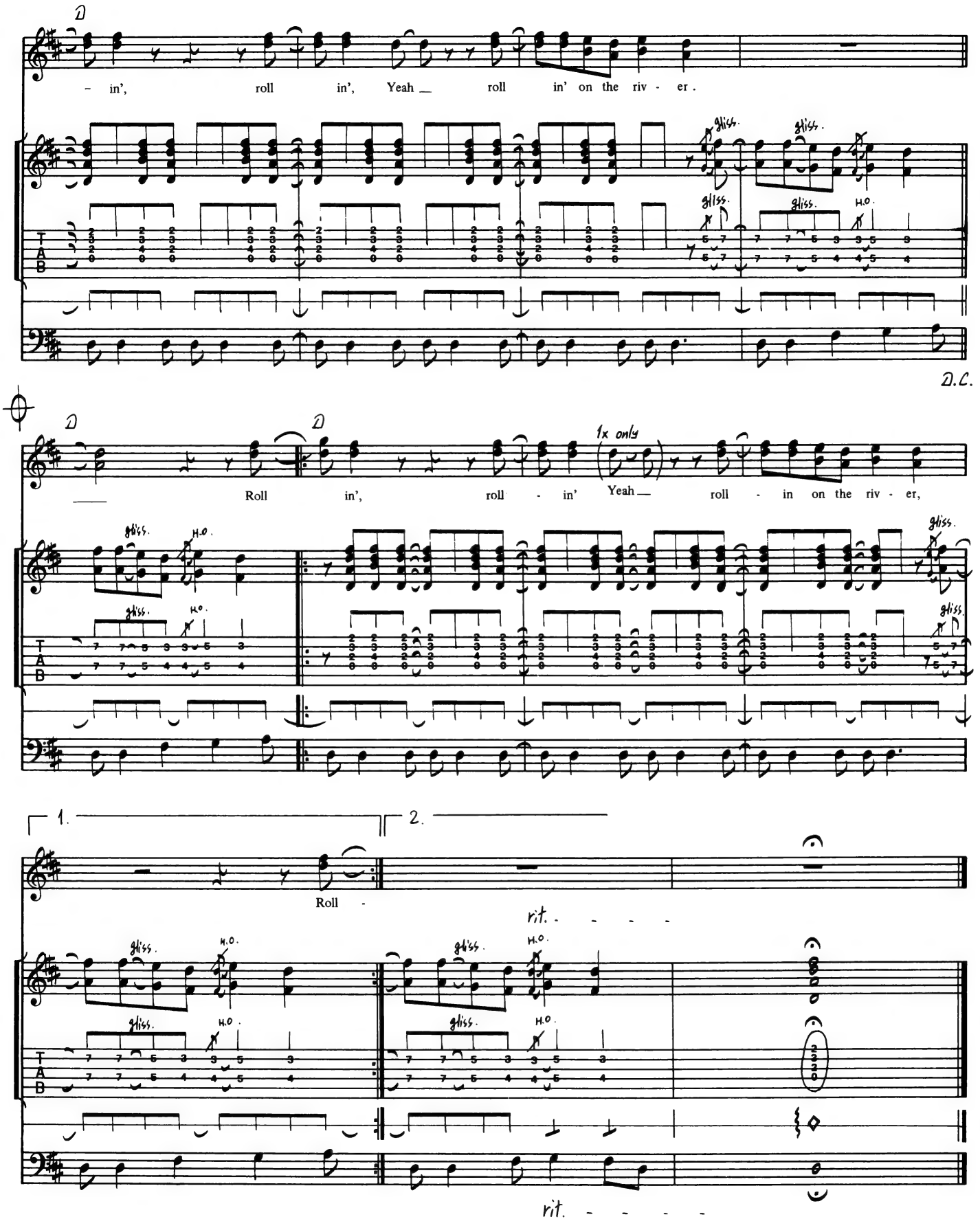


Copyright © 1968 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.


D
(A) D
Left a good job in the ci - ty
Cleaned a lot of plates in Mem - phis,
If you come down to the riv - er,
Work-in' for The Man ev - 'ry night and day,
Pumped a lot of pain down in New Or - leans,
Bet you gon-na find some peo - ple who live.
And I nev - er lost one min - ute of sleep in',
But I nev - er saw the good side of the ci - ty,
You don't have to wor - ry 'cause you have no mon-ey,
(B) A
Worry - in' 'bout the way things might have been.
'Till I hitched a ride on a riv - er boat queen.
Peo-ple on the riv - er are hap - py to give.
1. Big wheel keep on turn - in', Proud
2.
3.
T
A
B


Bm
D
Mar-y keep on burn - in', Roll - in'. roll - in', roll -
gliss. gliss.
gliss. gliss.
(C)
- in' on the riv - er,
C A C A
gliss.
gliss.
H.O.
gliss.
gliss.
H.Q.
C A G F D F D D
P.O.
P.O.
T
A
B


D
gliss.
H.O.
P.O.
T
A
B
E
A
Bm
Roll -


D
– in', roll in', Yeah __ roll in' on the riv - er.
gliss.
H.O.
D.C.
D
D
1x only
Roll in', roll - in' Yeah __ roll - in on the riv - er,
1.
2.
Roll -
rit. - - - -
rit. - - - -

COMMOTION

コモーション

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

速いテンポの2ビートに乗った軽快なこの曲は、リズミックにプレイしよう。

イントロのギター・ソロは、スピード感とシャープなフレージングを行うよう注意したい。13小節目にオクターブ奏法が出てくるが、これは、ピックと中指、あるいは薬指のどちらかでつまんで弾いていると思われる。この部分はスムーズに弾くことが大切で、後のコード・カッティング（2音だけだが）にムラなくつながないと、スピード感がそこなわれるので、十分レッスンしてほしい。

Ⓓの部分のリフは、譜面上で記してある音のオクターブ下の音で、本来6弦の開放弦はEの音だが、これを1音下げてDの音にチューニングを変えてプレイしているので、参考にしてほしい。Ⓔの部分はイントロと同じような点に注意しよう。

■BASS

カントリー・ウエスタンを基調にした2ビートで、ベースは2小節のパターンから成っている。

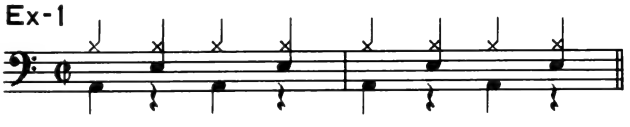
Ⓐ・Ⓑでは、上段が最初のパターンとダル・セーニョ時のパターンで、下段は最初のリピートの時のパターンとなっている。この下段の最初の付点音符は、完全に3拍伸ばしてしまうのでなく、また、切ってしまうのでもなく、つまり、切りすぎず、伸ばしすぎずといった、2ビートの感覚をマスターしてほしい。

テンポが速いので、荒くなりがちだが、スロー・テンポから、メトロノームなどで練習していってほしい。

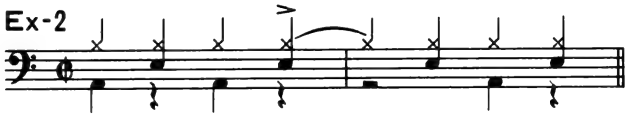
■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

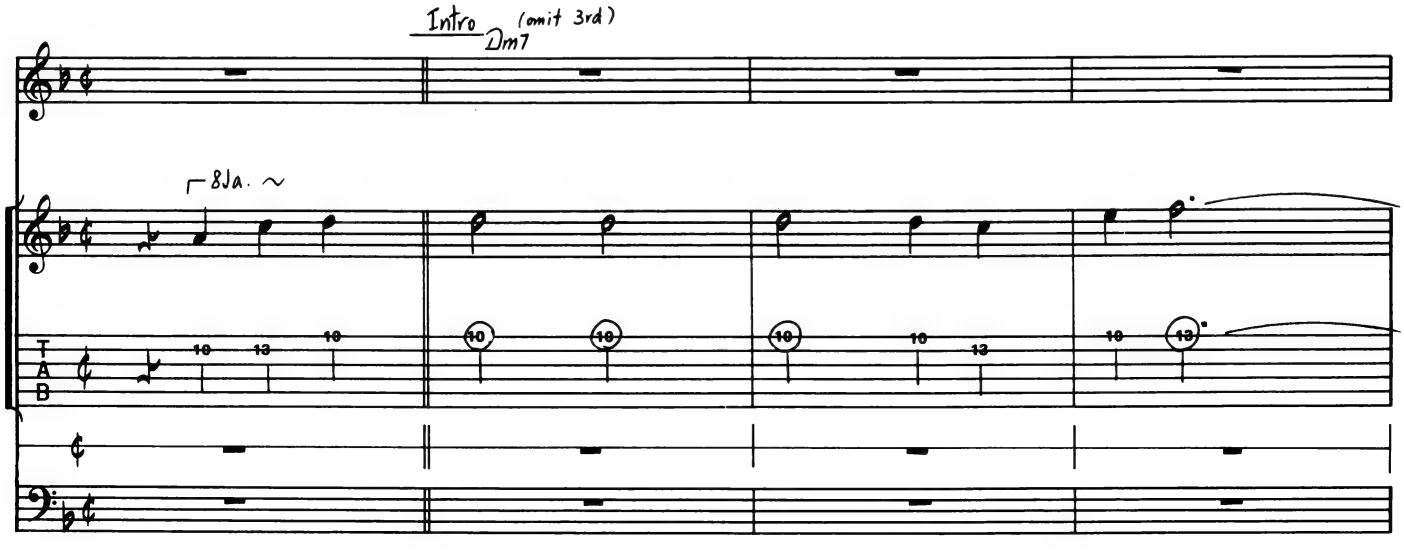
完全な2ビートで、いわゆる、ブン・チャ・ブン・チャの形式である(Ex-1)。Ex-2は、コーダのリピート内のあおりであるが、シンバルのアクセントは、はっきりと、できるかぎり派手にした方がよいだろう。

Ex-1

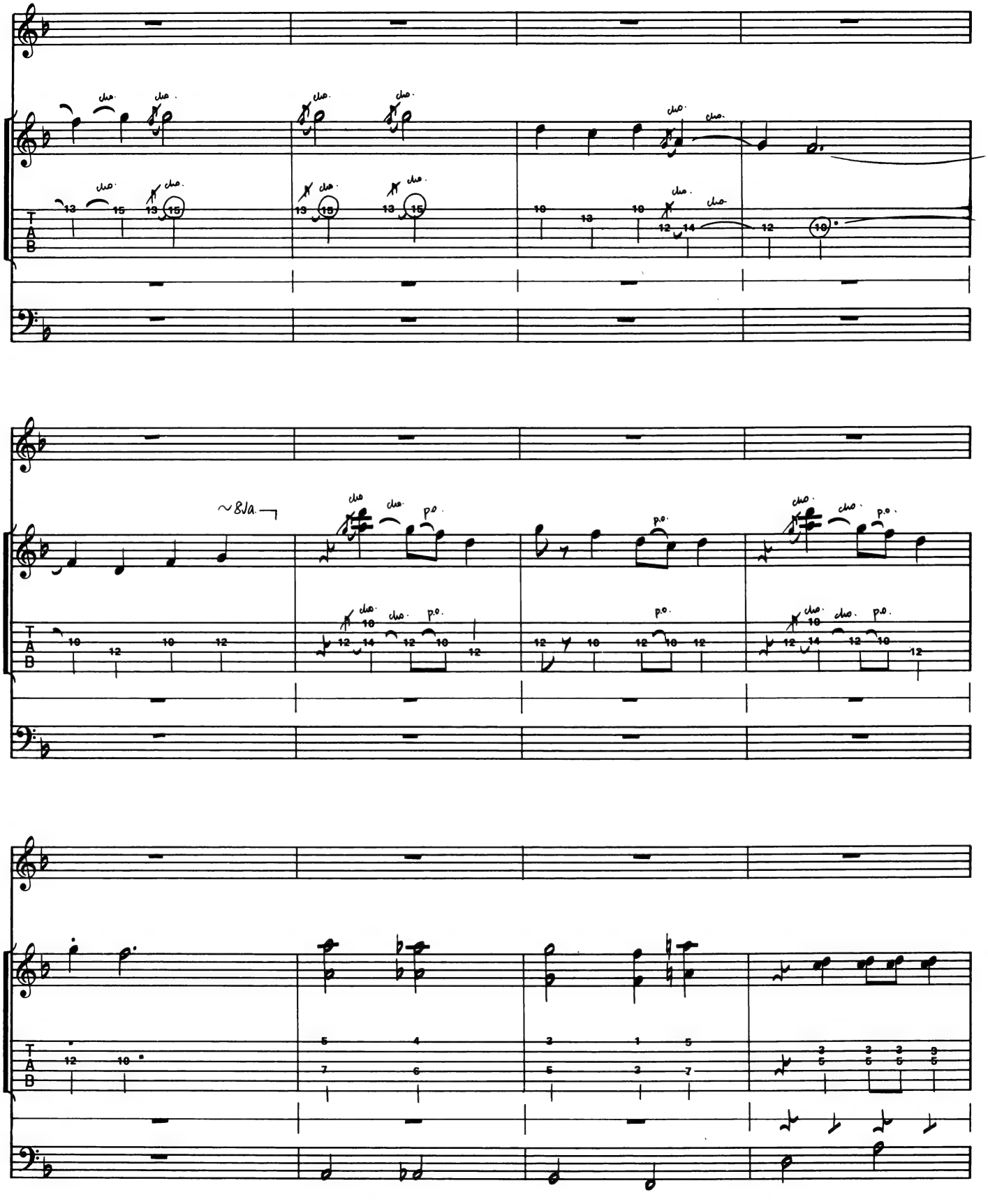


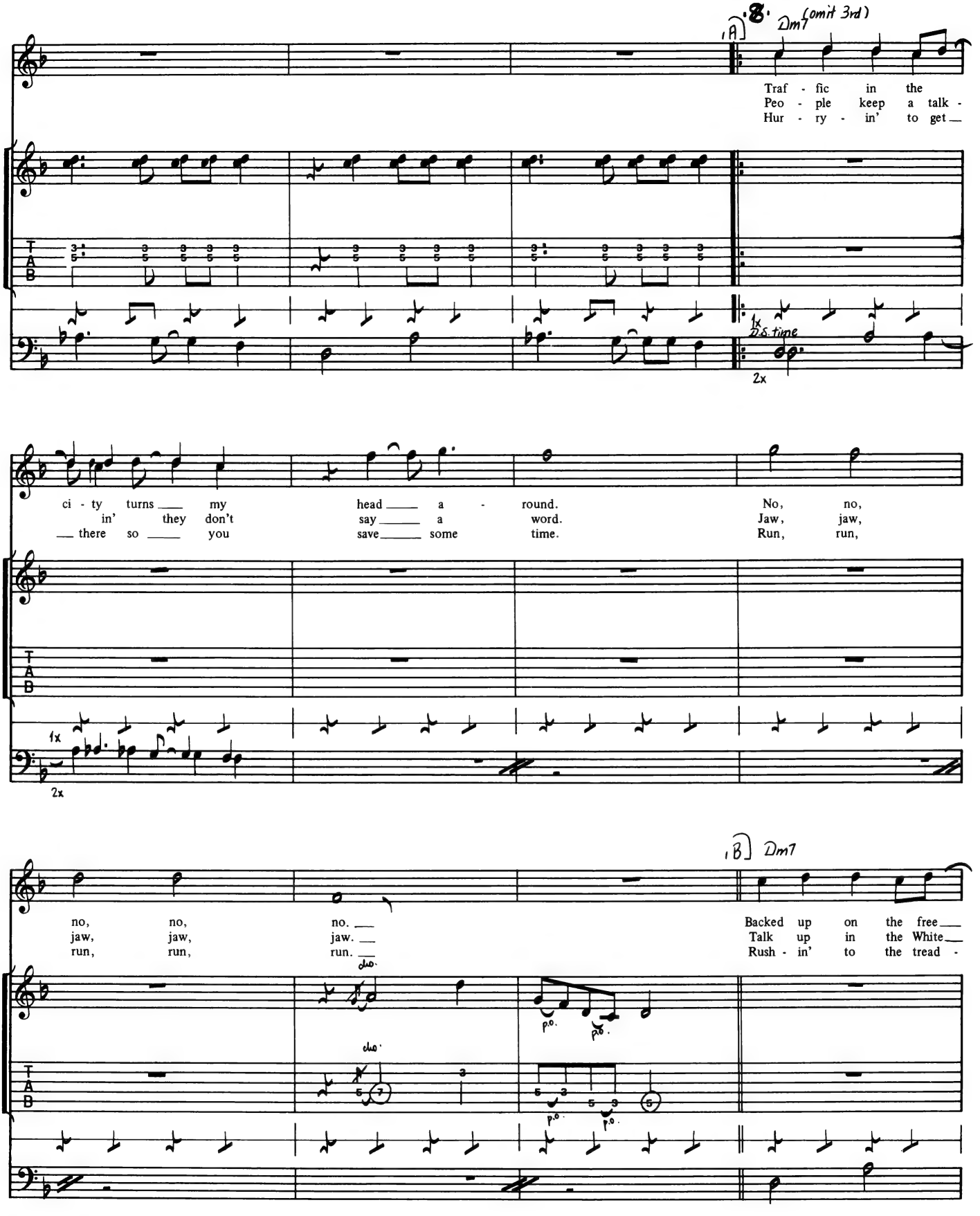
Ex-2

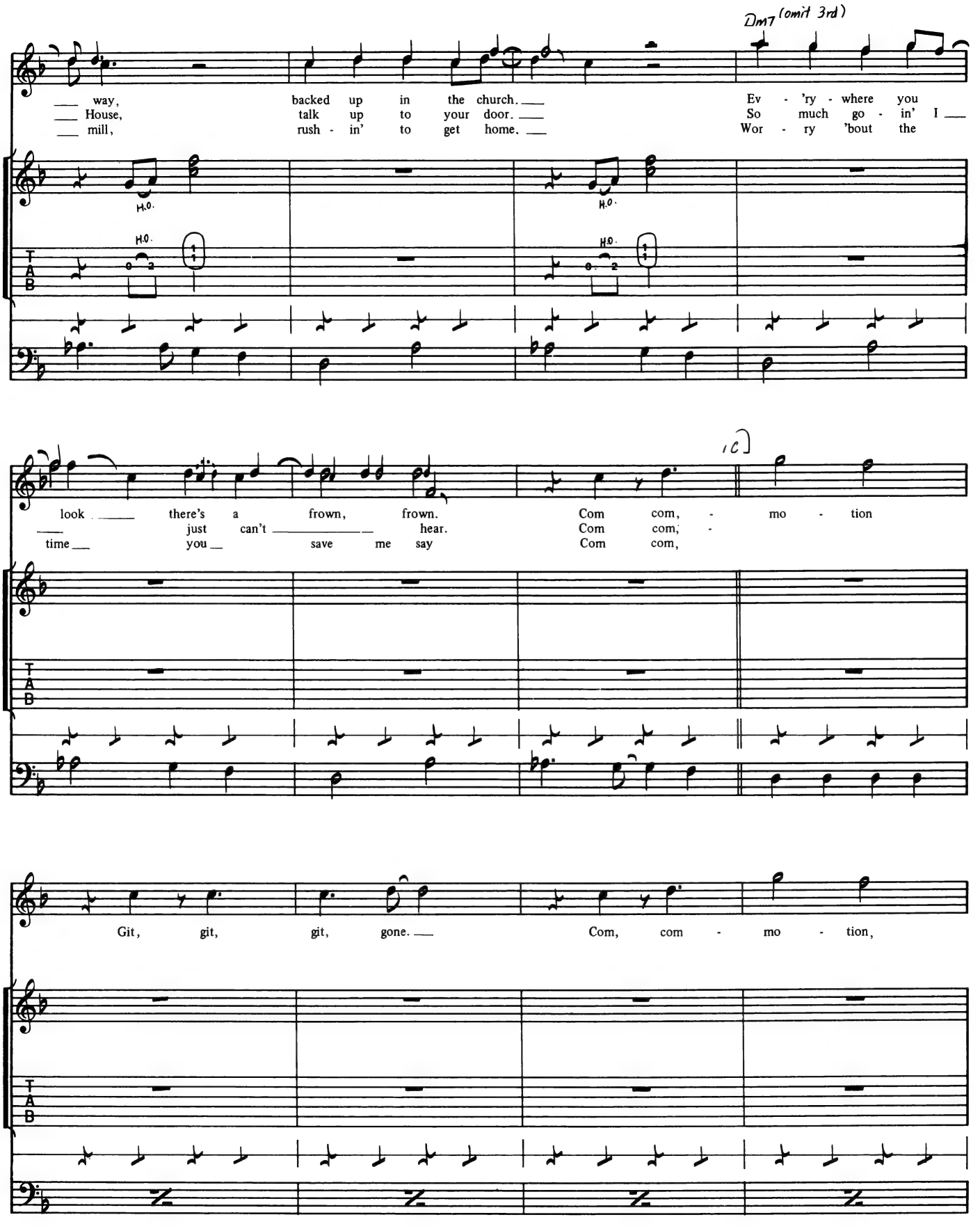


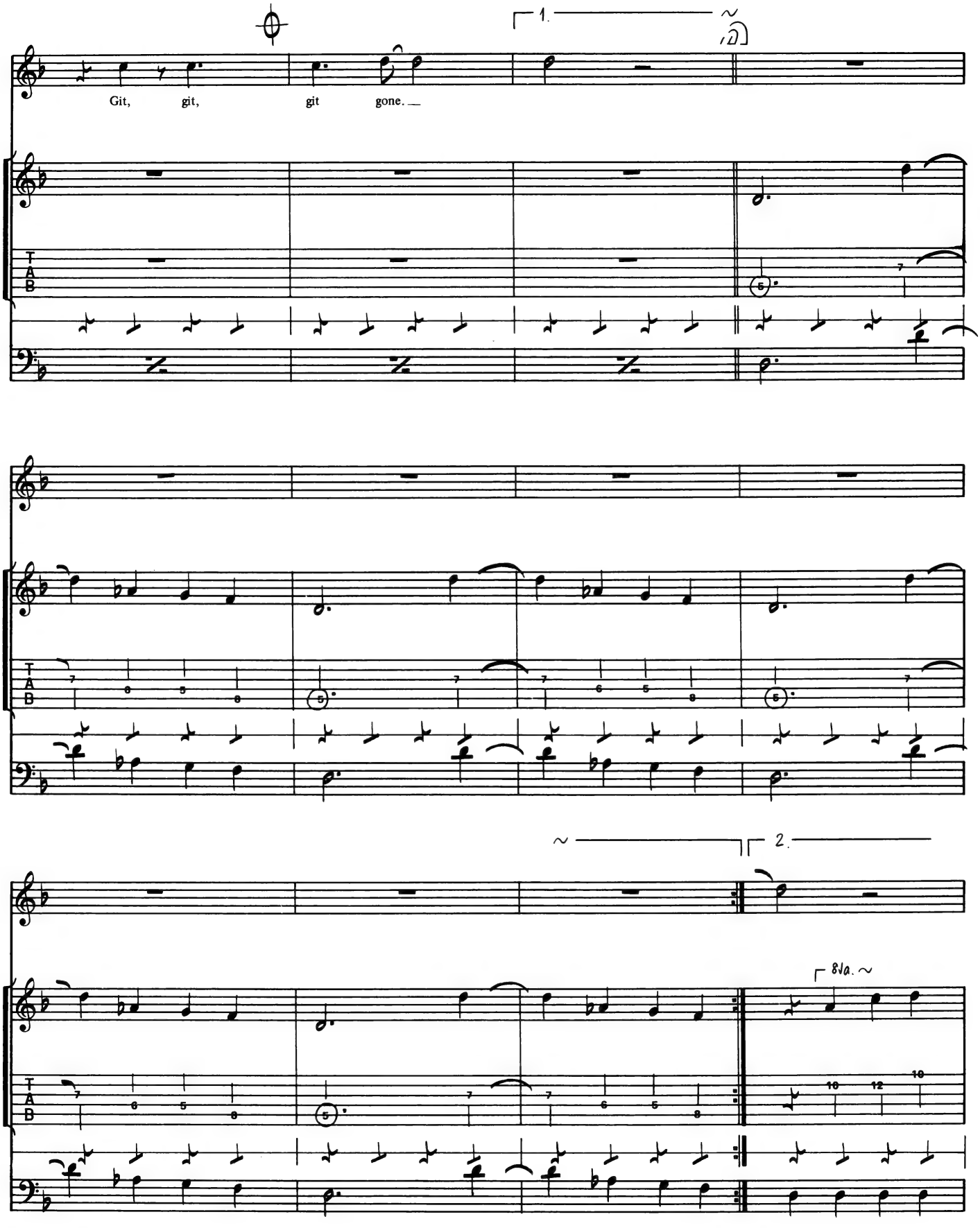


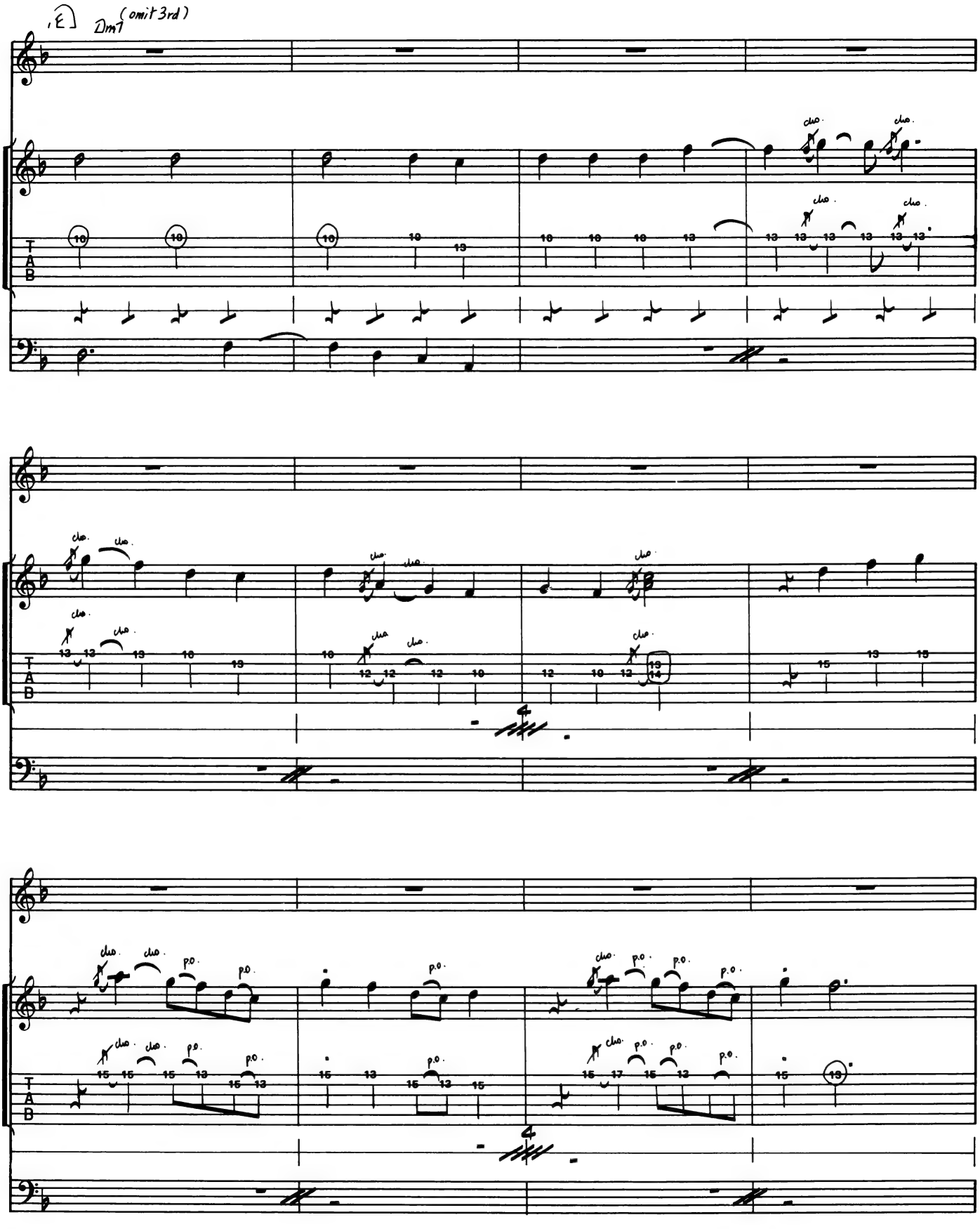
Copyright © 1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHIGN CO., LTD.

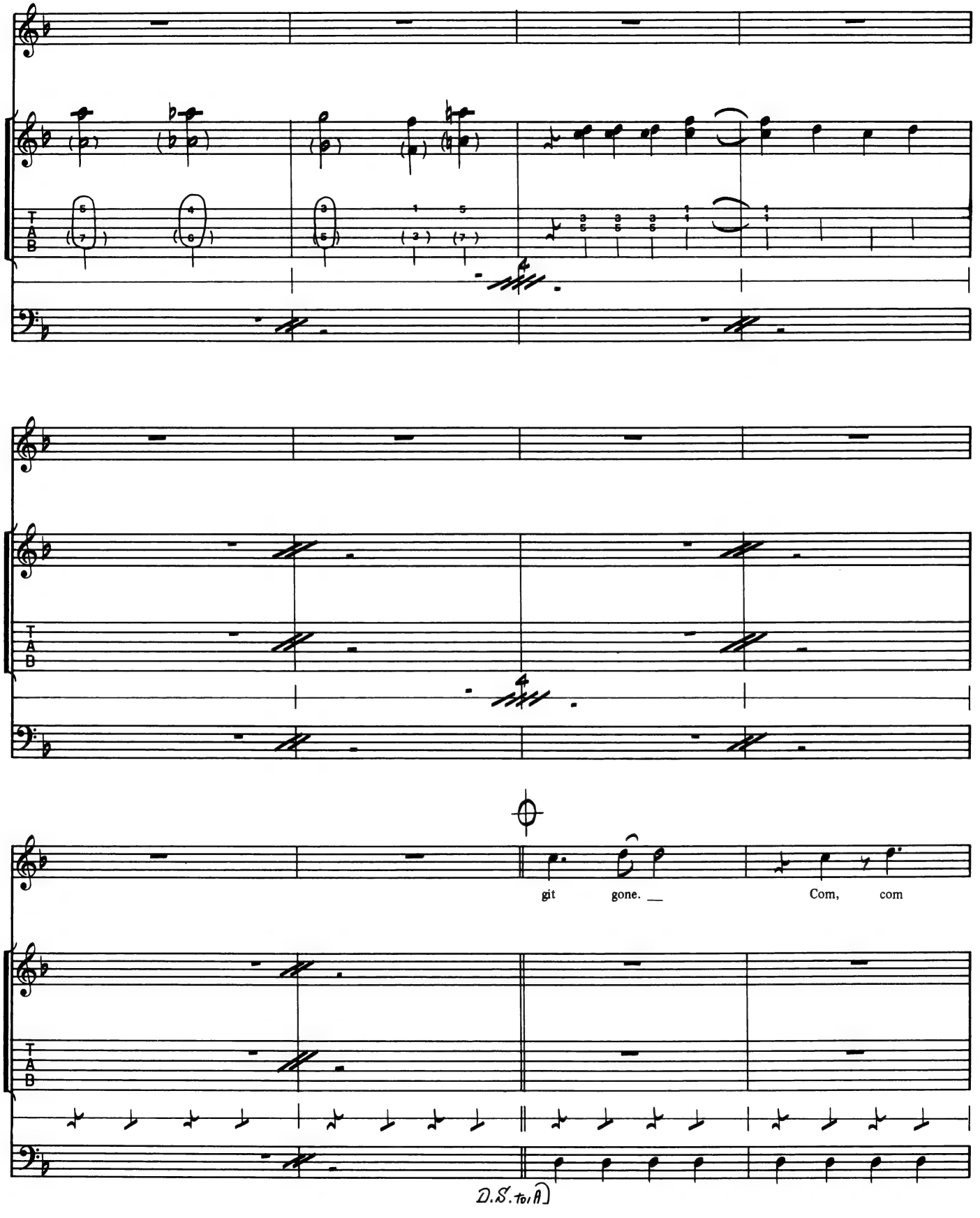

~8va
p.o.

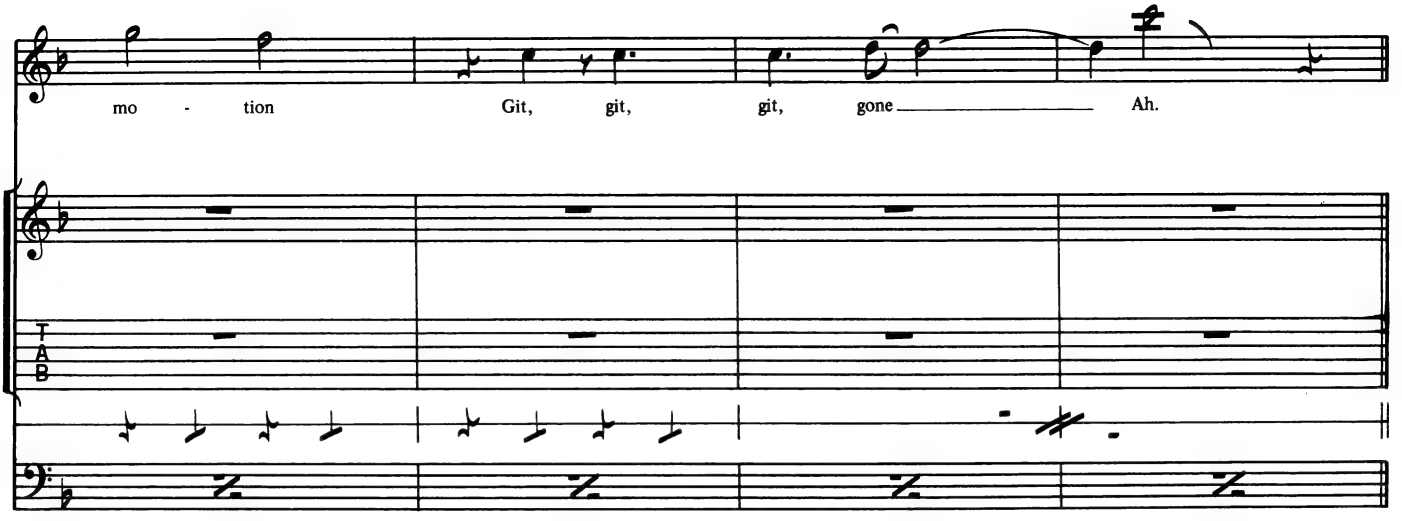

[A]
Dm7 (omit 3rd)
Traf - fic in the
Peo - ple keep a talk -
Hur - ry - in' to get
1x
D.S. time
2x
ci - ty turns my
in' they don't
there so you
head a - round.
say a word.
save some time.
No, no,
Jaw, jaw,
Run, run,
1x
2x
[B]
Dm7
no, no, no.
jaw, jaw, jaw.
run, run, run.
Backed up on the free
Talk up in the White
Rush - in' to the tread -
duo.
duo.
p.o.
p.o.
p.o.
p.o.

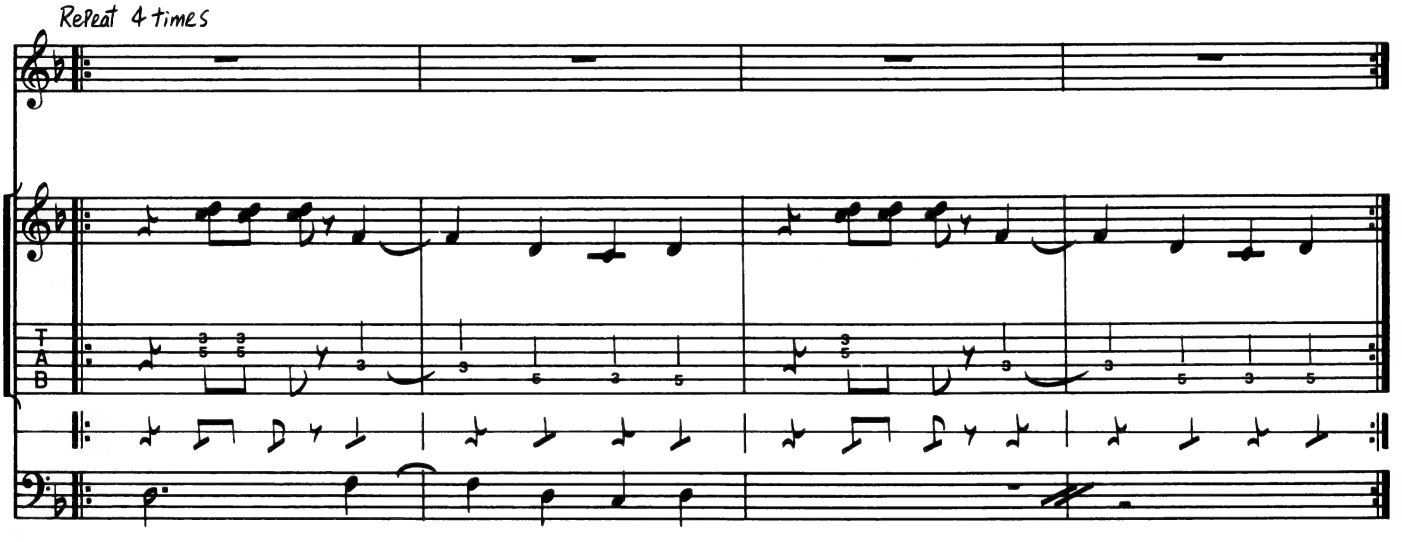

Dm7 (omit 3rd)
___ way, backed up in the church. ___ Ev - 'ry - where you
___ House, talk up to your door. ___ So much go - in' I ___
___ mill, rush - in' to get home. ___ Wor - ry 'bout the
H.O.
H.O.
H.O.
H.O.
T A B
look ___ there's a frown, frown. Com com, - mo - tion
___ just can't ___ hear. Com com, -
time ___ you ___ save me say Com com,
T A B
Git, git, git, gone. ___ Com, com - mo - tion,
T A B

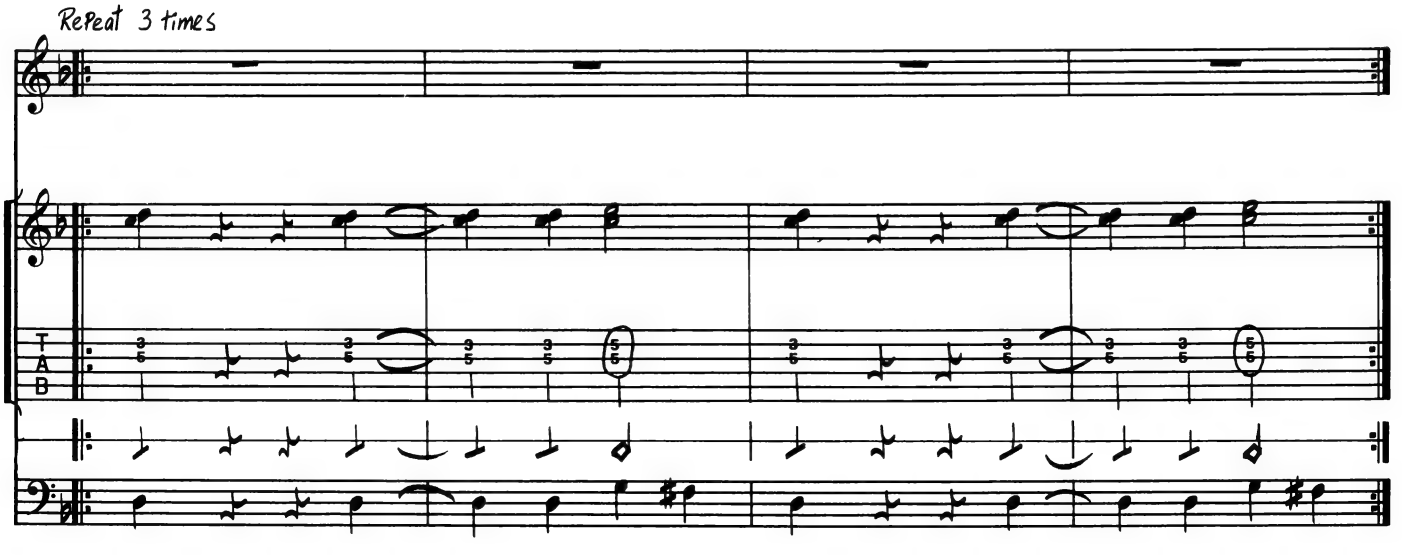

1.
Git, git, git gone.
2.
8va.

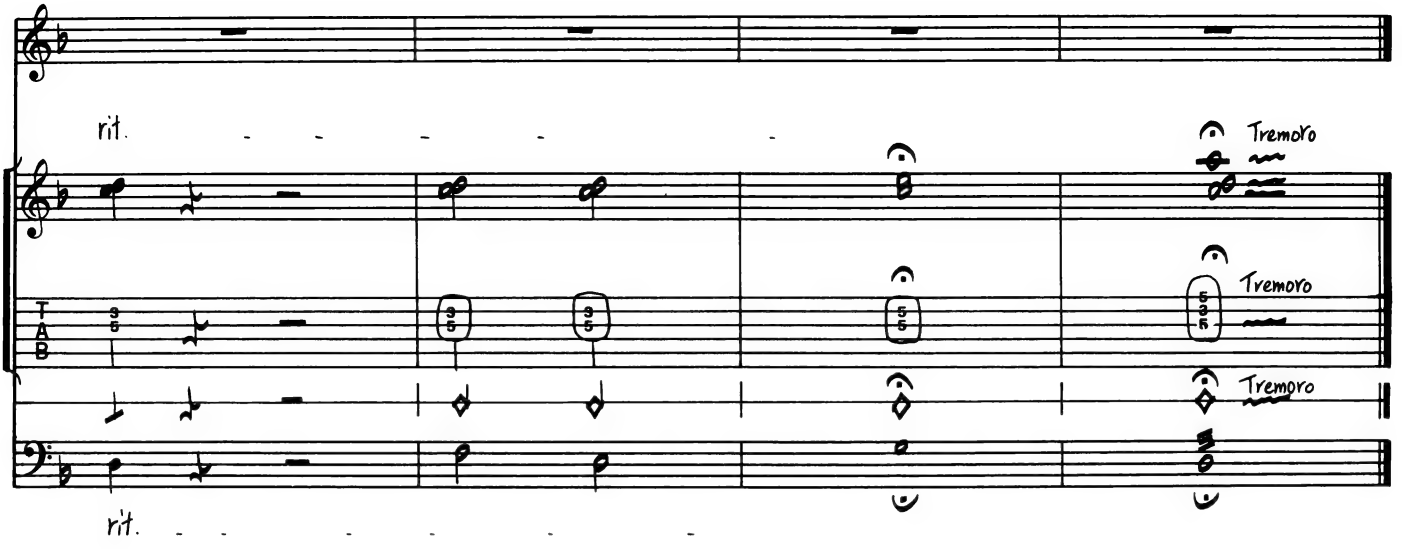

E
Dm7 (omit 3rd)
cho.
p.o.
T
A
B


git gone. __
Com, com
D.S. to A


mo - tion
Git, git, git, gone
Ah.
T
A
B


Repeat 4 times
T
A
B


Repeat 3 times
T
A
B


rit.
Tremoro
Tremoro
Tremoro
T
A
B
rit.

THE MIDNIGHT SPECIAL

ミッドナイト・スペシャル

American Folk Song, arr. J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

イントロのギターの6弦の開放弦は、Dの音にチューニングを変えているので注意しよう。なお、イントロの符割りは、明確なリズムがないため正確なものではなく、便宜上のものなので、1拍1拍の長さやニュアンスはレコードを聴いて判断してほしい。

Aの部分は、リード・ギターが休みなので、リズム・ギターを載せてある。

Bの1小節前から、ドラムスのフィル・インでリズムのノリが変わるので注意しよう。

Bからリード・ギターを載せてあるが、1音1音を切らないように、レガートして弾くことが望ましい。雰囲気はレコードを聴いてもらえれば容易に理解してもらえると思う。

全体的にヴォーカルに重点をおいたサウンド構成であり、難しい部分はないので、ゆったりとプレイできればよいと思う。

■BASS

ヴォーカルとギターのルバートで1コーラス進み、Aの2小節前のドラムスのフィル・インでテンポが決まる。Aだけが、シャッフルになっていて、Bから8ビートになる。

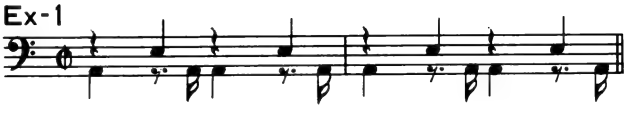
ゆったりとした曲で、パターンとしては、小節初めの2拍が2分音符で伸びており、あとの2拍が、8分音符と4分音符の組み合わせになっている。これを見ると、やはり、2ビートが基本となっていることがわかる。

ノリにくいテンポなので、特にAのシャッフルなど、16分音符が前のめりにならないように練習しよう。

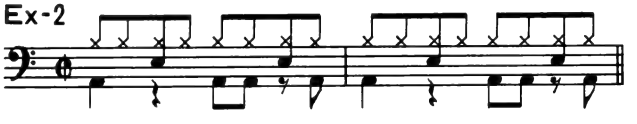
■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

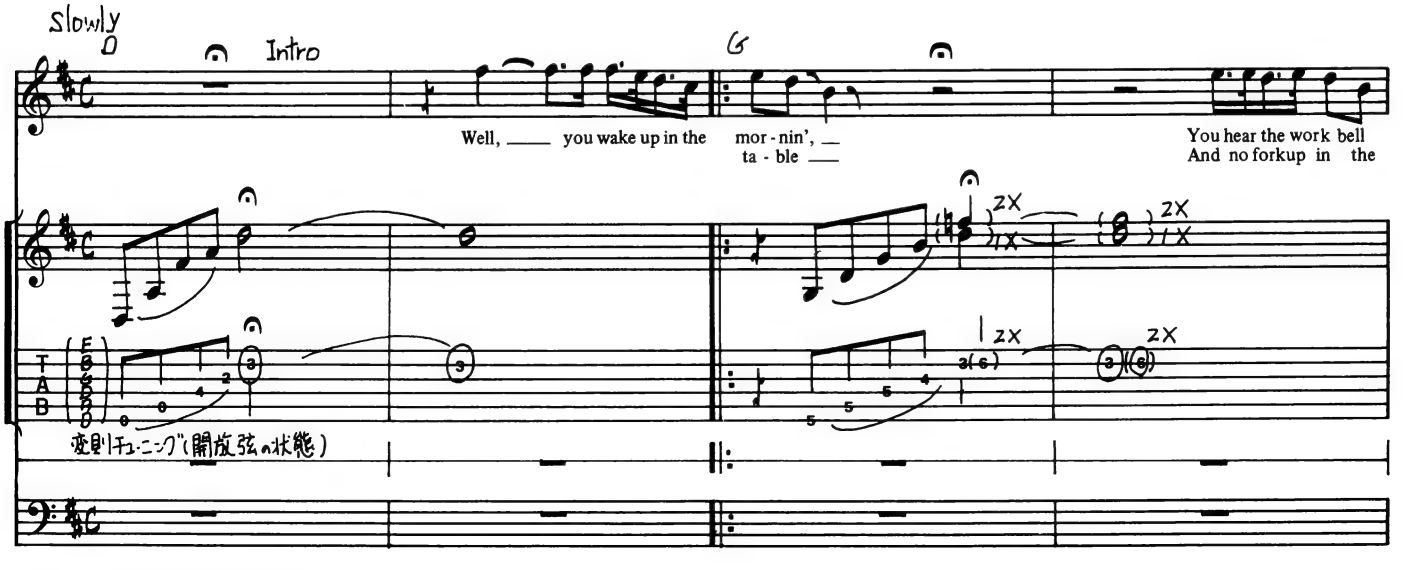
最初の1コーラス(A)のみシャッフルになっている。Ex-1のように、ドラムスはハイハットを叩いていない。Bからは通常の8ビートになる(Ex-2)。

Ex-1

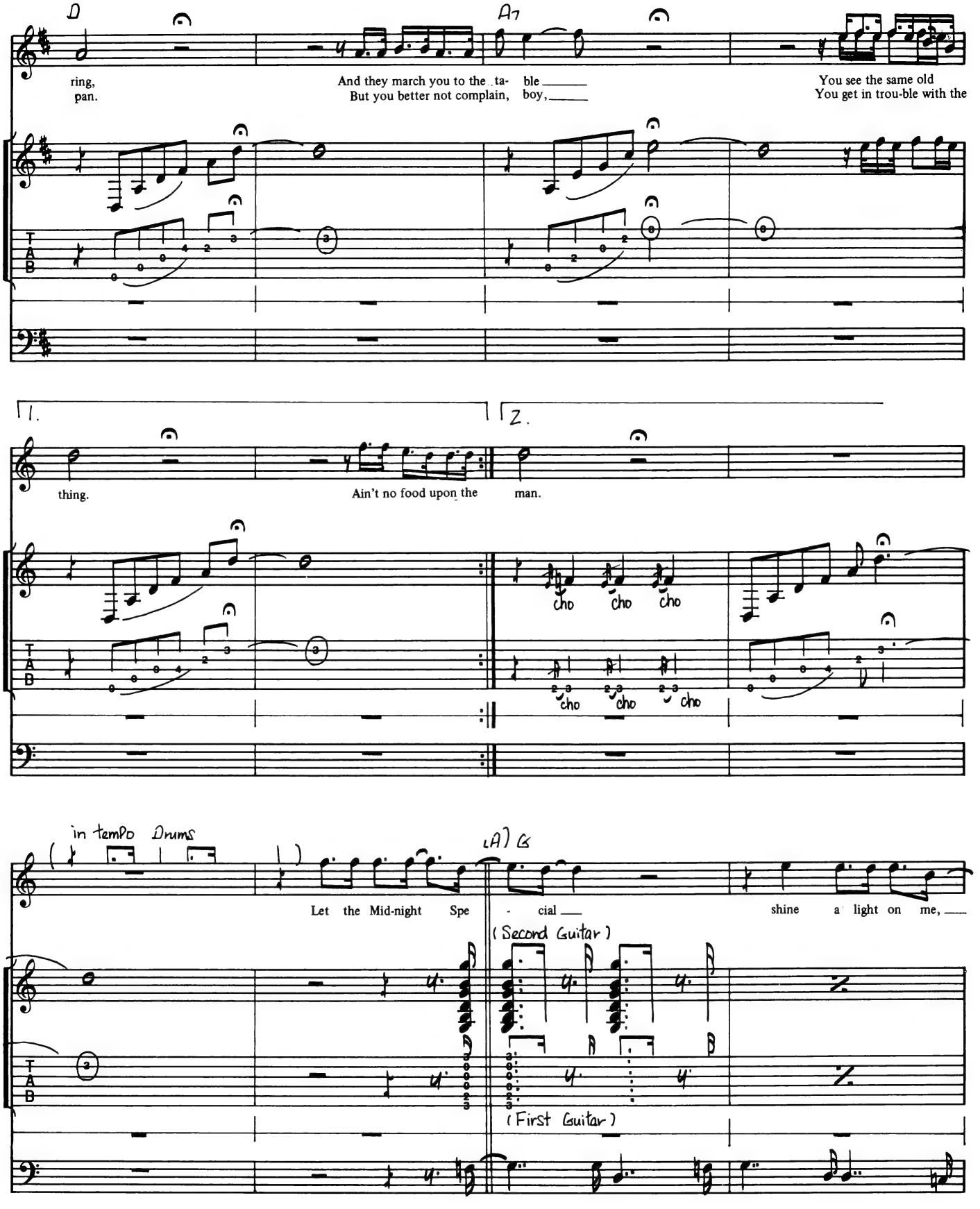


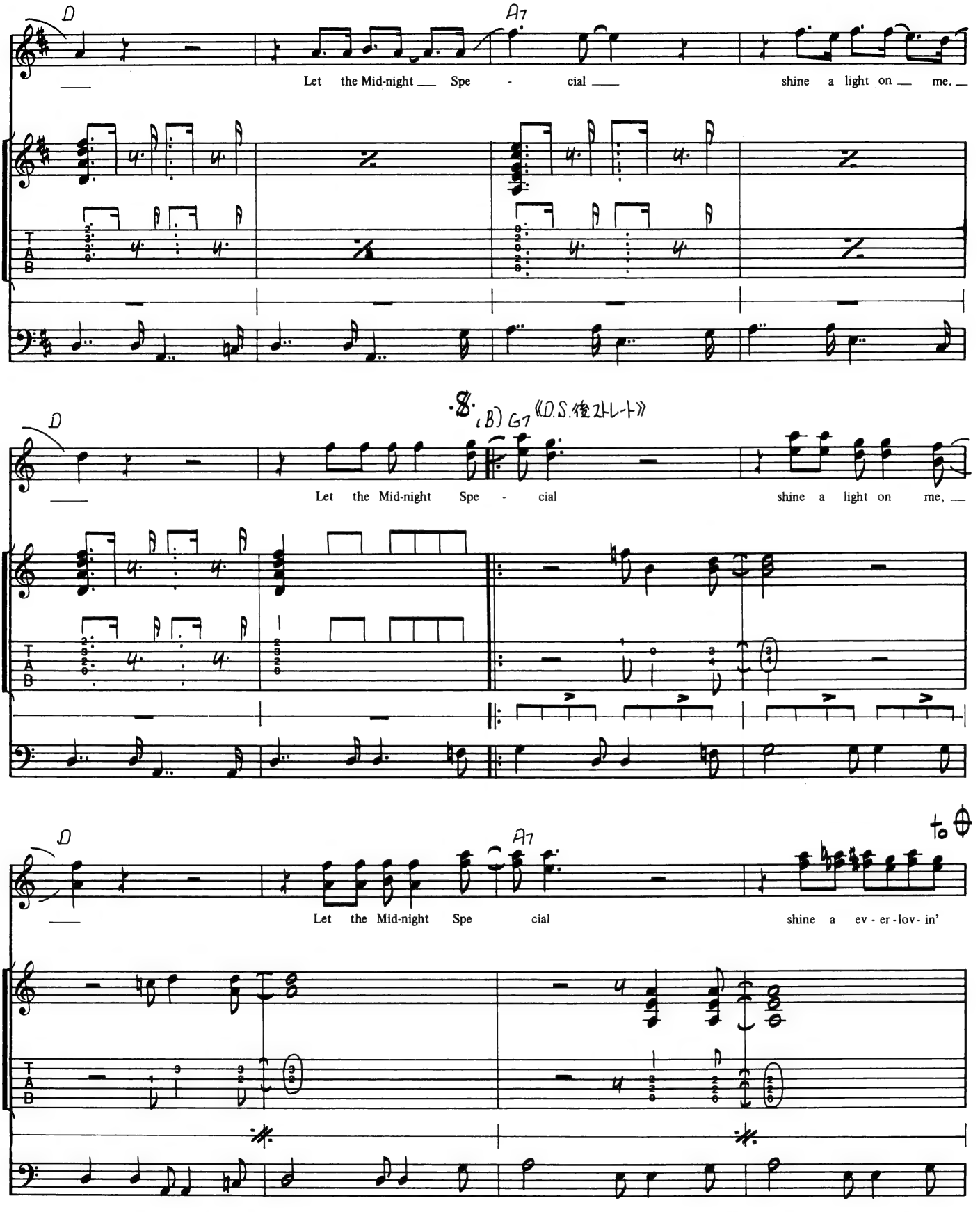
Ex-2

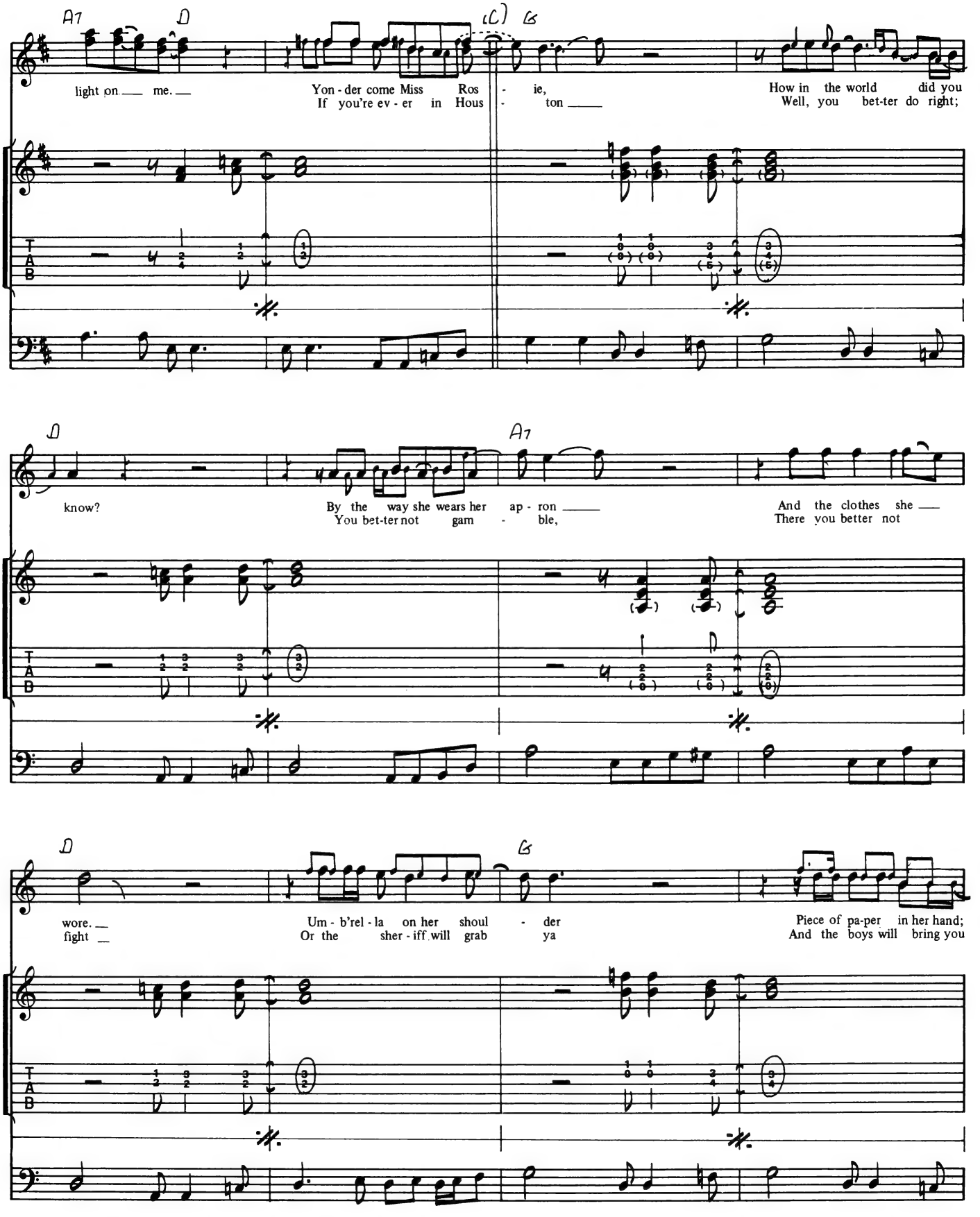


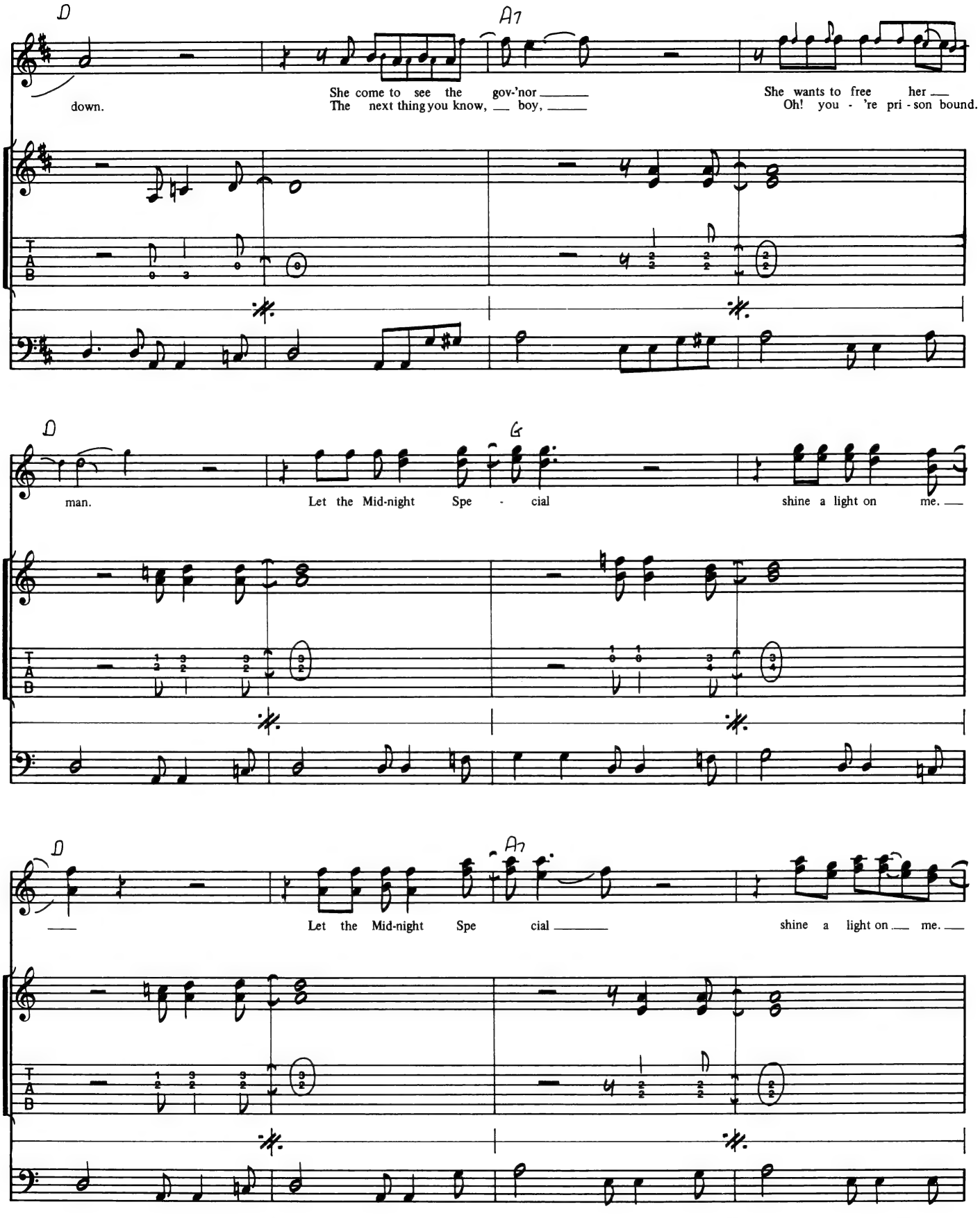


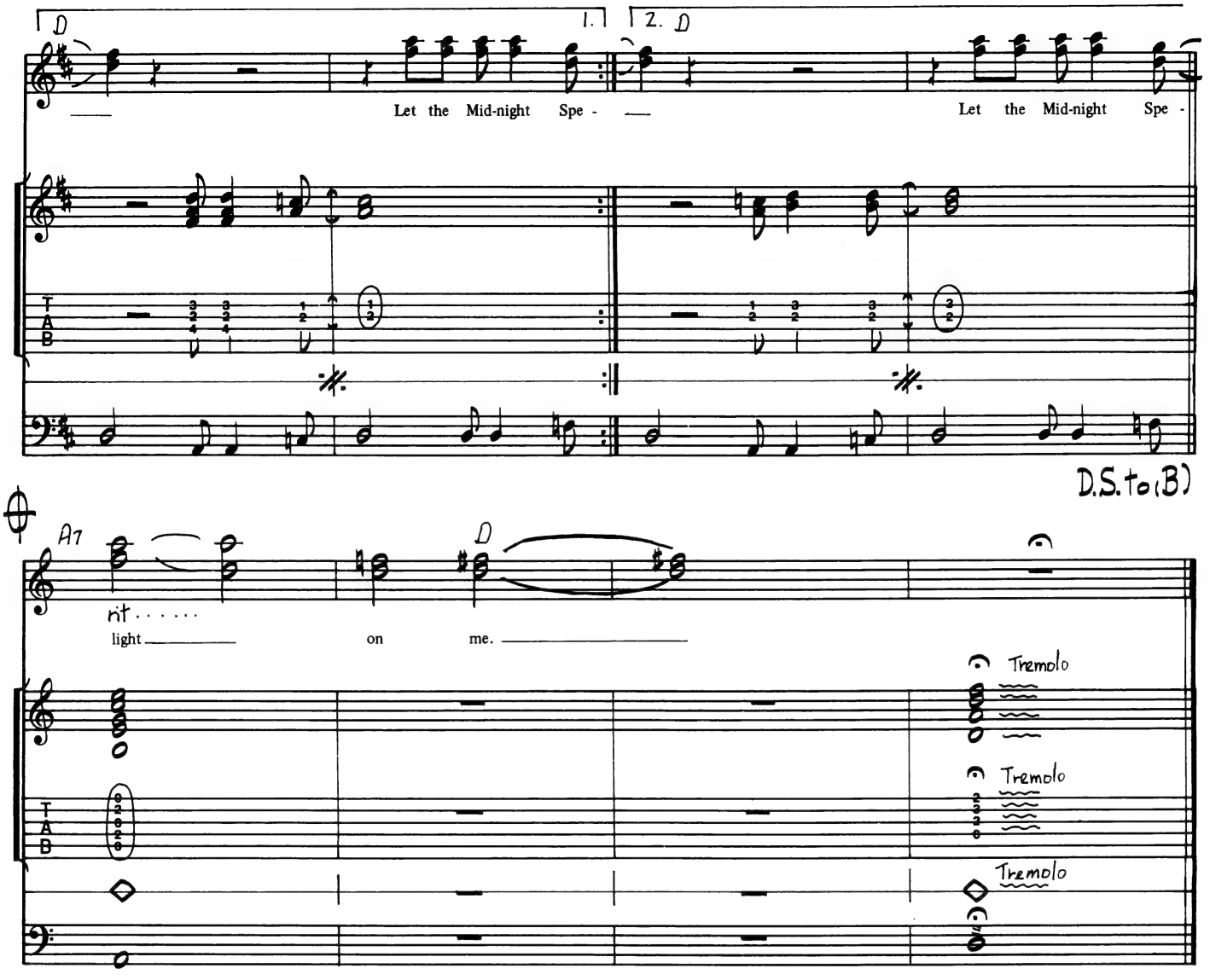
Copyright ©1969, 1970 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHIGN CO., LTD.


D
A7
ring,
pan.
And they march you to the ta- ble
But you better not complain, boy,
You see the same old
You get in trou-ble with the
1.
2.
thing.
Ain't no food upon the
man.
cho cho cho
cho cho cho
in tempo Drums
(A) G
Let the Mid-night Spe - cial
shine a light on me,
(Second Guitar)
(First Guitar)
T
A
B


D
A7
Let the Mid-night Spe - cial shine a light on me.
D
Let the Mid-night Spe - cial shine a light on me,
(B) G7 《D.S.後ストレート》
D
A7
to ⊕
Let the Mid-night Spe cial shine a ev - er - lov - in'
T
A
B


A7
D
(C)
G
light on me.
Yon - der come Miss Ros - ie,
If you're ev - er in Hous - ton
How in the world did you
Well, you bet-ter do right;
D
A7
know?
By the way she wears her ap - ron
You bet-ter not gam - ble,
And the clothes she
There you better not
D
G
wore.
fight
Um - b'rel - la on her shoul - der
Or the sher - iff will grab ya
Piece of pa-per in her hand;
And the boys will bring you


D
A7
down.
She come to see the gov-'nor
The next thing you know, boy,
She wants to free her
Oh! you - 're pri - son bound.
D
G
man.
Let the Mid-night Spe - cial
shine a light on me.
D
A7
Let the Mid-night Spe cial
shine a light on me.


D
1.
2. D
Let the Mid-night Spe -
Let the Mid-night Spe -
D.S. to (B)
A7
D
rit.
light
on
me.
Tremolo
Tremolo
Tremolo

DOWN ON THE CORNER

ダウン・オン・ザ・コーナー

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

イントロのリフはシンコペーションのタイミングを的確につかみ、リズムにバラツキやぎこちなさがないようにする。なお、1小節目は各音を切らずに伸ばし、2小節目からは、♩ 𝄾♪♩♩と休符を入れると良い雰囲気になる。

Ⓐと Ⓑの部分のバッキングは、リード・ギターが聞きとれないので(休みのようであるが)、リード・ギター、リズム・ギター共に同じにしてある。歯切れの良いカッティングで、小気味良いコード・ストロークを目指したい。

Ⓒの部分のリフは、イントロのリフにハーモニーがついた2ヴォイスのメロディーになっている。注意する点はイントロの時と同じでよいだろう。プレイ自体難しい部分はないと思えるので、タブ譜を見てじっくりと練習しよう。

■BASS

付点音符の連続による曲で、ベース、ギター共同じである。4小節パターンで進行しているが、|♩𝄽♩𝄽|と|♩.♪♩𝄽|が不明瞭なところが多分にあるので、一応ここでは、4小節パターンの4小節目のみを2種類に分けておいた。

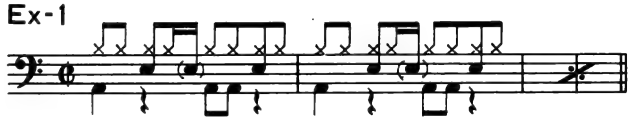
Ⓑ・Ⓓ・コーダのサビの部分を除いては、すべてこの4小節パターンの繰り返しなので、決してこの付点音符がはずんでしまわないように、十分練習されたい。

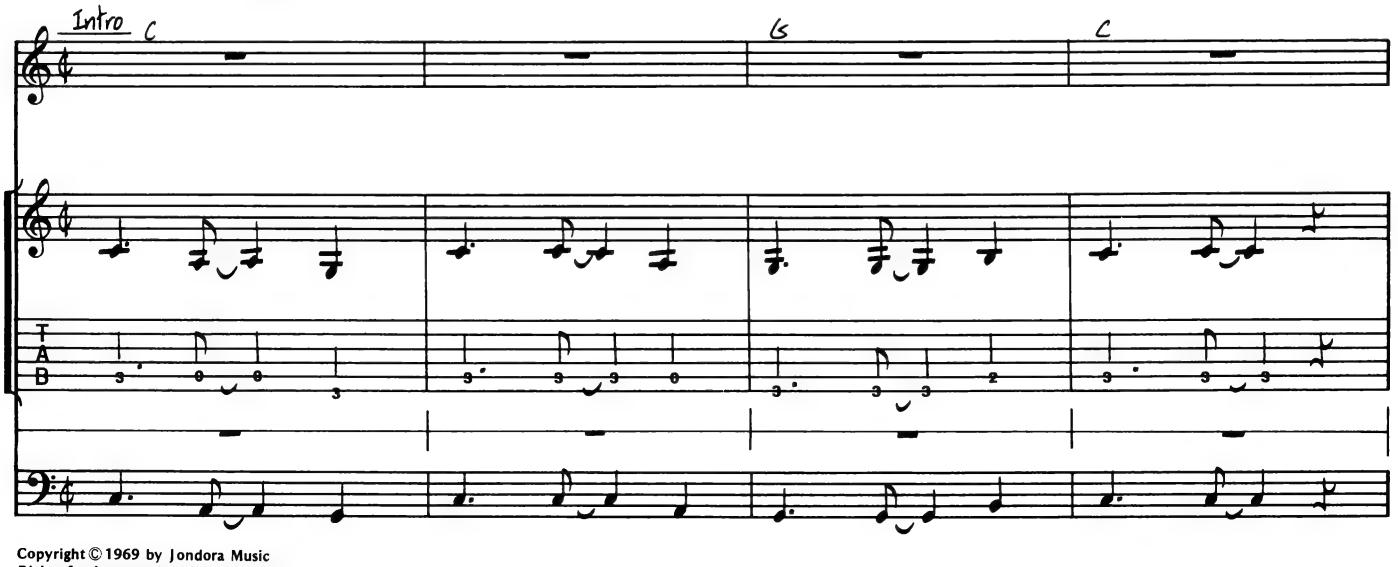
■DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

この曲は、ギターIとベースがユニゾンで動いているので、特に、ドラムスとリズム・ギターのコンビネーションが大事になってくる。

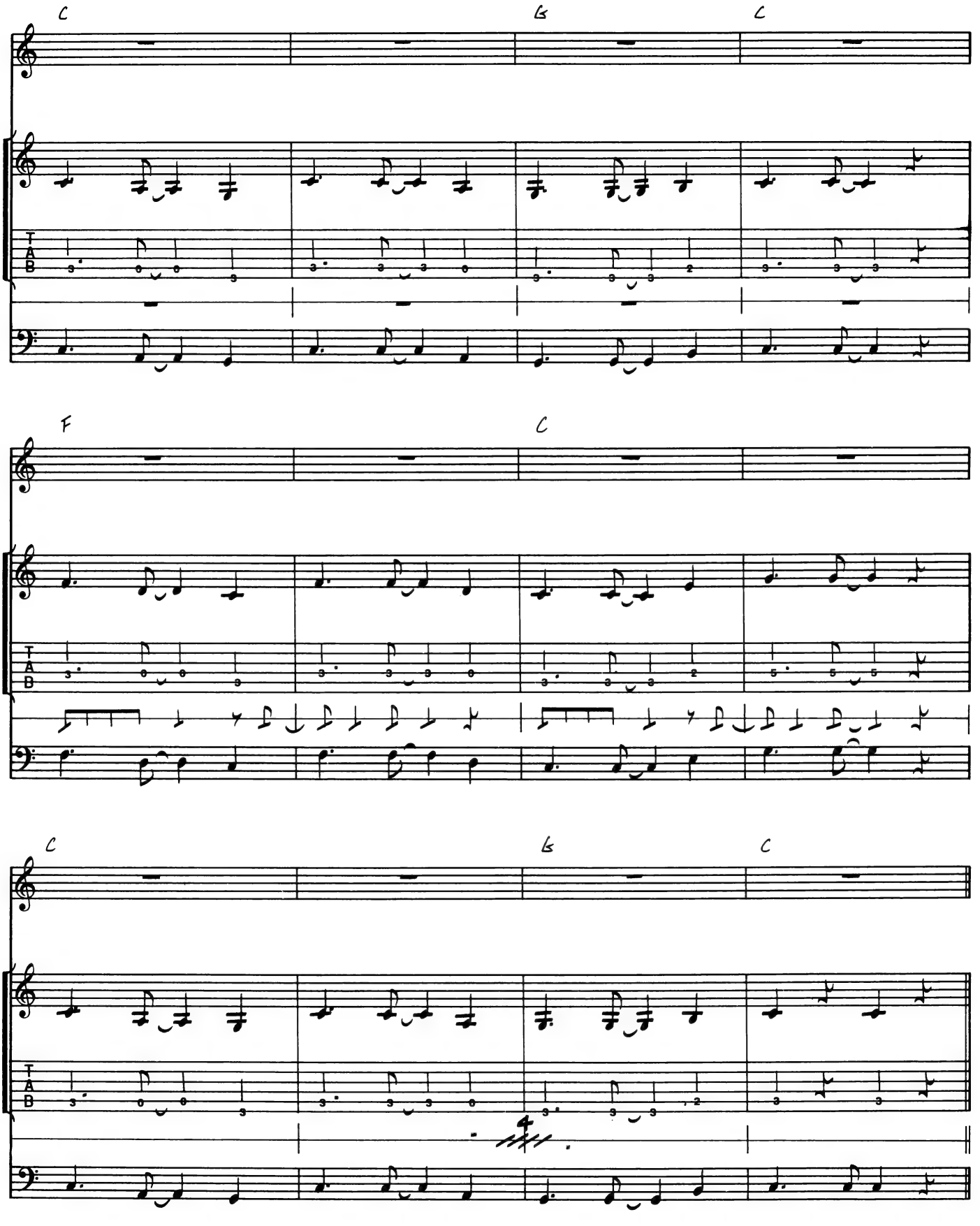
4小節パターンの1小節目の1拍目、3小節目の1拍目に明瞭にアクセントをつけること。ドラムのパターンは次の通り。

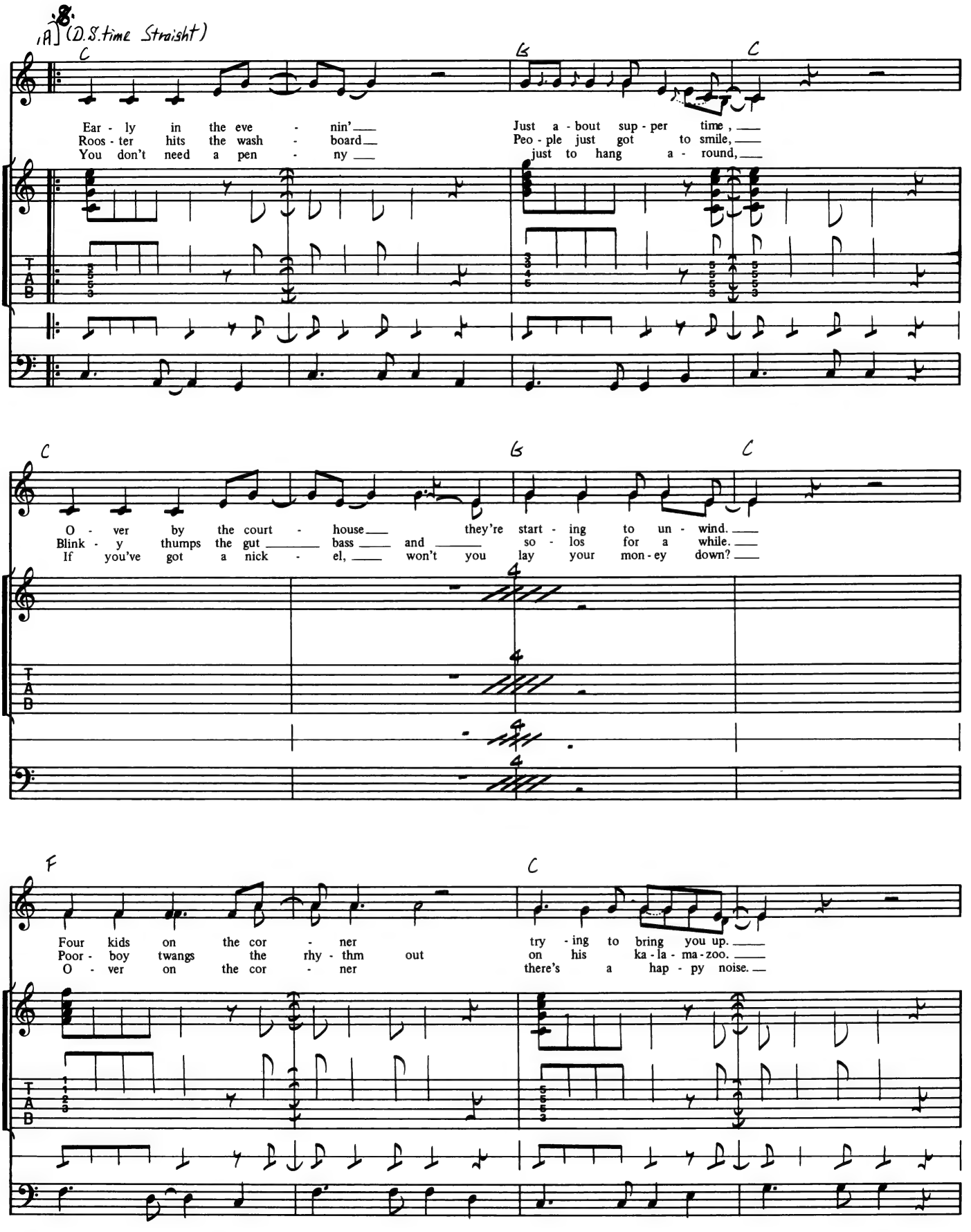
Ex-1

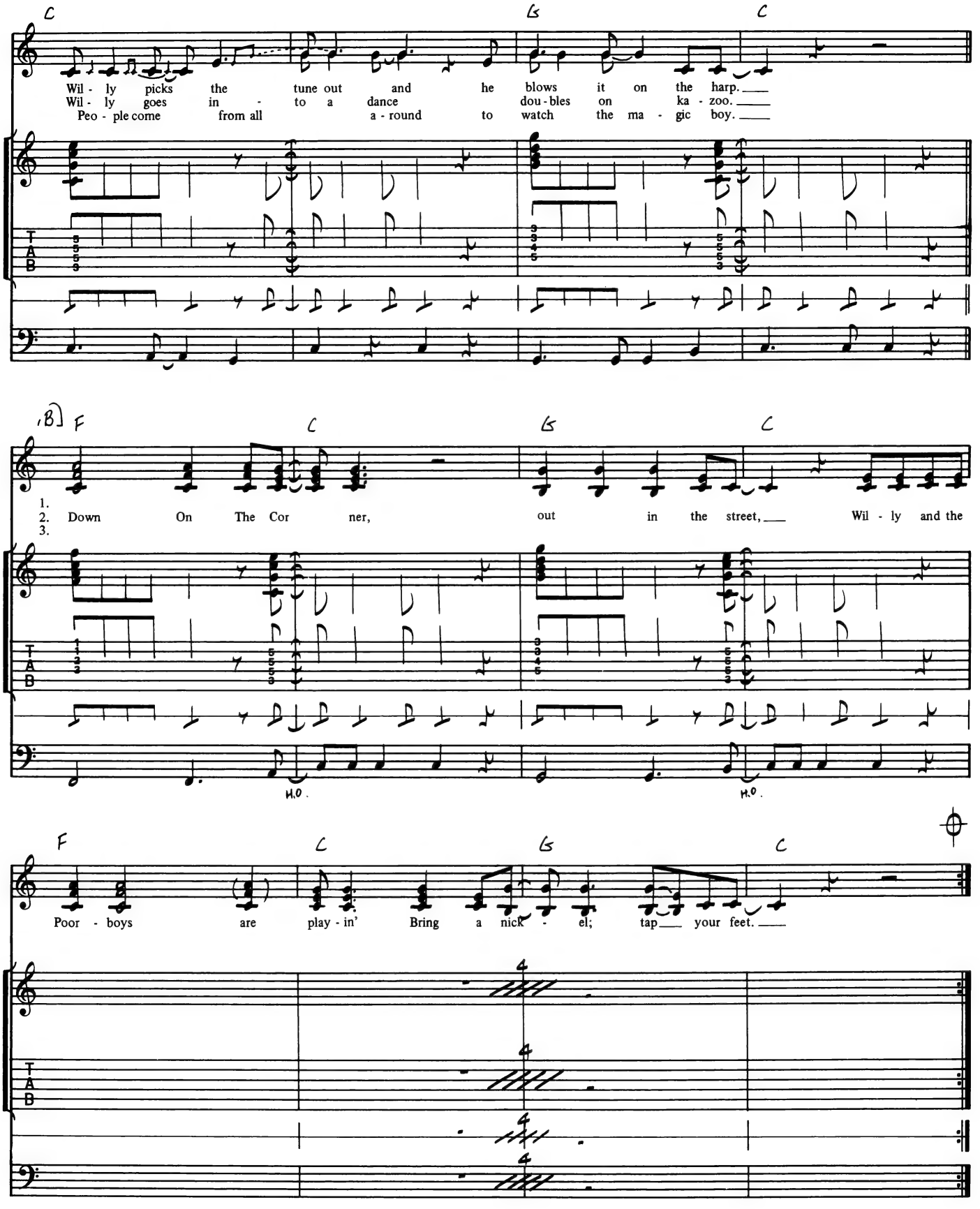


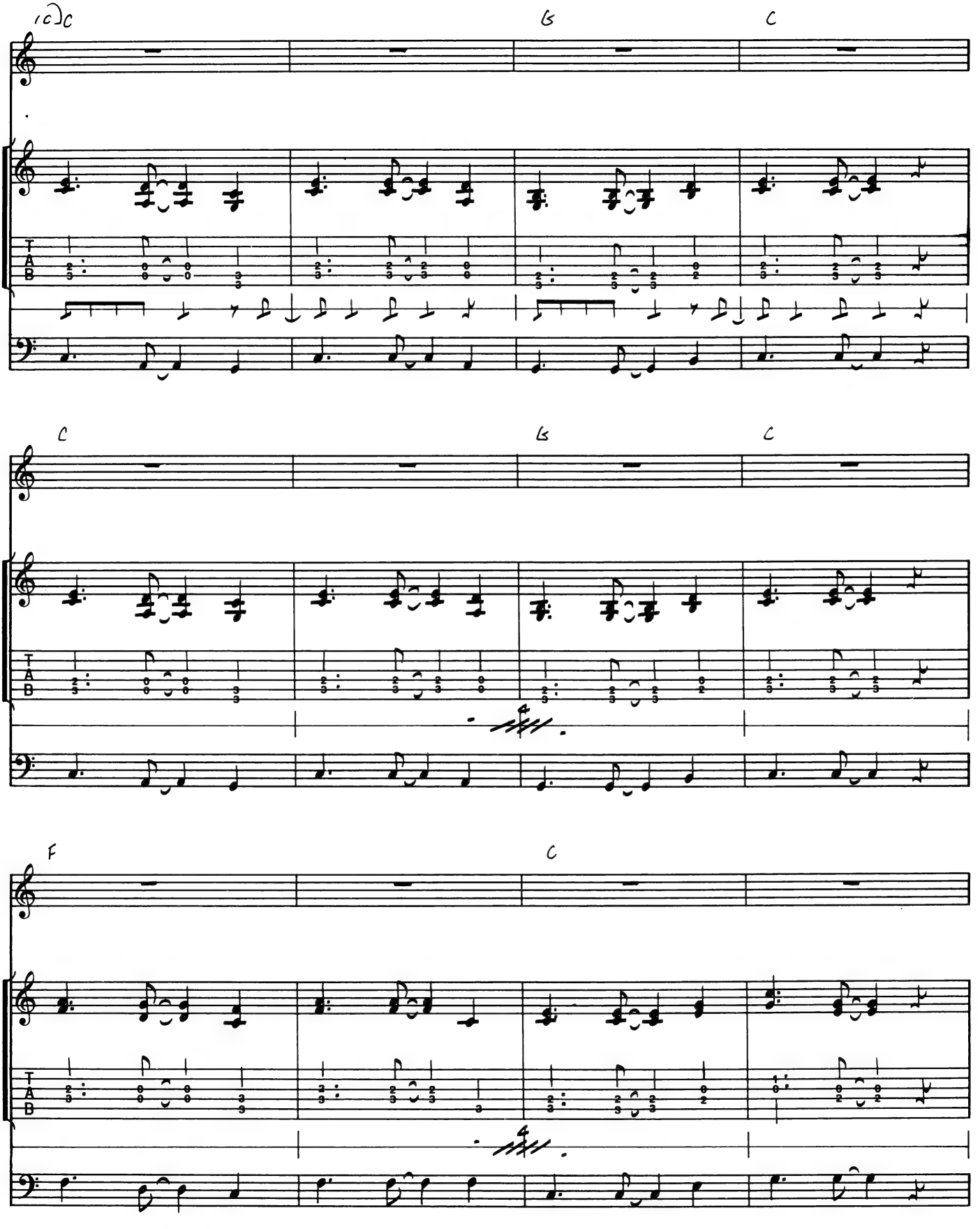


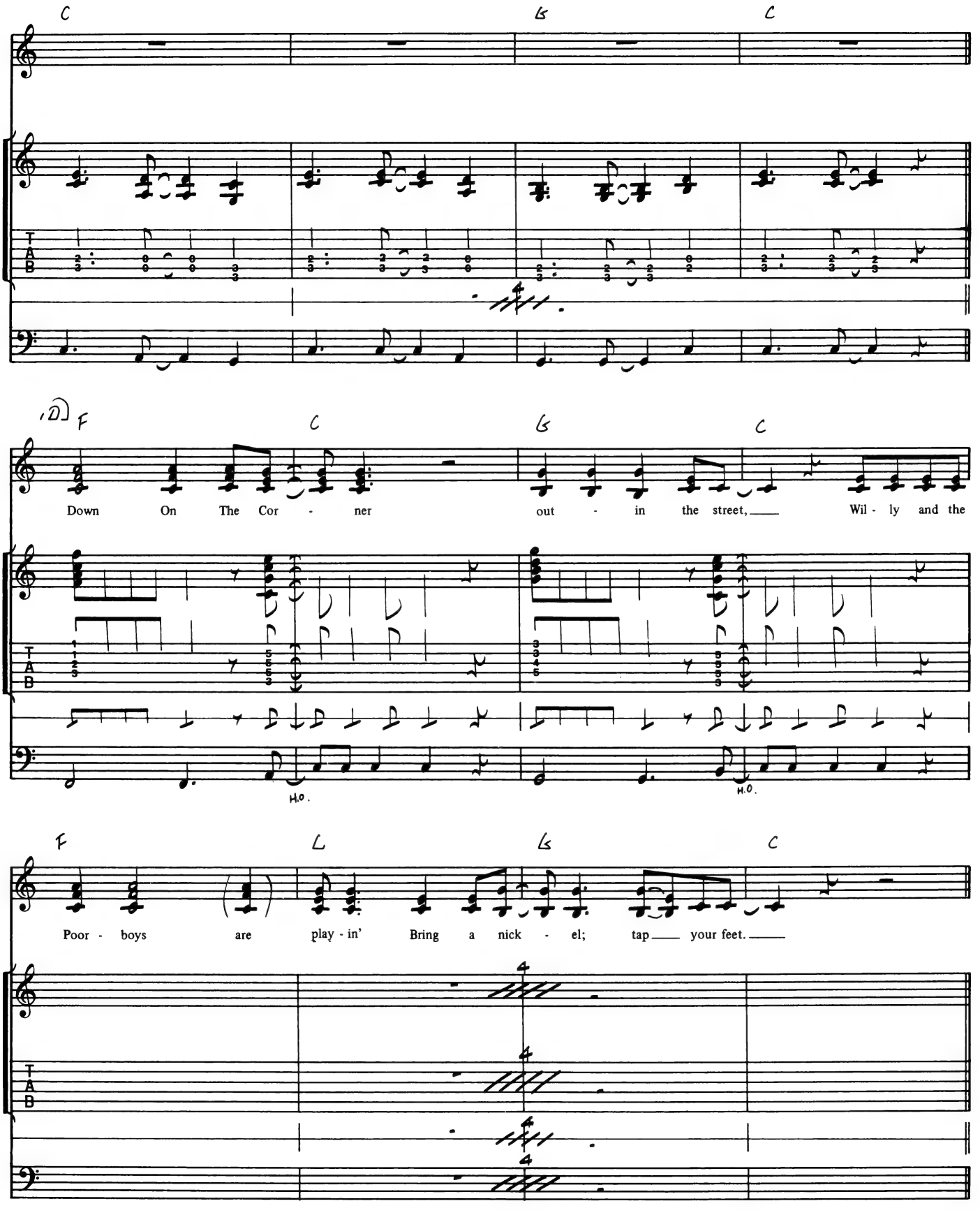
Copyright © 1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

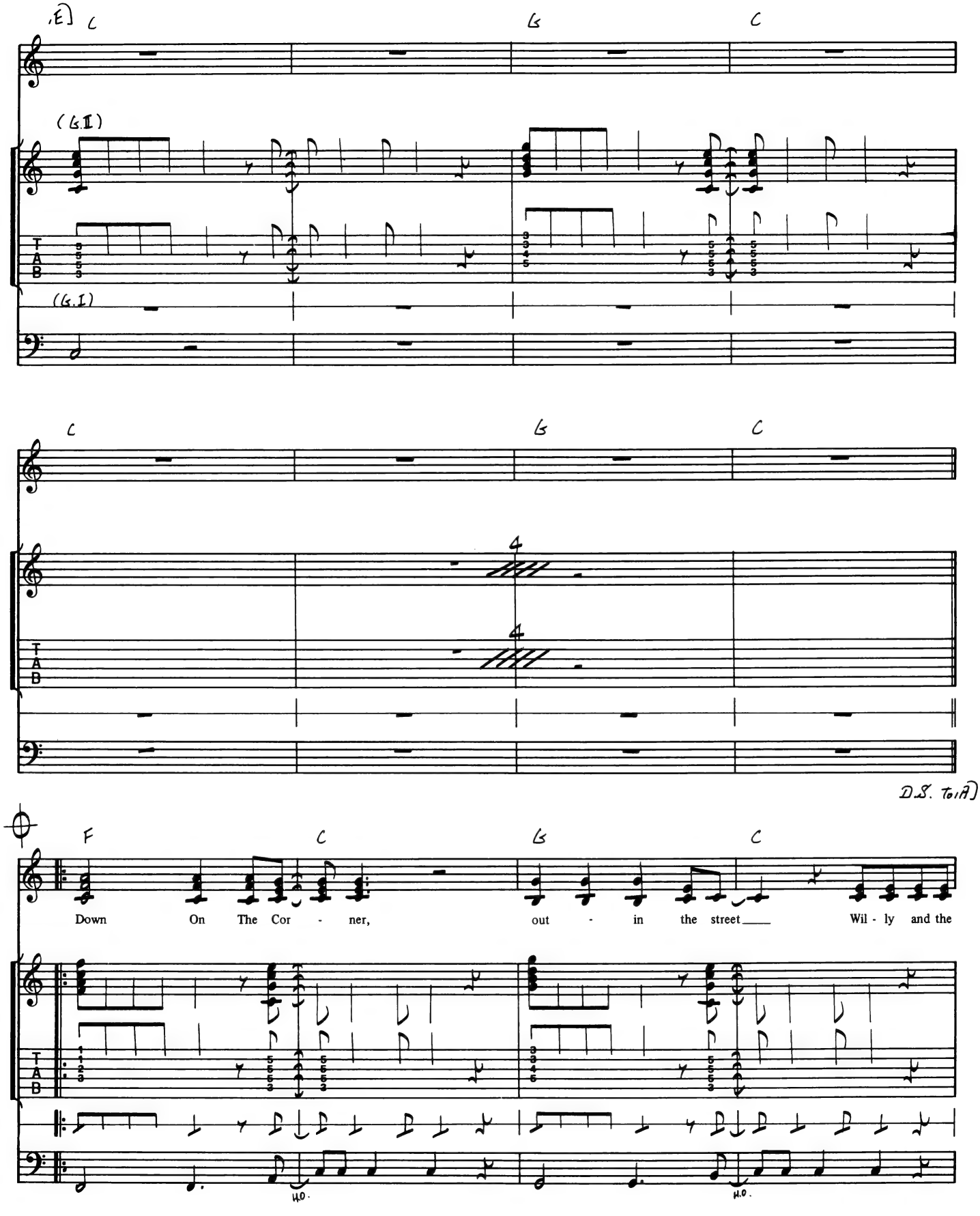

C
G
C
F
C
C
G
C

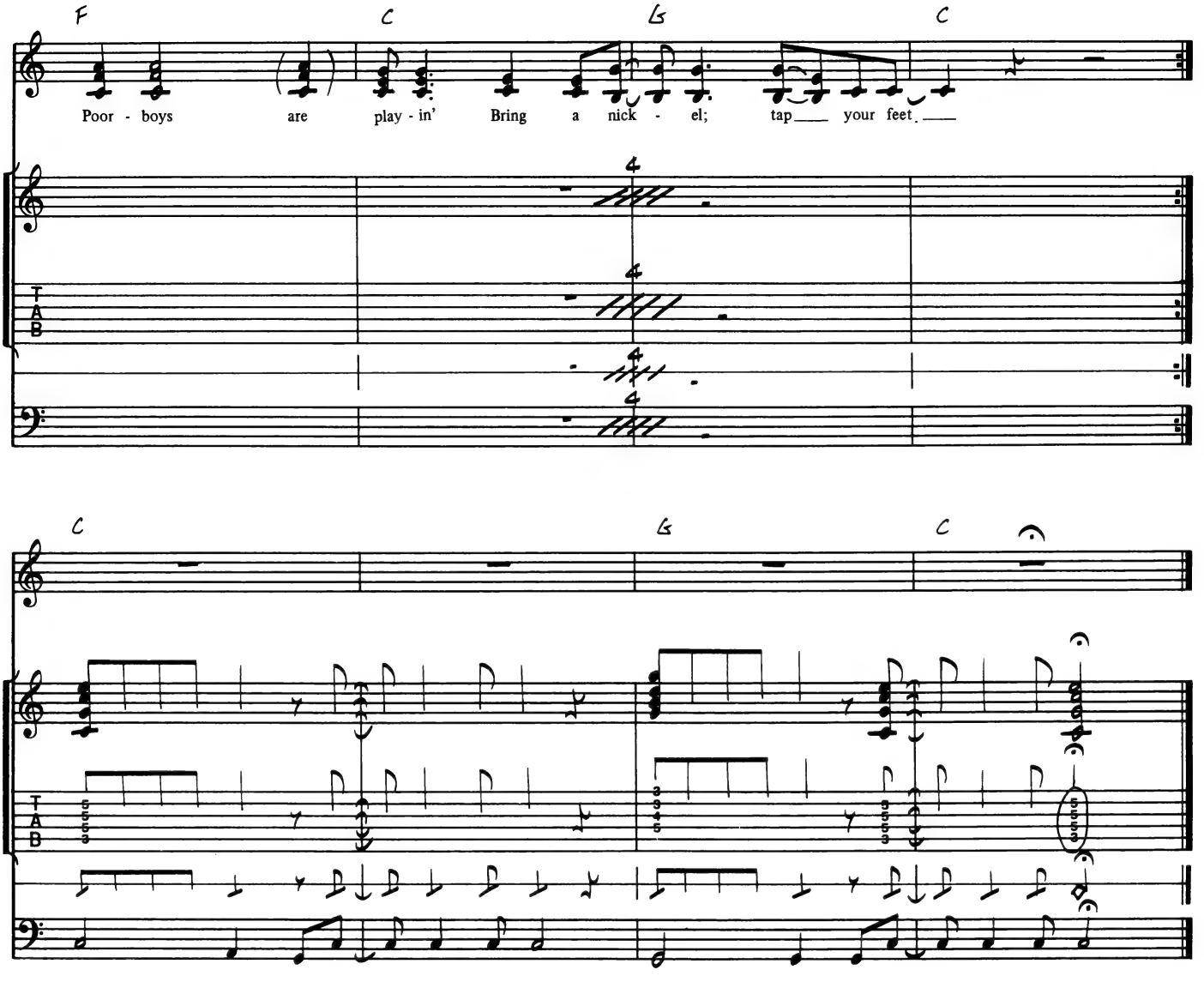

[A] (D.S. time Straight)
C
G
C
Ear - ly in the eve - nin'
Roos - ter hits the wash - board
You don't need a pen - ny
Just a - bout sup - per time,
Peo - ple just got to smile,
just to hang a - round,
C
G
C
O - ver by the court - house they're start - ing to un - wind.
Blink - y thumps the gut bass and so - los for a while.
If you've got a nick - el, won't you lay your mon - ey down?
F
C
Four kids on the cor - ner try - ing to bring you up.
Poor - boy twangs the rhy - thm out on his ka - la - ma - zoo.
O - ver on the cor - ner there's a hap - py noise.
T
A
B


C
G
C
Wil - ly picks the tune out and he blows it on the harp.
Wil - ly goes in - to a dance dou - bles on ka - zoo.
Peo - ple come from all a - round to watch the ma - gic boy.
T
A
B
(B) F
C
G
C
1.
2. Down On The Cor ner, out in the street, Wil - ly and the
3.
H.O.
H.O.
F
C
G
C
Poor - boys are play - in' Bring a nick - el; tap your feet.
4
4
4
4


C
G
C
C
G
C
F
C


C
G
C
(1D) F
C
G
C
Down On The Cor - ner out - in the street, Wil - ly and the
H.O.
H.O.
F
C
G
C
Poor - boys are play - in' Bring a nick - el; tap your feet.
4
4
4
4


(E)
C
G
C
(G.II)
(G.I)
T
A
B
C
G
C
4
4
D.S. to (A)
F
C
G
C
Down On The Cor - ner, out - in the street Wil - ly and the
H.O.
H.O.


F
C
G
C
Poor - boys are play - in' Bring a nick - el; tap your feet.
T
A
B

KEEP ON CHOOGLIN'

キープ・オン・チューグリン

Words and Music by J. C. Fogerty

Playing Advice

■GUITAR I

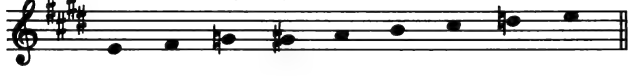
ジョン・フォガティーのギター・テクニックがふんだんに聞ける曲である。

イントロのリフはシンコペーションのタイミングをよく理解してプレイしよう。9小節目のチョーキングと記譜してある所は、明確な音程はとらず、弦を少し持ち上げる気持ちでプレイするとよいだろう。

Aの5小節からのシンコペーションはドラムスとジャストなタイミングでアクセントするようレッスンすることが必要だ。

Dからギター・ソロであるが、この曲はアドリブ・ソロをすべて載せると大変な小節数になるため、途中省略する部分があるので了解されたい。なお、カットした部分のスケールはEのブルー・ノート・スケールでEx-1に示してあるので参考にしてほしい。

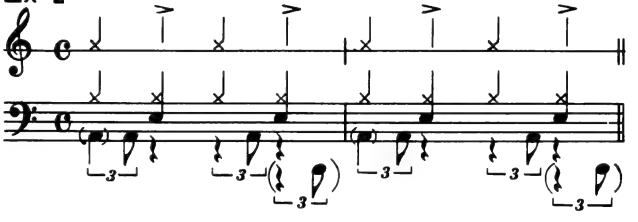
Ex ●Eブルー・ノート・スケール

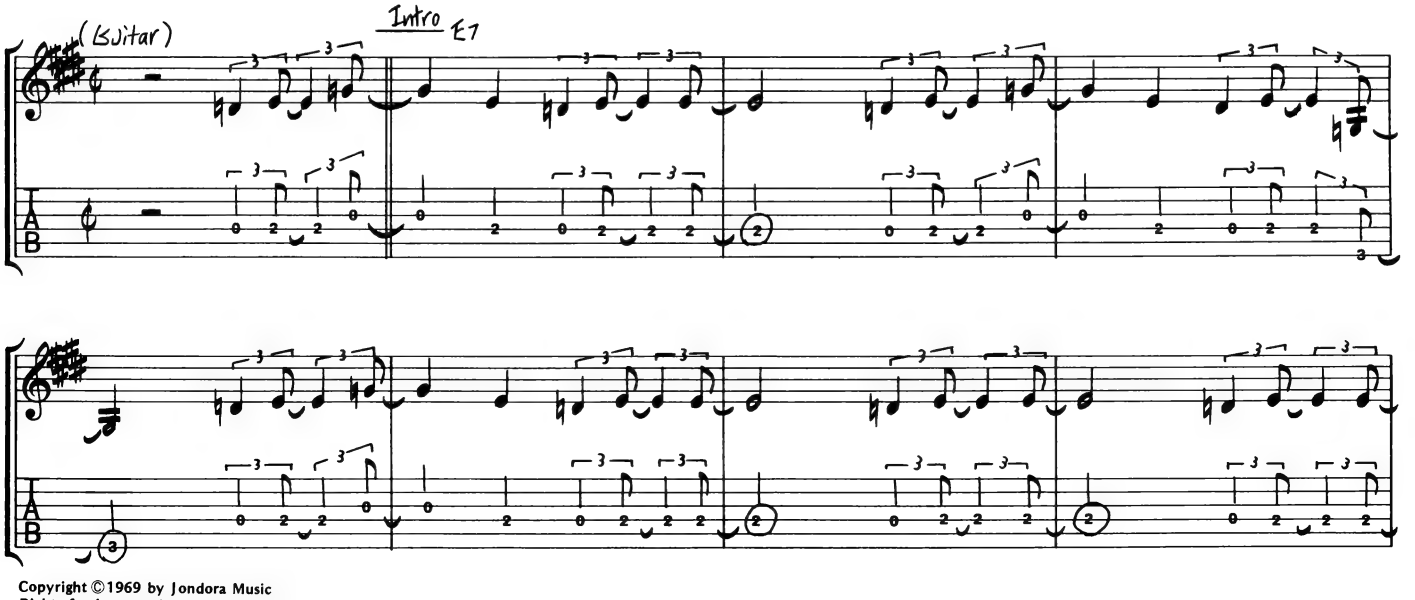


■BASS, DRUMS & GUITAR II (Rhythm Guitar)

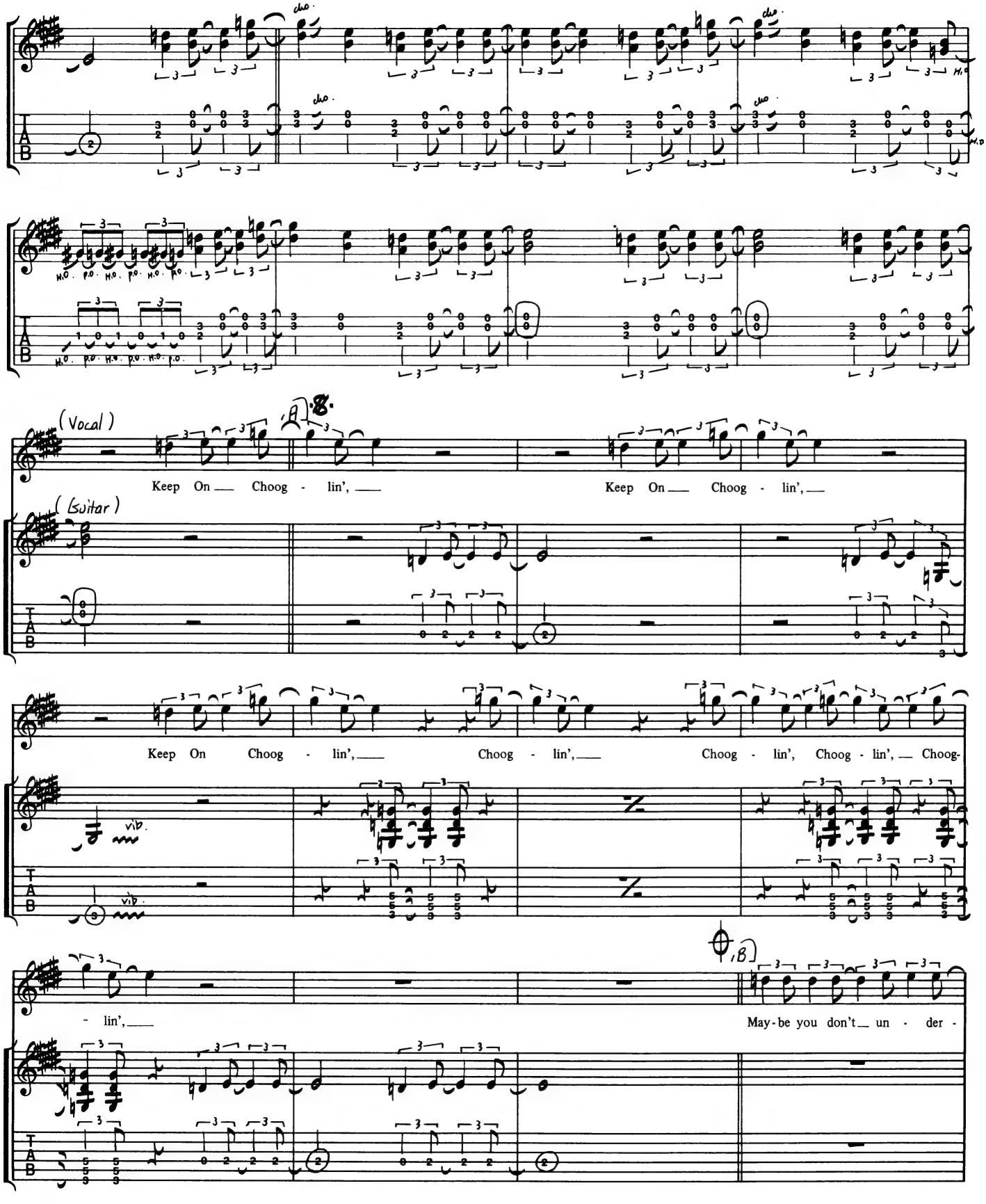
速いテンポのシャッフルの曲である。リズム・ギターは、2・4拍にアクセントをおいてプレイしている。1コードの長い曲なので、タイム・キープに気をつけたい。次に、リズム・ギター、ベース、ドラムスの基本的なパターンを示しておくので、参考にしてほしい。

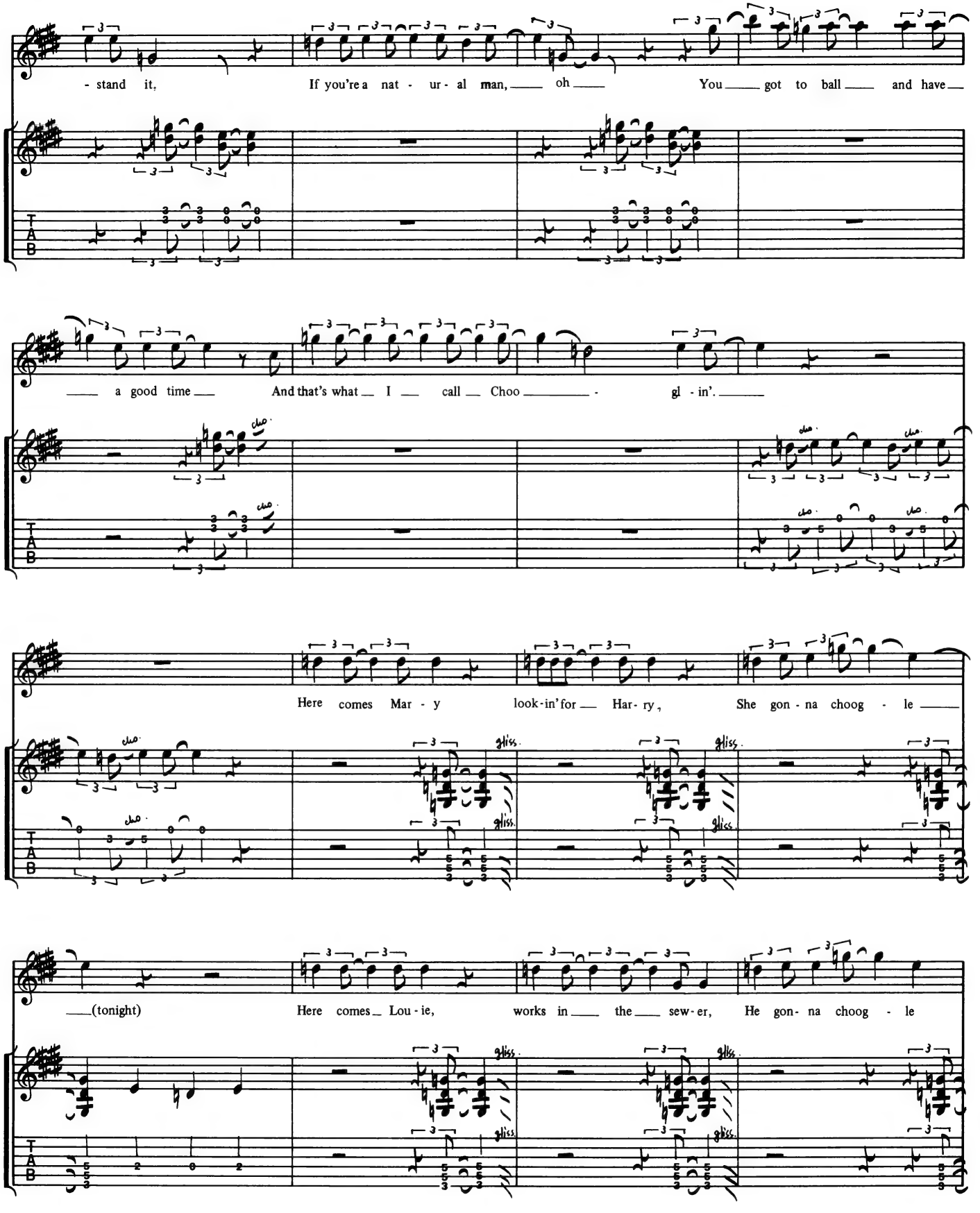
Ex-2

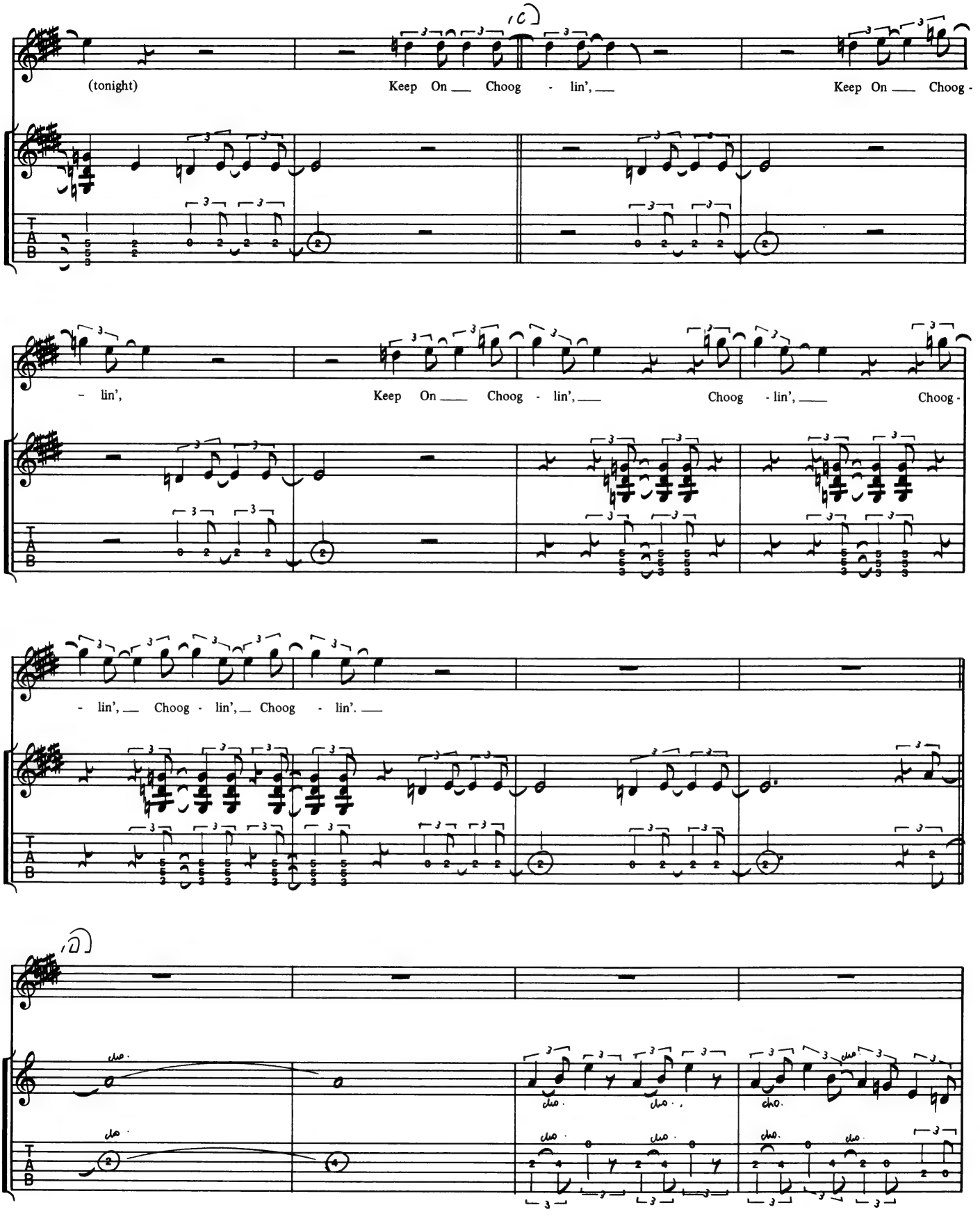


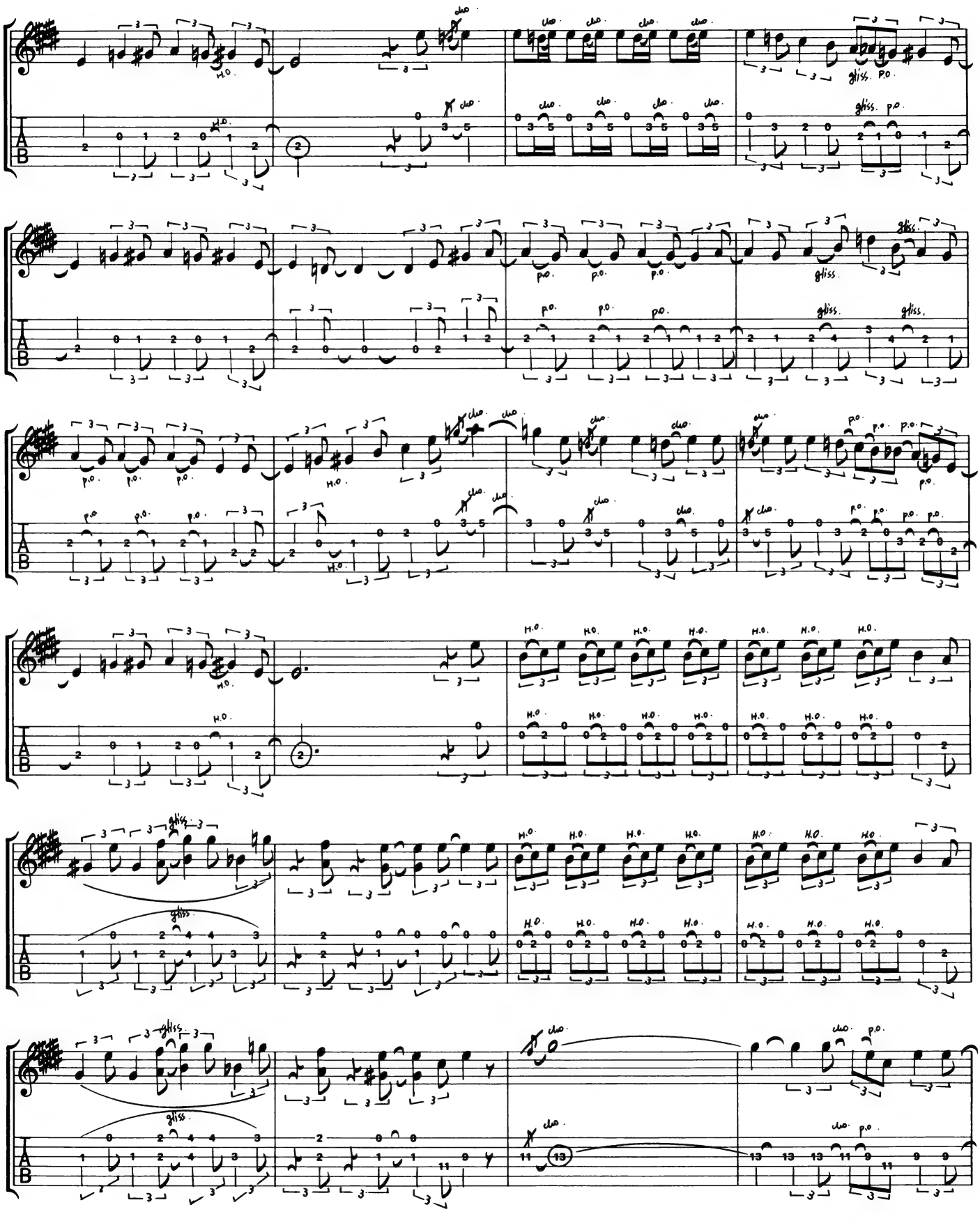


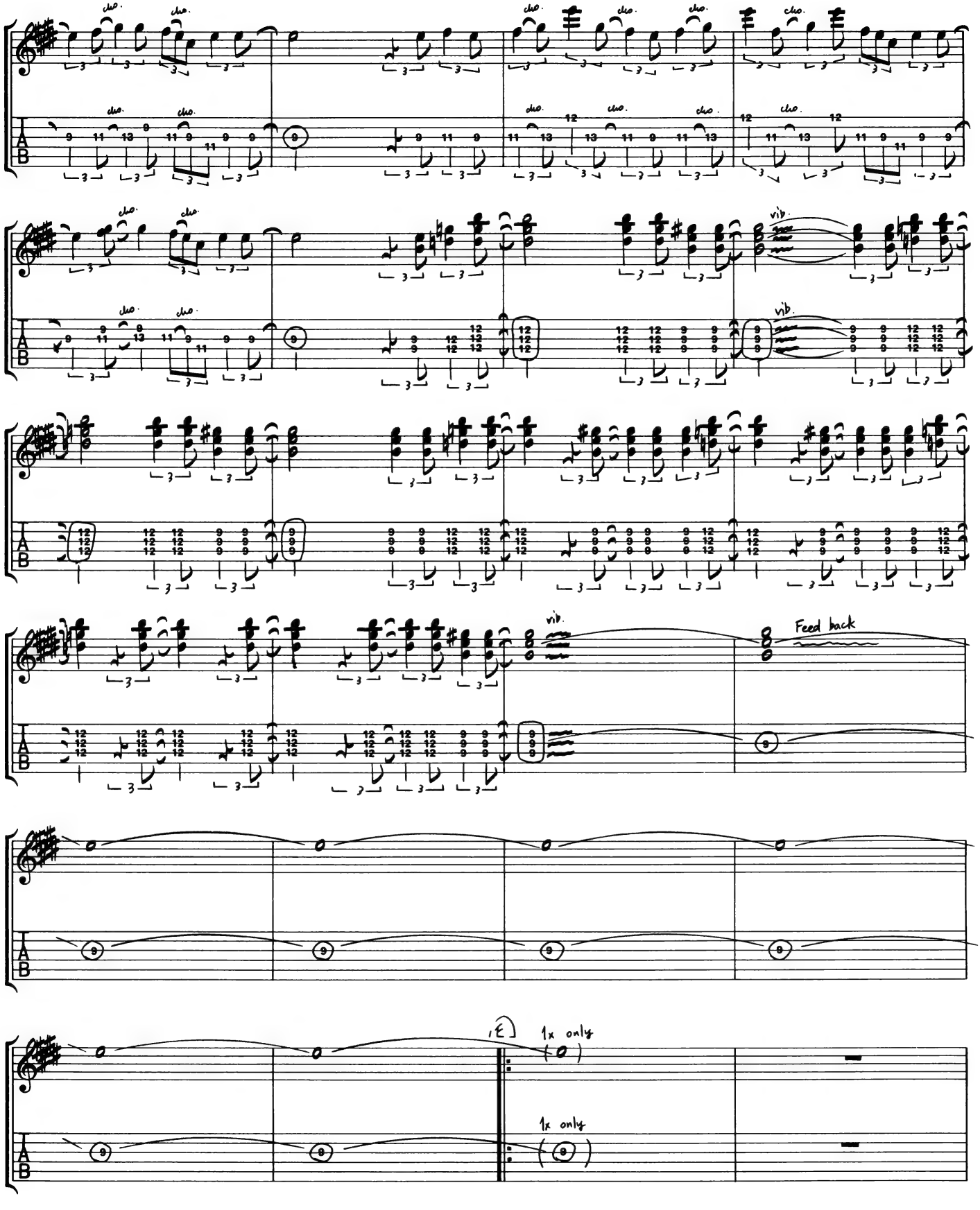
Copyright ©1969 by Jondora Music
Rights for Japan assigned to TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

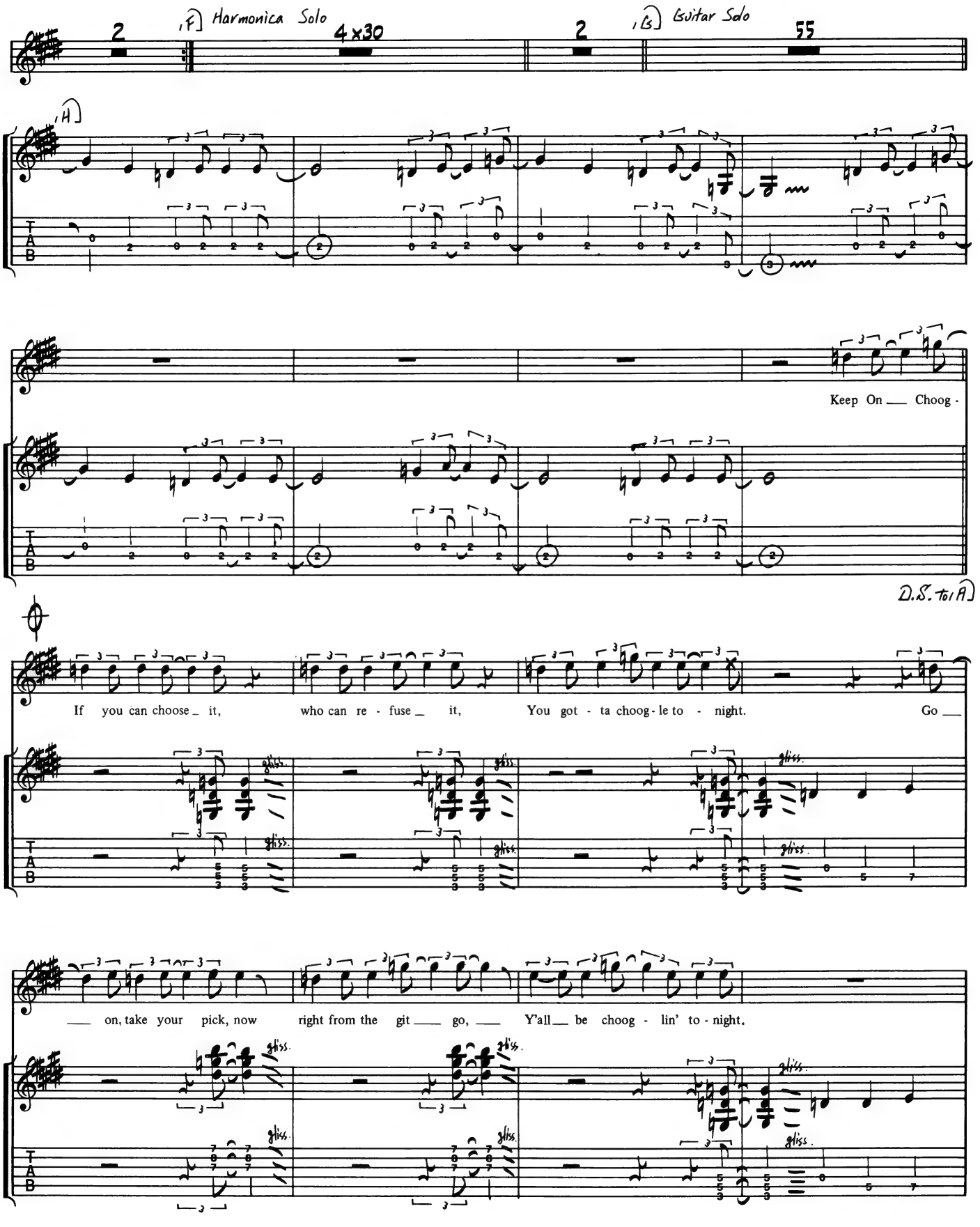

(Vocal)
Keep On Choog - lin',
Keep On Choog - lin',
(Guitar)
Keep On Choog - lin',
Choog - lin',
Choog - lin', Choog - lin', Choog-
- lin',
May-be you don't un - der -

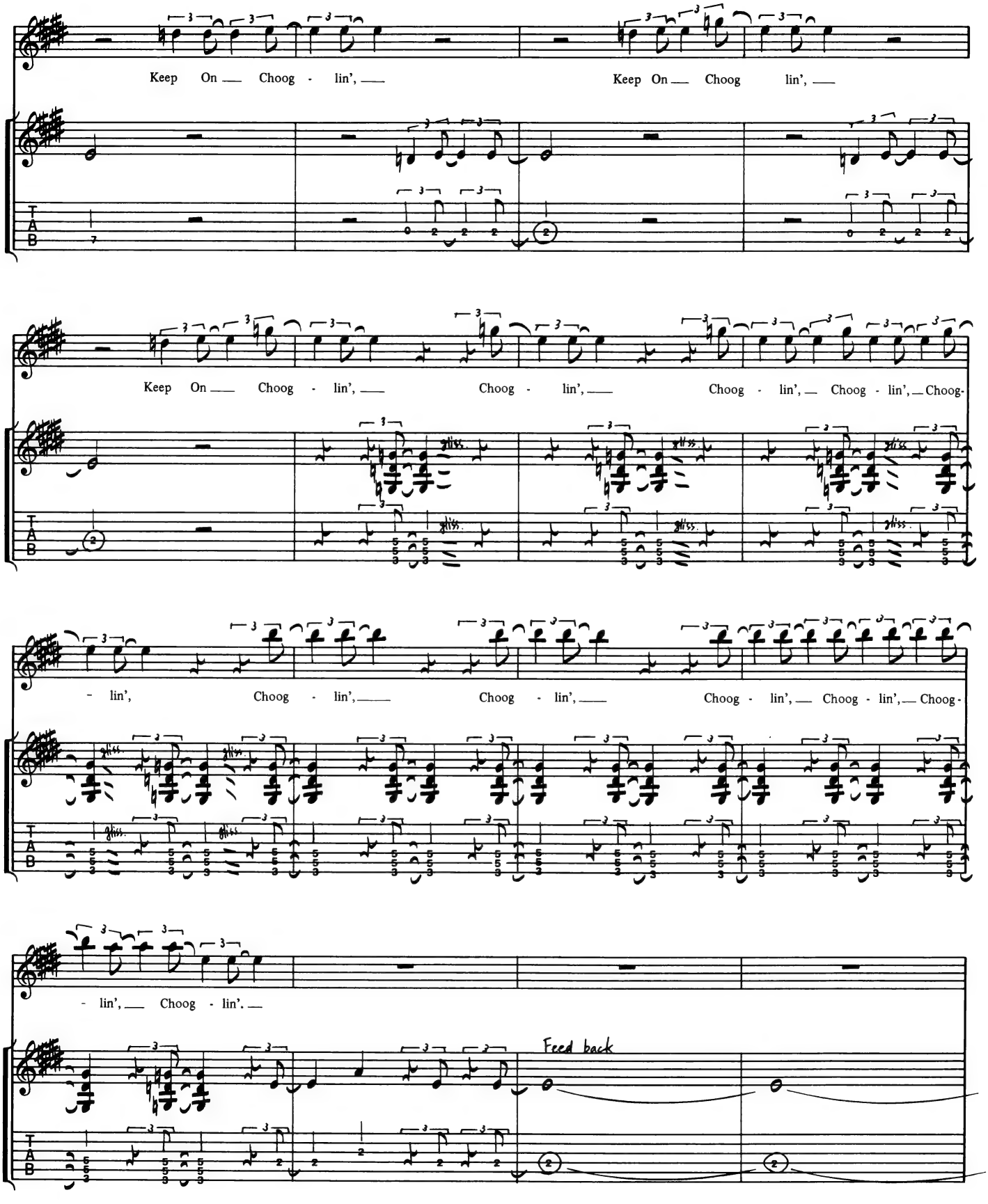

- stand it,
If you're a nat - ur - al man, oh
You got to ball and have
a good time
And that's what I call Choo
gl - in'.
Here comes Mar - y
look-in' for Har - ry,
She gon - na choog - le
(tonight)
Here comes Lou - ie,
works in the sew - er,
He gon - na choog - le
T
A
B
gliss.

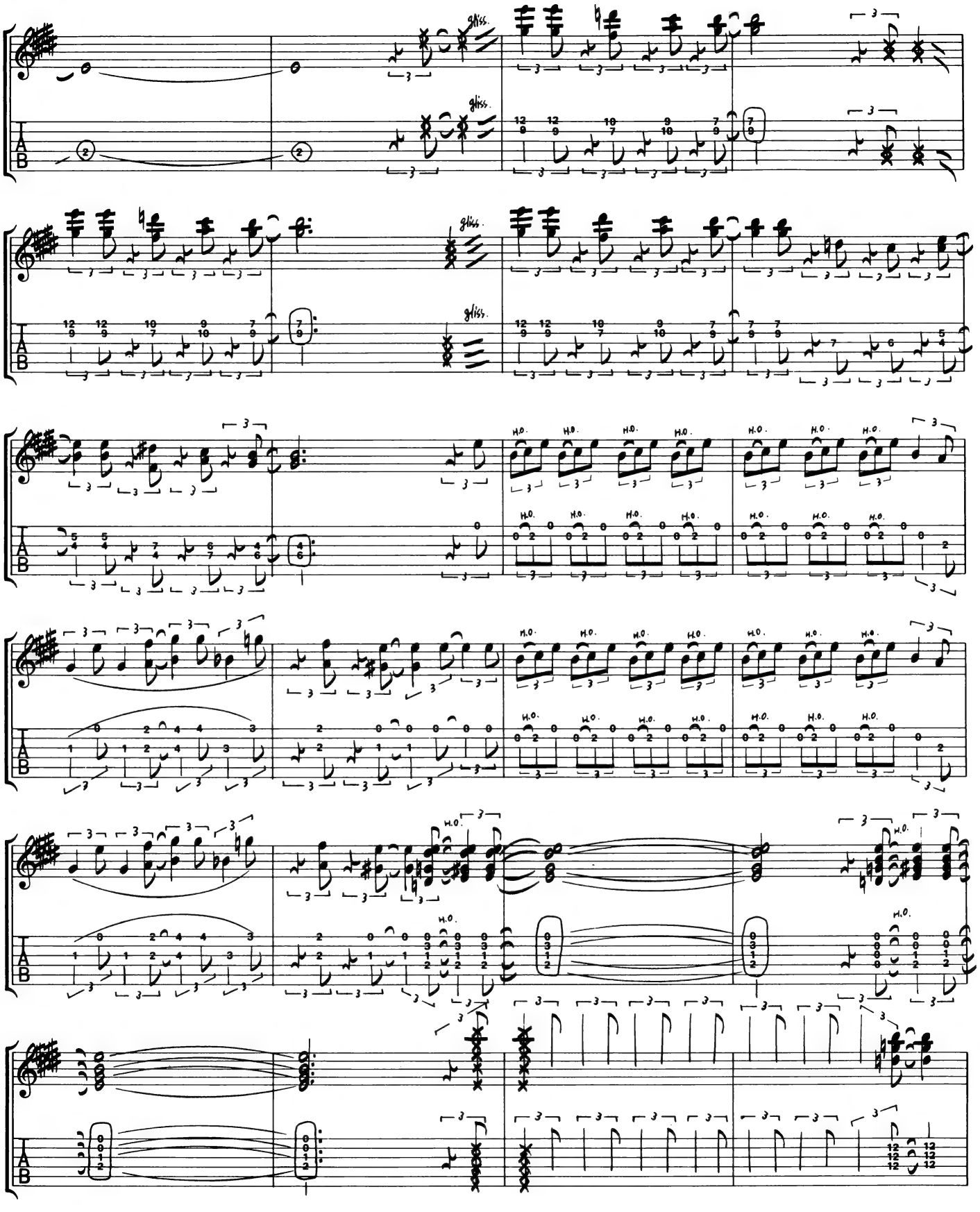

(tonight)
Keep On ___ Choog - lin', ___
Keep On ___ Choog -
- lin',
Keep On ___ Choog - lin', ___
Choog - lin', ___
Choog -
- lin', ___ Choog - lin', ___ Choog - lin'. ___
T
A
B

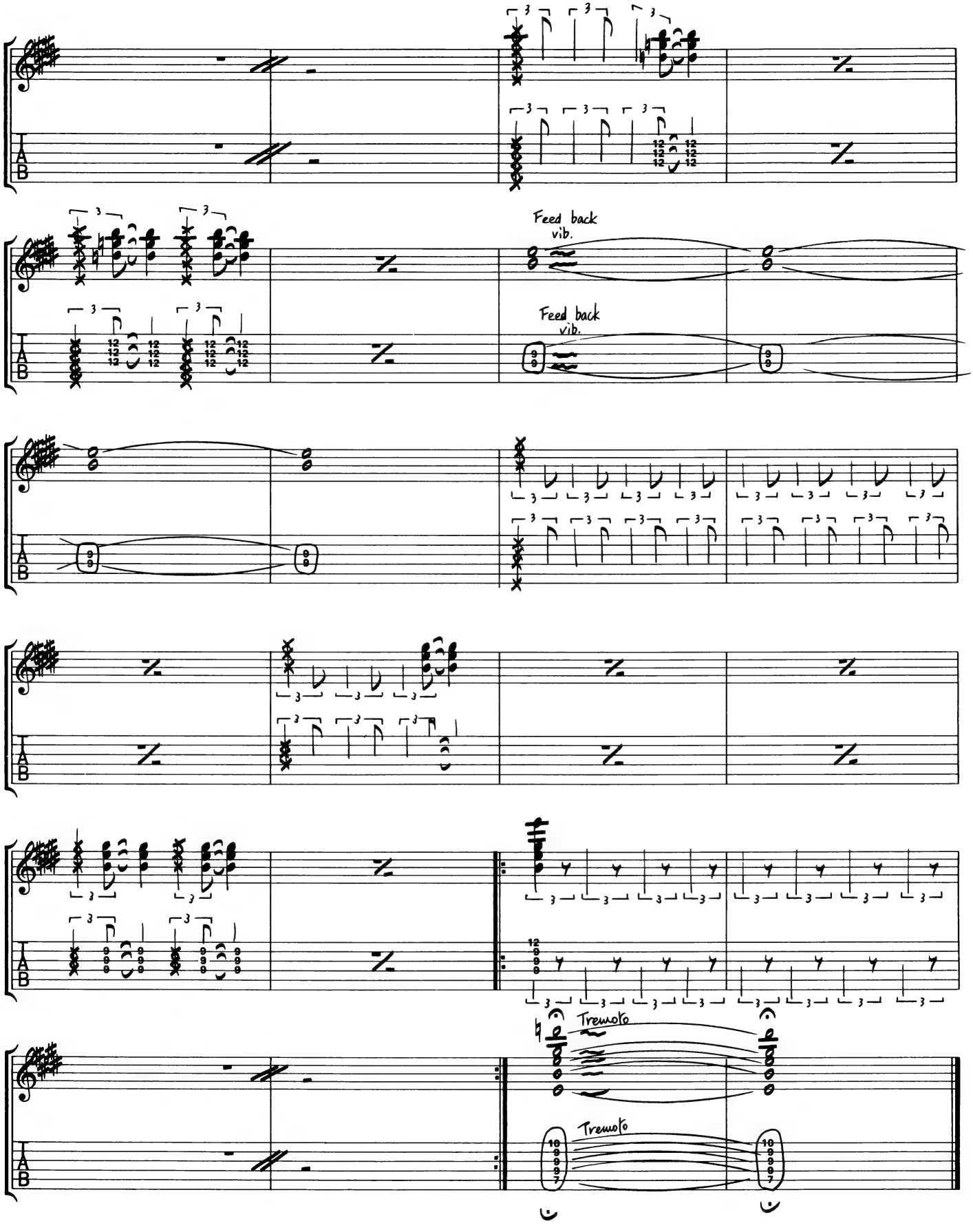



duo.
vib.
Feed back
1x only
1x only


2
[F] Harmonica Solo
4x30
2
[G] Guitar Solo
55
[H]
Keep On ___ Choog -
D.S. to A
If you can choose _ it, who can re - fuse _ it, You got - ta choog - le to - night. Go ___
___ on, take your pick, now right from the git ___ go, ___ Y'all ___ be choog - lin' to - night.

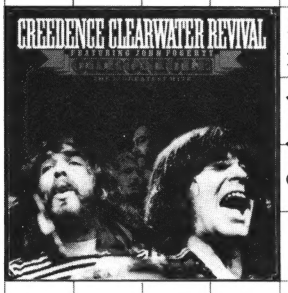

Keep On ___ Choog - lin', ___
Keep On ___ Choog lin', ___
Keep On ___ Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog-
- lin', Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog - lin', ___ Choog-
- lin', ___ Choog - lin'. ___
Feed back


gliss.
H.O.


Feed back
vib.
Feed back
vib.
Tremolo
Tremolo

C·C·R 栄光の軌跡〜

C·C·Rオリジナル1500シリーズ

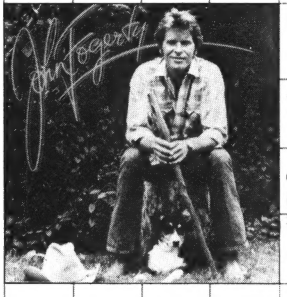


本邦初登場!! ファン待望のC·C·R
オリジナル・ベスト・アルバム全20曲入り!

クロニクル〜C·C·R グレイテスト・ヒッツ20

●VIP-5111〜2 ¥3,000 ●4月21日発売

曲目: スージー・Q/アイ・プット・ア・スペル・オン・ユー
プラウド・メアリー/グリーン・リバー/トラベリン・バンド
フール・ストップ・ザ・レイン/ルッキン・アウト・マイ・バック・ドア
悲しいうわさ/雨を見たかい/他、全20曲



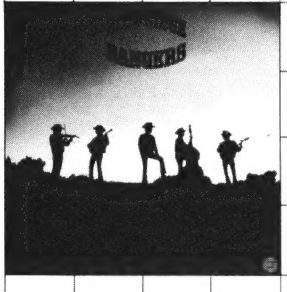
栄光のグループC·C·Rのリーダー、ジョン・
フォガティーが放つ初リーダー・アルバム!!

ジョン・フォガティー

ジョン・フォガティー

●VIP-5113 ¥1,500 ●4月21日発売

曲目: ロックン・ロール・ジョン/ユー・ラスカル・ユー/トラベリン・ハイ
オールモスト・サタデイ・ナイト/他、全10曲



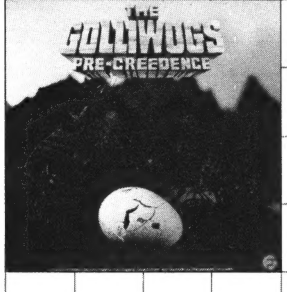
ジョン・フォガティーのワンマンバンド、ブルー・
リッジ・レインジャーズのC&W大全集!

ブルー・リッジ・レインジャーズ

ジョン・フォガティーとブルー・リッジ・レインジャーズ

●VIP-5114 ¥1,500 ●4月21日発売

曲目: ブルー・リッジ・マウンテン・ブルース/ジャンバラヤ/何でもないのに
迷わせないで/ハーツ・オブ・ストーン/二度目の恋/他、全12曲

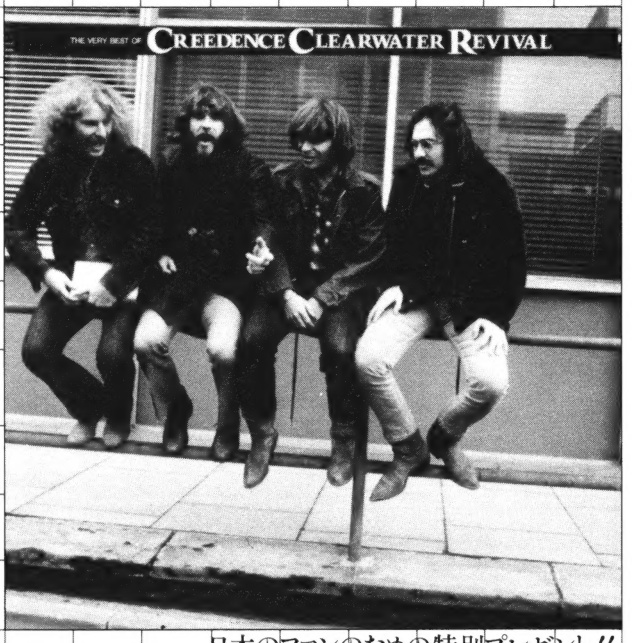


栄光のC·C·R、初期の作品を集大成した
幻の貴重盤!

ゴリウォグス〜C·C·Rデビュー

●VIP-5115 ¥1,500 ●4月21日発売

曲目: ドント・テル・ミー・ノー・ライズ/リトル・ガール
ウォーキング・オンザ・ウォーター/ポーターヴィル/他、全14曲



日本のファンのための特別プレゼント!!
特別編集によるC·C·Rグレイテスト・ヒット・アルバム!

ベリー・ベスト・オブ・C·C·R

●VIP-5110 ¥1,500 ●4月21日発売

A-1. プラウド・メアリー
2. バッド・ムーン・ライジング
3. グリーン・リバー
4. トラベリン・バンド
5. スージー・Q

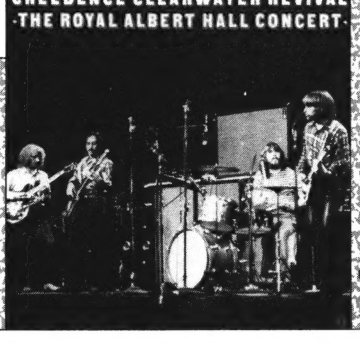
B-1. 雨を見たかい
2. ダウン・オン・ザ・コーナー
3. コットン・フィールズ
4. ミッドナイト・スペシャル
5. ロディ
6. フール・ストップ・ザ・レイン

カセット VCW-3649 ¥3,500
絶賛発売中

世界中の若者を熱狂させたC·C·R、
4人のメンバーによる最盛期の"幻のライヴ"!!

C·C·Rベスト・ライヴ'70

絶賛発売中



曲目
ボーン・オン・ザ・バイヨー
ドント・ルック・ナウ
トラベリン・バンド
フール・ストップ・ザ・レイン
バッド・ムーン・ライジング
プラウド・メアリー
ミッドナイト・スペシャル
キープ・オン・チューグリン
他、全14曲

●VIP-6758
カセット VCW-1703
各¥2,500

いま名盤の数々が帰って来た！

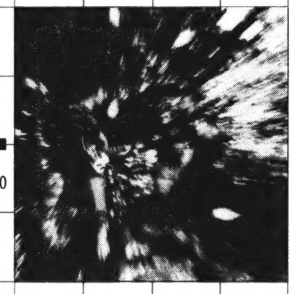
各巻¥1,500(2枚組¥3,000)絶賛発売中

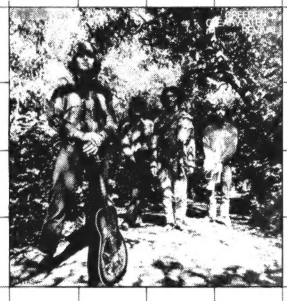
スージー・Q

○VIP-5054 ¥1,500

バイヨー・カントリー

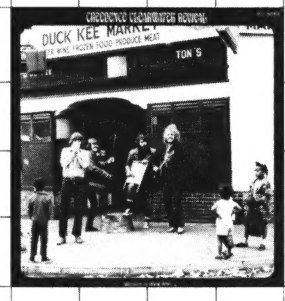
○VIP-5055 ¥1,500





グリーン・リバー

○VIP-5056 ¥1,500

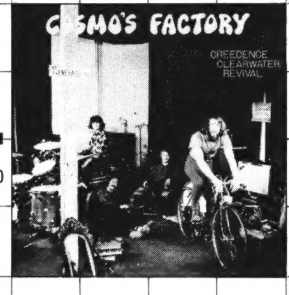


ウィリー・アンド・ザ・プアボーイズ

○VIP-5057 ¥1,500

コスモズ・ファクトリー

○VIP-5058 ¥1,500

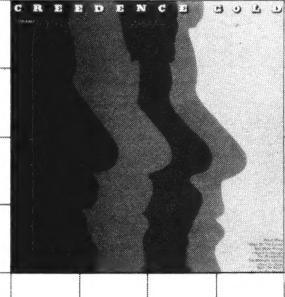


ペンデュラム

○VIP-5059 ¥1,500

マルディ・グラ

○VIP-5060 ¥1,500

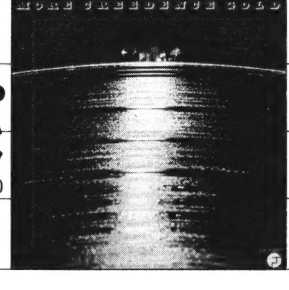


クリーデンス・ゴールド

○VIP-5061 ¥1,500

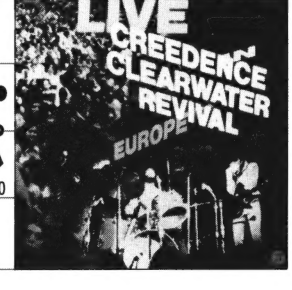
モア・クリーデンス・ゴールド

○VIP-5062 ¥1,500



ライヴ・イン・ヨーロッパ

○VIP-5063～4(2枚組) ¥3,000



Victor
RECORDS & TAPES

ロック・ギター・ベスト・コレクション

常に話題を集めているビッグ・ネームのアーティスト達のニュー・アルバム等を中心に迅速に刊行!!アルバム全体の雰囲気をつかみ、そしてマスターするには、もってこいの一冊だ。

- ●ヴァン・ヘイレン／伝説の爆撃機……¥1,200
  踊り明かそう／オッタ・ラブ・アゲイン／輝ける空／　他全9曲
- ●クイーン／ライブ・キラーズ……¥1,600
  ウィ・ウィル・ロック・ユー／デス・オン・トゥー・レッグス／他全21曲
- ●シン・リジィ／ブラック・ローズ……¥1,300
  ドゥ・エニシング／無法の街／ブラック・ローズ／　他全7曲
- ●チープ・トリック／ドリーム・ポリス……¥1,600
  ドリーム・ポリス／ウェイ・オブ・ザ・ワールド／　他全9曲
- ●レインボー／ダウン・トゥ・アース……¥1,300
  オール・ナイト・ロング／ノー・タイム・トゥ・ルーズ／　他全8曲
- ●高中正義／ベスト・セレクション……¥1,300
  Oh!Tengo Suerte Sweet Agnes／憧れのセーシェル諸島／　他全10曲
- ●高中正義／ベスト・セレクション2……¥1,300
  Blue Lagoon／黒船／Early Bird／空ド白ソ／Taj Mahal／　他全10曲
- ●イーグルス／ロング・ラン……¥1,300
  ロング・ラン／言いだせなくて／ディスコ・ストラングラー／　他全10曲
- ●チープ・トリック・ベスト1……¥1,200
  甘い罠／ビッグ・アイズ／ダウンド／オー・キャロライン／　他全6曲
- ●チープ・トリック・ベスト2……¥1,200
  サレンダー／オン・トップ・オブ・ザ・ワールド／　他全6曲
- ●チープ・トリック・ベスト3……¥1,300
  グッド・タイムズ・バッド・タイムズ／デイ・トリッパー／　他全7曲
- ●ジョー・ペリー・プロジェクト……¥1,300
  熱く語れ!／コンフリクト・オブ・インタレスト／　他全8曲
- ●ピンク・フロイド／ザ・ウォール・ベスト……¥1,300
  イン・ザ・フレッシュ?／ザ・シン・アイズ／マザー／　他全12曲
- ●エリック・クラプトン／ジャスト・ワン・ナイト……¥1,500
  タルサ・タイム／ワンダフル・トゥナイト／ダブル・トラブル／　他全7曲
- ●ジョニー、ルイス&チャー・ベスト……¥1,300
  Restaurant／Scooter／Song In My Heart／Finger／　他全6曲
- ●RCサクセション……¥1,100
  雨あがりの夜空に／ステップ／ボスしけてるぜ／よォーこそ／　他全10曲
- ●スコーピオンズ・ベスト……¥1,300
  ヴァージン・キラー／オール・ナイト・ロング／　他全8曲

世界最大のギター専門誌"Guitar Player"と編集提携!

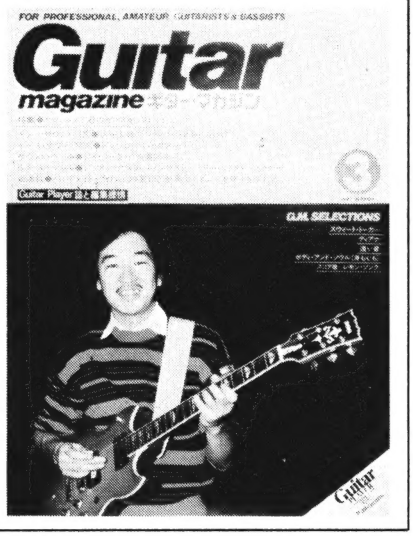
こんなにも、ギターに惚れ込んだ雑誌があっただろうか?

ついに「ギター・マガジン」

FOR PROFESSIONAL, AMATEUR GUITARISTS & BASSISTS

Guitar magazine ギター・マガジン

毎月13日発売/定価380円(全国一流書店、有名楽器店で発売中)



ロック・ギター・ベスト・コレクション⑲

C.C.R.ライヴ　定価1,400円

発　行　人■二荒芳忠
編　集　人■平井眞紀夫
企画・編集■細川利孝
写真提供■ビクター音楽産業株式会社
表紙デザイン■坪井いかり
発　行　所■東芝EMI音楽出版株式会社
発　売　元■(株)リットーミュージック
東京都新宿区四谷1-5(新四谷駅前ビル7F)
〒160　☎03(359)0266(代)

■万一、乱丁・落丁がありました時には、当社にてお取り替えいたします。
©無断複製・転載を禁じます。

《収録曲》

Born on the Bayou
Green River
Tombstone Shadow
Travelin' Band
Who'll Stop the Rain
Bad Moon Rising
Proud Mary
Commotion
The Midnight Special
Down on the Corner
Keep on Chooglin'

Taken from LP
" THE ROYAL ALBERT HALL CONCERT"

TOSHIBA EMI
MUSIC
定価1,400円★